

# 事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立沼津特別支援学校

## 目 次

|     |                          |    |
|-----|--------------------------|----|
| 1   | 事務事業に関すること               |    |
| (1) | 事務事業の概要                  | 1  |
| (2) | 事務執行の根拠法令調               | 41 |
| (3) | 学校施設の概要                  | 42 |
| (4) | 在籍生徒調                    | 45 |
| (5) | 入学志願者及び入学者数調             | 48 |
| (6) | 卒業生の動向調                  | 51 |
| (7) | 生徒の状況                    | 54 |
| 2   | 職員に関すること                 |    |
| (1) | 職員調                      | 58 |
| (2) | 職員の年齢調                   | 63 |
| (3) | 健康管理                     | 64 |
| 3   | 予算の総括に関すること              |    |
| (1) | 保管現金有高調                  | 65 |
| (2) | 預金調                      | 66 |
| (3) | 郵券等受払調                   | 67 |
| (4) | 材料品受払調                   | 68 |
| (5) | 委託料等歳出予算執行状況節別集計表        | 69 |
| 4   | 補助金等に関すること               |    |
| (1) | 委託料に関する調                 | 71 |
| (2) | 負担金支出調                   | 76 |
| 5   | 工事に関すること                 |    |
| (1) | 建築工事調                    | 78 |
| 6   | 財産に関すること                 |    |
| (1) | 公有財産調                    | 79 |
| (2) | 借地借家等調                   | 81 |
| (3) | 事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調 | 82 |
| (4) | 行政財産貸付・使用許可調             | 83 |
| (5) | 主要備品調                    | 84 |
| (6) | 生産物受払調                   | 85 |

## 事務事業の概要

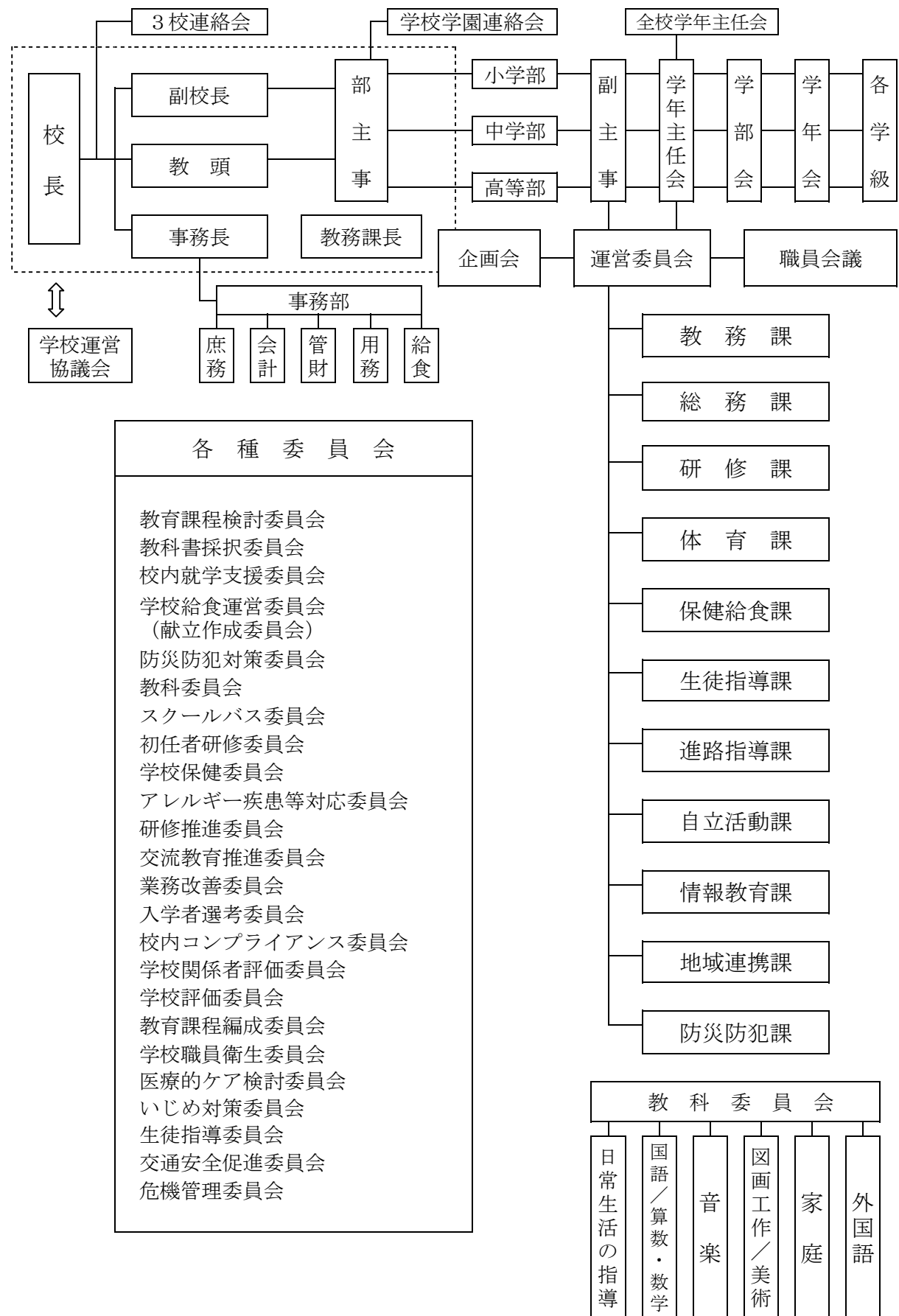
### 1 概況

#### (1) 学校の沿革

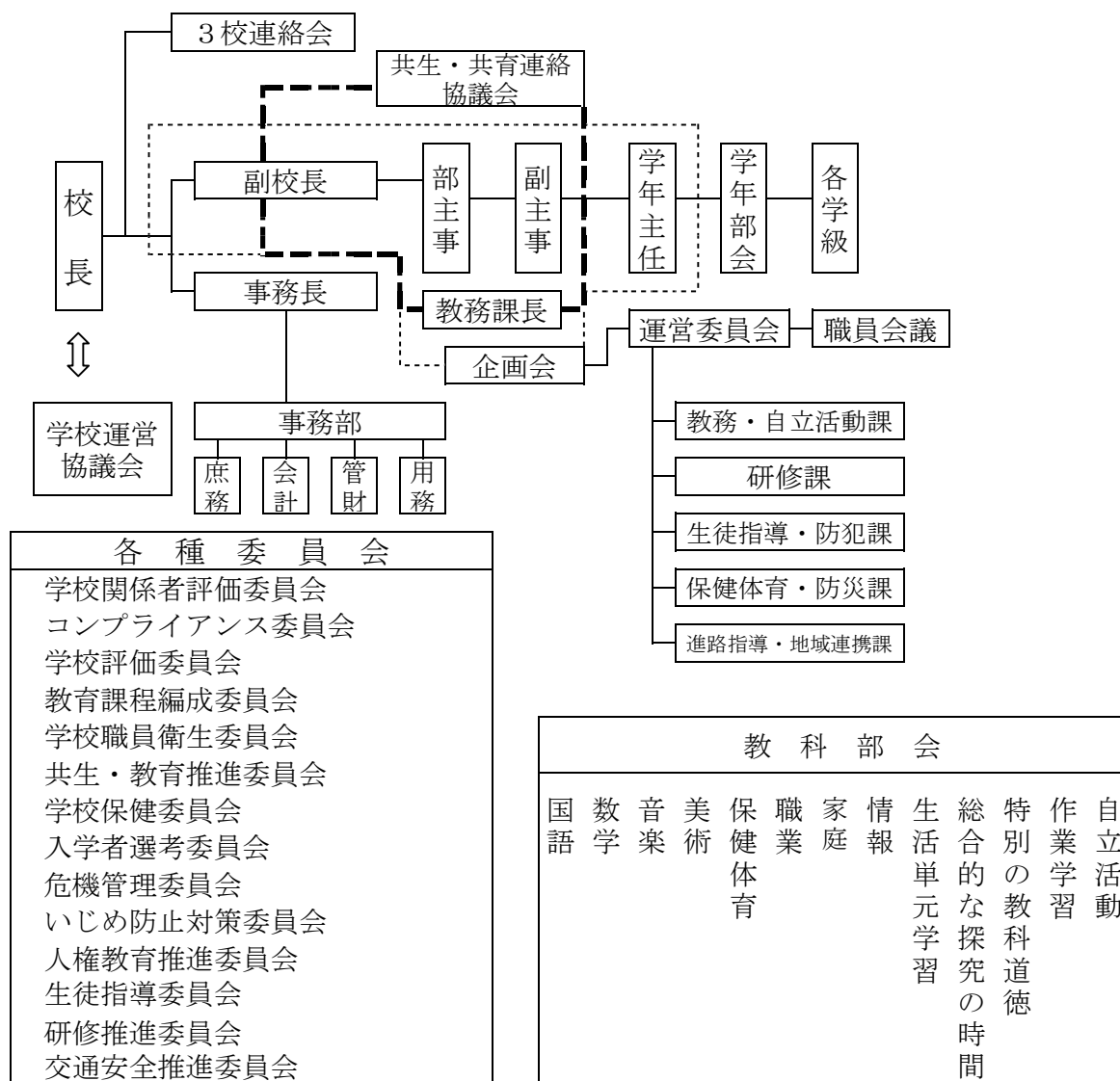
|             |                                                          |
|-------------|----------------------------------------------------------|
| 昭和53年 3月20日 | 静岡県東部地区新設養護学校の設置を2月県議会において議決                             |
| 昭和53年 4月 1日 | 新設養護学校設立準備委員発令                                           |
| 昭和53年 8月 4日 | 第1期建築工事着工                                                |
| 昭和53年11月24日 | 静岡県立沼津養護学校と校名決定                                          |
| 昭和54年 3月17日 | 第1期建築工事竣工（管理棟、食堂）                                        |
| 昭和54年 4月10日 | 開校式、入学式举行<br>小学部57人、中学部9人、訪問教育部92人入学                     |
| 昭和55年 3月25日 | 第2期建築工事竣工（小学部棟）                                          |
| 昭和55年 4月 1日 | 三島市立坂小学校、錦田中学校見晴分校が静岡県に移管され、<br>静岡県立沼津養護学校見晴分教室となる。      |
| 昭和55年 4月 1日 | 富士市立大淵第二小学校、大淵中学校特殊学級が静岡県に移管され、静岡<br>県立沼津養護学校ふじやま分教室となる。 |
| 昭和55年 4月 8日 | 見晴分教室開校式、入学式举行<br>小学部22人、中学部16人入学                        |
| 昭和55年 4月 9日 | ふじやま分教室開校式、入学式举行<br>小学部30人、中学部18人入学                      |
| 昭和56年 3月20日 | 高等部の設置を2月県議会において議決<br>第1学年募集定員10人となる。                    |
| 昭和56年 4月 1日 | 高等部開設                                                    |
| 昭和57年 3月10日 | 高等部棟建築工事竣工                                               |
| 昭和58年 3月23日 | 体育館建築用地買収                                                |
| 昭和58年11月19日 | 校旗制定                                                     |
| 昭和59年 2月29日 | 体育館建築工事竣工                                                |
| 昭和59年 3月10日 | 高等部第1回卒業式举行                                              |
| 昭和60年 3月15日 | 高等部棟増築工事竣工                                               |
| 昭和60年 3月28日 | プール竣工                                                    |
| 平成 2年 3月31日 | ふじやま分教室閉校                                                |
| 平成 9年 9月30日 | 中学部棟耐震工事完成                                               |
| 平成10年 4月 1日 | 高等部募集定員固定制から変動制となる。                                      |
| 平成10年 9月30日 | 小学部棟耐震工事完成                                               |
| 平成10年11月30日 | 給食棟下処理室竣工                                                |
| 平成13年 3月31日 | 見晴分教室休止となる。                                              |
| 平成15年 3月 1日 | 見晴分教室廃止となる。                                              |
| 平成15年 3月31日 | 訪問教育が東部養護学校へ指導変更となる。                                     |
| 平成15年 4月 1日 | 高等部第1学年に重複学級が認可される。                                      |
| 平成20年 4月 1日 | 静岡県立沼津特別支援学校と校名変更                                        |
| 平成21年 4月 7日 | 静岡県立沼津特別支援学校伊豆田方分校開校式・入学式举行                              |
| 平成25年 4月 8日 | 静岡県立沼津特別支援学校愛鷹分校開校式・入学式举行                                |
| 平成29年 3月15日 | 木工陶芸室新築他工事竣工                                             |

(2)組織図

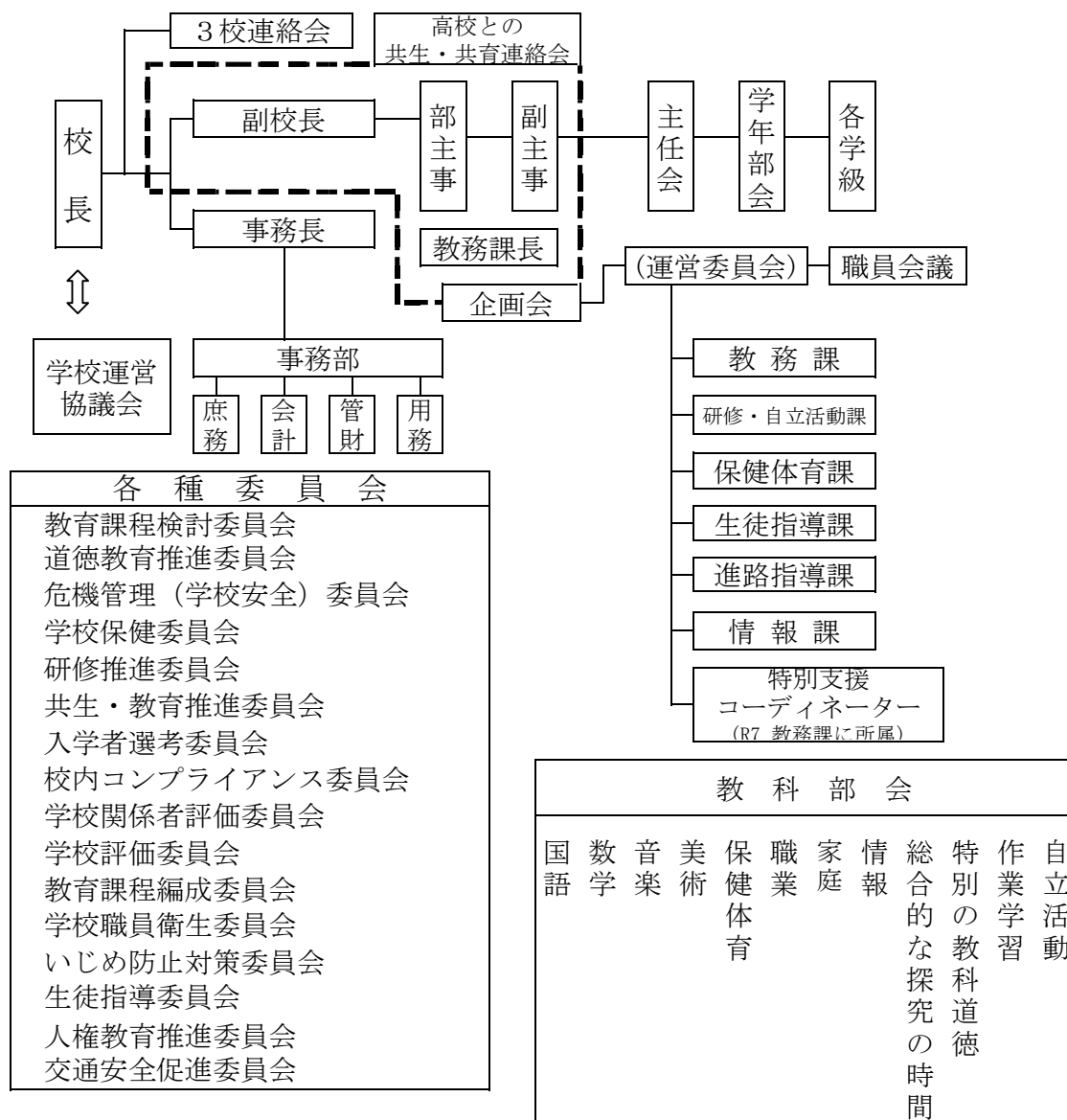
【本校】



## 【伊豆田方分校】



## 【愛鷹分校】



## 2 目指す学校像＜本校＞

### (1) 教育目標

#### 共に育てる 自立と輝き

ー 子どもの能力を最大限伸ばし、個々のよりよい自立と輝きを支援する ー

「共に」とは学校、保護者、地域の人たちと共に、さらに児童生徒同士、そして児童生徒が自分自身を育て成長するという意味を持つ。そして「自立」は児童生徒一人一人がそれぞれのステージでできることを増やしていくこと、人や社会との関わりが広がることとし、「輝き」は自分の良いところを伸ばし、他者から認められ、自信をもって生きる姿、生きる力を高めることと捉える。目指す学校像として、「安全」「専門」「連携」「チーム」の4つの柱を掲げ、自立と輝く力を育てる学校をめざす。

### (2) 目標具現化の柱

ア 人権尊重の理念に基づいた、児童生徒が安全に安心して学習できる学校 (安 全)

イ 児童生徒のニーズに基づいた、キャリアを踏まえた指導及び支援ができる学校(専 門)

ウ 地域や関係諸機関等との強いつながりに基づいた、共生社会を進める学校 (連 携)

エ アサーティブな関わりに基づいた、チームとしてやりがいを持てる学校 (チーム)

## 3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

### (1) 令和5年度の取組目標への評価及び成果と課題

ア 人権尊重の意識に基づいた、児童生徒が安全に安心して学習できる学校 (安 全)

| 取組目標                   | 成果目標                                                                                                              | 達成状況                                                                                                              | 評価 | 成果と課題                                                                                                                             |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 人権に配慮した指導の徹底           | <ul style="list-style-type: none"> <li>職員が、相手の人権を尊重した対応を日々心掛けている。</li> <li>保護者が、児童生徒の人権が尊重されていると感じている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒への「さん」付けが定着しており元気な挨拶ができている。保護者から児童生徒に寄り添った関わり方に一定の評価をいただいた。</li> </ul> | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修や「さん」付けの励行で人権尊重の意識と実践を高めることができた。</li> <li>同僚間のやり取りで配慮が足りない指摘があったためさらに徹底したい。</li> </ul> |
|                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>校内が整理整頓されている。</li> </ul>                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>限られた収納容量に合わせて物品を精選しながら、安全な学習環境を保つことができた。</li> </ul>                        | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>整理整頓は進んだが業務改善につながる収納場所の確保が課題である。</li> </ul>                                                |
| 命を守る、未然防止と緊急対応の、実践力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>感染状況を鑑み必要な対策のもと教育活動が実施されている。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域や校内の感染状況等の把握に努め、国や県の通知や必要な対策を保健給食課を中心に確認・検討して対応した。</li> </ul>            | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>校内における感染拡大は防ぐことができた。対策の徹底には職員の更なる意思統一が必要である。</li> </ul>                                    |
|                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>職員と児童生徒は、発災、緊急時の対応を理解し、行動できる。</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練や緊急体制訓練を通し、どういった行動をとるべきかが確認でき、訓練実施後のマニュアル等の見直しを進めることができた。</li> </ul>   | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍でできなかった体験的な防災訓練を重ねることができた。避難後の対応など様々な状況を想定した訓練も必要である。</li> </ul>                       |
|                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>日々、安全な行動が自分からとれるような指導を行っている。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返しの取り組みによって、避難行動が分かり、教師の少ない言葉掛けで児童生徒が素早く行動できるようになってきている。</li> </ul>      | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日々の生活の中で、児童生徒が自ら安全な行動を考える、体験するなどの機会を設定していきたい。</li> </ul>                                   |

イ 深い児童生徒理解に基づいた、キャリアを踏まえた指導及び支援ができる学校（専門）

| 取組目標            | 成果目標                                     | 達成状況                                                                      | 評価 | 成果と課題                                                                       |
|-----------------|------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------|
| 多面的で深い児童生徒理解    | ・職員が、児童生徒が主体性を発揮できるように工夫している。            | ・児童生徒が主体性を発揮できるような授業づくりを行うことで、自分から参加し、考えて動く姿が多く見られるようになった。                | B  | ・全体研修・学部研修により授業改善が進んだ。日常生活や授業において、児童生徒に考えさせる場面を多く設けるなど更に追究を深めたい。            |
|                 | ・児童生徒が、「授業が楽しい」「できるようになったことが増えた」と実感している。 | ・授業の中で児童生徒の笑顔が増えたり賞賛を受け喜んだりする姿を多く見る事ができた。                                 | A  | ・児童生徒が関心を持てる学習や、成功体験を積み自信と意欲を高める学習を工夫する実践を積むことができた。                         |
| つながりのある支援と指導の充実 | ・他学年、他学部を意識した系統性のある授業を実践している。            | ・「12年間のつながり検討会」により、学習の系統性を考え各学部・学年で指導計画や単元の内容について話し合いを深めることができた。          | B  | ・前の学年からのつながりを考え、年間指導計画の進捗状況についての確認や検討が進んだ。引き続き、いつ何を学ぶかを整理し、系統性の見える化を進めたい。   |
|                 | ・保護者が、その時期にその授業を行う意義の説明を受け、理解している        | ・面談や学年だより、日々の連絡帳で授業内容や意義について伝えることができています。<br>・参観懇談会や保護者学習会の来校時に説明をした。     | A  | ・授業の意義や児童生徒の表れを積極的に保護者と共有することができた。個別学習に関しても担当教員から直接説明する機会を設ける等したい。          |
|                 | ・一人一台端末を活用した授業を行っている。                    | ・授業での端末の活用方法について実践事例等の共有が進んだ。まだ頻度は多くないが、調べ学習など、ICTを用いた授業で一人一台端末の活用が増えている。 | B  | ・授業へのICT導入が広がり、児童生徒が一人一台端末を活用する機会が増えてきた。端末の保管場所を教室の近くにすると使いやすい環境整備をさらに進めたい。 |

ウ 地域や関係諸機関等との強いつながりに基づいた、共生社会を目指す学校（連携）

| 取組目標                         | 成果目標                             | 達成状況                                                                                        | 評価 | 成果と課題                                                                                        |
|------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 児童生徒の自立と輝きに向けた地域や関係機関との協働の充実 | ・学校運営協議会委員から具体的な支援を得ている。         | ・地域の大人との交流、農作物の収穫体験、地域サークルのハンドベルコンサート、地域の文化資源訪問や祭りへの作業製品出店等を実施し、児童生徒が地域の方々と関わり体験を広げることができた。 | B  | ・協力を受けて新たに始められた連携授業や校外学習など、地域の方を巻き込んだ学習が実現できた。学校運営協議会の話し合いや恩恵について、職員や保護者が具体的に把握できる紹介を充実させたい。 |
|                              | ・ケース会議後、今後の方針と役割分担が明確になり実践されている。 | ・児童生徒の実態把握から目標、評価まで関係機関と連携して検討し見通しや方針を確認、共有することができた。                                        | A  | ・必要に応じてケース会議を開催し、今後の対応や目標について円滑に共有することが当たり前に行えるようになってきた。今後も関係機関との綿密な連携をしていきたい。               |

|             |                                |                                                                  |   |                                                                  |
|-------------|--------------------------------|------------------------------------------------------------------|---|------------------------------------------------------------------|
| 地域とのつながりの強化 | ・各交流の成果を、保護者や地域が理解している。        | ・交流だよりや学年だより、学校だよりを通して交流の様子について伝えている。交流籍校交流については参加希望をとる時に説明している。 | B | ・各交流について機会を捉えて保護者への説明や紹介を行うことができた。地域に向けた紹介の機会を増やしていきたい。          |
|             | ・職員が、様々な場面で本校の教育について紹介している。    | ・学年だよりにQRコードを載せ学校HPの閲覧につながっている。また、図工美術作品や作業製品の展示、地域の祭り参加等を実施した。  | B | ・学年だよりやHPを利用した紹介は内容、頻度とも充実してきた。その他の方法・媒体等、効果的なPRについての研修機会を設定したい。 |
|             | ・地域資源を活用した学習を行い、地域から評価いただいている。 | ・地域の方との交流で「また来たい」との感想が地域の方々の中に広がり、新規の参加につながっている。                 | B | ・新たに本校と関わった方を増やし、理解を広げることができた。地域貢献という視点から交流を捉え実施したい。             |

エ チームとしてのやりがいに基づいた、効率よく迅速に、業務を遂行できる学校（チーム）

| 取組目標           | 成果目標                                       | 達成状況                                                                      | 評価 | 成果と課題                                                              |
|----------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------|
| 働きがいのある職場環境の充実 | ・教職員が、協働することにより良い成果を挙げたり課題が解決できたりしたと感じている。 | ・学部会等で児童生徒の情報を共有し、課題に対し他学年から助言を受けたり外部専門家を活用したり対応することができた。分掌間の協力による取組も増えた。 | B  | ・校内で学年学部や分掌課を越えた協働による成果が見られた一方、一部の職員に業務負担が偏らない工夫が必要である。            |
|                | ・職員が、効率的な会議や業務遂行を意識して行っている。                | ・諸会議において、事前の資料配布や議題の精選、時間内に終える等の工夫を実践することができた。                            | B  | ・会議を効率的に、論点を絞って行う意識が定着してきた。今後も継続しながら話の深まりや活性化等も図りたい。               |
|                | ・職員が事務室からの伝達に必ず目を通してしている。                  | ・掲示板が効率的に活用されている。個別に必要な連絡内容はメールを併用することで確実に伝えられている。                        | B  | ・事務室からの伝達が確実に伝わるようになってきた。掲示板の見出しの工夫や気付いた職員による周囲への声掛け等により伝達を向上させたい。 |
|                | ・職員が可能な範囲での改善がなされたと感じている。                  | ・担当職員からの安全点検報告や修繕依頼に事務室の対応が迅速にできている。                                      | B  | ・設備面での環境の改善は随時対応することができた。業務面での改善の要望に応えることが課題である。                   |

(2) 令和6年度の取組目標・達成方法・成果目標

ア 人権尊重の理念に基づいた、児童生徒が安全に安心して学習できる学校（安全）

|    | 取組目標                   | 成果目標                                                                                                                | 達成状況                                                                                                                                            | 評価 | 成果と課題                                                                                                                                                                                                     |
|----|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 安全 | 人権に配慮した指導の徹底           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が、相手の人権を尊重した対応を日々心掛けている。</li> <li>・保護者が、児童生徒の人権が尊重されていると感じている。</li> </ul> | ・人権尊重の視点からの細かな気づきや自身の振り返りから、本校職員の人権意識が高まっていることが言える。99%の保護者から「できている」との評価をいただいた。                                                                  | A  | ・教員からは、課題点に対しては、悪いことやマイナスの意見だけではなく、「～したい」という前向きな意見が多かった。人権教育年間計画や人権の手引きの活用など、方法を工夫し、啓発を継続する。                                                                                                              |
|    |                        | ・校内が整理整頓されている。                                                                                                      | ・整理整頓が、児童生徒にとっての分かりやすさやユニバーサルデザインに通じるものであるという認識が根付いてきた。片付けについて、単に「場所がない」とどまらず、不要物を捨てて有効活用できるスペースがある、という意見が複数みられている。もっと片づけるべきであるという評価が一定数見られている。 | A  | 校内の整備が必要な箇所を把握し、大型ごみの廃棄について、速やかに廃棄できるように課で対応するなど継続して行う。                                                                                                                                                   |
|    | 命を守る、未然防止と緊急対応の、実践力の向上 | ・未然防止の観点から点検と対応が常に行われている。                                                                                           | ・未然防止の取組について、良い点を具体的に上げ、高い評価となっている。唯一のC評価も注意啓発の内容である。老朽化への不安と安全配慮への更なる要望はみられたが、保護者から一定の評価を得た。                                                   | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が定期点検とそれに基づいた必要な対応ができている。</li> <li>・安全点検で指摘された校内の危険物、不要物の共有により再発防止策を検討できた。修繕については、継続して対応する。人数不足の際の行動のシミュレーションや救護室、クールダウン室の表示、搬入物一覧を写真等で掲示する等して充実させる。</li> </ul> |
|    |                        | ・職員と児童生徒は、発災、緊急時の対応を理解し、行動できる。                                                                                      | ・予告なし訓練の成果から、日ごろの訓練による成長が感じられ、訓練の評価の場ともなった。一方、児童の実態に応じた難しさを感じている声が上がっている。また、実践的に、さらに発展させた内容を望む声も出ている。                                           | B  | ・個々に応じた避難方法の想定とそれができるとの指導の実施。                                                                                                                                                                             |

イ 児童生徒のニーズに基づいた、キャリアを踏まえた指導及び支援ができる学校（専門）

|    | 取組目標                       | 成果目標                                                     | 達成状況                                        | 評価 | 成果と課題                                                                                                                              |
|----|----------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 専門 | 教育的ニーズの的確な把握とそれに応える自立活動の実践 | ・教員が、児童生徒の自立活動の目標と、今持っている力や得意なことを生かした達成方法を、保護者に丁寧に伝えている。 | ・保護者アンケートで「そうである」78%、「ややそうである」22%という評価であった。 | A  | ・自立活動の教員研修と内容の検討の必要性があげられていたため、客観的なツールを活用した児童生徒の実態把握や専門家を招聘した自立活動学習会の更なる充実を図りたい。個別の指導計画の書式を見直し、どの場面で自立活動のどの項目をねらって学習するのか、分かりやすくする。 |

|                 |                                                    |                                                                                        |   |                                                                                                      |
|-----------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| つながりのある支援と指導の充実 | ・その時期にその授業を行う意義について、職員が語り合い、保護者に伝えている。（お便りも含む）     | ・「その時期にその学習を行う意義について説明する」ことが教員に定着してきた。<br>・保護者アンケートで、「そうである」72%、「ややそうである」28%という評価であった。 | A | ・カリキュラムマネジメントの観点で年間学習計画の作成ができるように12年間のつながり検討会の充実を図ること、学部を超えた語り合いの時間を確保できるように教育課程を編成することで更に定着させる。     |
|                 | ・授業で、一人一台端末が活用されている。                               | ・7割の教員が活用されているとする一方、活用の仕方について反省する声も上がっている。また、保護者には活用状況が十分に伝わっていない。                     | B | ・活用が進んでいる一方、活用方法の検討とGIGAスクール構想の更なる推進が必要。                                                             |
|                 | ・児童生徒が、遊びの指導、生活単元学習、作業学習を楽しみにし、願いを叶えようと夢中で取り組んでいる。 | ・教員が、授業づくりに一定の手ごたえを得ており、児童生徒主体の、生活の核となる、夢中な取り組みができている点を自己評価できている。                      | A | ・今年度の成果をもとに、合わせた指導の授業づくりをさらに充実・発展させることができるよう研修計画を立てる。<br>・他分掌の取組を活かしながら計画することで、より効率的に研修を進めていけるようにする。 |
|                 | ・職員が、学んできたことをもとに次の学びを描き取り組んでいる。                    | ・教員が、研修機会が豊富にあることをよい環境であると感じており、主体的に学んでいた。一方、次の学びを描くという点については、課題がいくつか挙げられた。            | B | ・業務精選の観点から校内研修の参加の仕方について、希望か否か、選択の幅を広げるなどし、継続して研修機会を設けるようにする。                                        |

ウ 地域や関係諸機関等との強いつながりに基づいた、共生社会を進める学校（連携）

| 連<br>携 | 取組目標           | 成果目標                                          | 達成状況                                                                           | 評価 | 成果と課題                                                                                          |
|--------|----------------|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | 自立と輝きに向けた協働の充実 | ・職員と保護者が、学校運営協議会からの具体的な支援を理解している。             | ・職員への周知は行ってきたものの職員や保護者の一定数が分からないという状況である。                                      | B  | ・学校運営協議会の継続的な情報共有を行うとともに、地域への情報発信を更に行っていききたい。                                                  |
|        |                | ・ケース会議後今後の方針と役割分担が明確になり実践されている。               | ・「そうである」「ややそうである」職員が93%で、ほぼ達成できたと考えられるが、保護者からは、情報不足の指摘があった。                    | B  | ・学部のCo.を中心に、「ケース対応区分表」や日々の先生方とのやりとりから児童生徒の状況把握に努め、早期に介入していく。必要な情報を保護者にも伝えるようにする。               |
|        | つながりの精選と地域への貢献 | ・本校の様々な交流や活動が、インクルーシブの推進につながっていることを、職員が説明できる。 | ・インクルーシブの推進につながっていることを理解しているものの「説明」ということにハードルを感じている職員が多い。                      | B  | ・保護者は、交流等の活動がインクルーシブの推進につながっていることを学校から伝えられていると評価している。<br>・今年度同様、お便り等を通して保護者に交流活動の様子や意義を発信していく。 |
|        |                | ・交流籍校交流の活動に、打合せで伝えた児童生徒の「得意な学び方」が生かされている。     | ・打ち合わせで、「得意な学び方」について伝えることが定着し交流活動にも反映されるようになってきた。一方、生かされているという点においては、まだ不十分である。 | B  | ・今年度同様、担当者説明会で児童生徒の「得意な学び方」を生かした具体的な活動例を紹介したり、相手校との事前打ち合わせの重要性を積極的に呼びかけたりする。                   |

|  |  |                                      |                                          |   |                                                           |
|--|--|--------------------------------------|------------------------------------------|---|-----------------------------------------------------------|
|  |  | ・地域貢献や地域資源を活用した学習に、児童生徒が意欲的に取り組んでいる。 | ・地域の、地域資源を活用した学習のよさを職員が自覚でき、実践が充実してきている。 | A | ・学習活動が充実し、地域貢献としての自覚も出てきたので、今後は更に本校についての情報発信も積極的に行う必要がある。 |
|--|--|--------------------------------------|------------------------------------------|---|-----------------------------------------------------------|

エ アサーティブな関わりに基づいた、チームとしてやりがいを持てる学校（チーム）

|     | 取組目標            | 成果目標                            | 達成状況                                      | 評価 | 成果と課題                                                                                        |
|-----|-----------------|---------------------------------|-------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| チーム | やりがいを持てる職場環境の充実 | ・教職員が研修で学んだ内容をチーム力の維持向上に役立っている。 | ・アサーティブという言葉が浸透してきた一方「人による」という声も上がっている。   | A  | ・おおむね達成のため、昨年度実施の研修内容の継承が必要。                                                                 |
|     |                 | ・教職員の時間外勤務時間が上限を下回っている。         | ・周りの先生方の声掛けや定時退勤日の実施で、早く帰ろうとする意識が持ててきている。 | B  | ・業務分担に不公平感を感じている職員が一定数いるため、業務分担の定期的な見直しが必要である。                                               |
|     |                 | ・事務室への報告連絡相談が迅速に行われている。         | ・概ね良好である。                                 | A  | ・更にコミュニケーションを取り、連携して業務を行っていききたい。                                                             |
|     |                 | ・職員が可能な範囲での改善がなされたと感じている        | ・1 割弱の職員が達成できていないと感じている。                  | A  | ・施設整備と人的環境整備について、県への働きかけも含め、進める必要がある。特に、老朽化とバリアフリー化については、要望書に入れていただくなど、PTAとの協働も積極的に行っていききたい。 |

4 監査対象期間における特色ある取組

| 年度    | 取組概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 成果及び課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和6年度 | <p>「学年を超えた集団での活動」（小学部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部集会（複学年での活動）</li> <li>「1年生となかよくなる会」</li> <li>「6年生ありがとうの会」（全学年）</li> <li>「ペア学年集会」（1・6年、2・5年、3・4年のペアでそれぞれ年間2回）</li> <li>・クラブ活動（4・5・6年の縦割りグループによる活動）</li> <li>クラブ種類：散歩、スポーツ、音楽・ダンス、図工、レクリエーション、読書・読み聞かせ</li> </ul> <p>「地域を活用した学習」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種まき教室（4年）</li> <li>・さつまいも掘り交流（1・2・3年）</li> <li>・地域交流（全学年）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢での活動で、自分の役割を果たす、人の役に立つ、友達に喜んでもらう、といった経験を積むことができた。</li> <li>・普段とは違う集団とともに活動することで、集団行動の約束を守ることができた、経験のある児童が率先して活動し、活躍の場ができた、余暇を広げることができた、といった成果があった。</li> <li>・『種まき教室』では、JAふじ伊豆の方を講師に招き、冬野菜の種まきを行った。JAの方から、種まき方法の説明を聞いたり、プランターへの土入れや種まきを一緒に行ったりすることで、より活動に興味をもち、野菜作りへの知識を得たり地域の方との関りを深めたりすることができた。</li> <li>・さつまいも掘り交流では、1～3年生に1～2名ずつの地域の方に入ってもらい、さつまいも掘りを行ったり、休み時間を一緒に過ごしたりする交流を行った。いつもとは違う地域の方との関わりにより、人との関りの幅を広げたり、より楽しんでさつまいも掘りに取り組んだりする姿が見られた。</li> </ul> |

|  |                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |                                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流は、本校小学部の伝統として、長年取り組んでいる活動である。今年度も、原地区の方々に各学年に2～3名ずつ入っていたき、ゲームやダンスなどで交流を行った。本校児童が地域の方との関りから刺激をもらうだけではなく、双方にとって理解を深められるとてもよい機会となった。より本校に通う児童についての理解啓発を進め、共生社会実現を推し進めていけるよう、今後も継続して取り組んでいきたい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                              |
|  | 「交流及び共同学習」(小学部)<br>・学校間交流(年2回)<br>・交流籍校交流(希望者)                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・沼津市立原東小学校との学校間交流は、小学部の6年間で継続して実施している。6年間の見通しの中で児童同士の関わりや活動内容が段階的に積み上げられるよう、各学年の押さえを明らかにして取り組んでいる。今年度は、お互いの学校での交流を各学年2回行い、それぞれ友達と関りを持つことができた。毎年交流を行うことで児童同士がお互いの個性やそれぞれの存在の大切さを感じる交流となっている。来年度も各学年で年2回の実施を予定している。</li> <li>・交流籍校交流は、年々希望者が増えている。6年度は1人1～3回、相手校と日程を調整し行った。児童も保護者も教員も実施することの良さを感じており、交流を通して、関りを深めることに加え、本校児童の得意な学び方や有効な支援方法を広く周囲に発信することができた。本校や本校に通う児童に関する理解啓発を進め、それぞれの児童の居住地域においても共生社会実現に向けた足掛かりとなるようにしていきたい。</li> </ul> |
|  | 保護者学習会<br>・先輩保護者の話を聞く会<br>(小・中学部)<br>・保護者学習会②(小学部)                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者学習会では、先輩保護者から小・中・高等部の違いや高等部卒業までの保護者の思いを直接聞く『先輩保護者の話を聞く会』と小グループに分かれて雑談を行う『保護者学習会②』を行った。『先輩保護者の話を聞く会』では、本校卒業生の保護者2名から、今までの子育てに関する様々な話や、進路決定に向けてのアドバイスなどの話を聞き、これからの毎日に対して前向きになれる力を得ることができた。『保護者学習会①』では、家庭で困っていることや休日の過ごし方など様々な情報交換を行うことができた。明日からの生活に関わるヒントを得られたり、同じ悩みを共有することで明日への活力を得られたりすることができた。</li> </ul>                                                                                                                          |
|  | 「地域を活用した学習」(中学部)<br>・愛鷹広域公園の花壇作り(年3回)<br>・原地区センターの花壇作り(年2回)<br><br>・福祉施設への空き缶の搬入(エコ美化委員会)(年2回) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸班の生徒が愛鷹公園や原地区センターの花壇作りを行った。作業学習で身に付けた技能を地域のためにいかし、地域の方に感謝されたことで、大きな達成感と作業への意欲を高めることができた。</li> <li>・委員会活動で潰した空き缶を、近くの福祉事業所に納品した。感謝状をいただいたことで、生徒の自己有用感につながった。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                               |

|                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>「交流」（中学部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園交流（年２回）</li> <li>・ 学校間交流（年２回）</li> </ul>                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ １回目は本校に園児を招き、太鼓演奏の披露、椅子取りゲーム、プレゼント贈呈を行った。２回目は保育園に出向き、ソーラン節の披露とメディシングボールを行った。園児に優しく接する経験や楽しんでもらえたことが生徒たちの喜びにつながった。</li> <li>・ 今沢中学校の１年生と交流会を行った。１回目は本校で、台風の日を実施した。交流タイムでは、自己紹介カードを使って、好きなものやことを紹介し合った。２回目は今沢中学校に出向き、今沢中の生徒が考えたゲームを学年ごとに行った。１回目の交流会の様子から企画してくれたゲームだったこともあり、両校の生徒が楽しく参加できた。お互いがお互いのことを考えて企画する経験をするのができた。</li> </ul>                                                 |
| <p>「作業学習」（高等部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品開発の工夫と売り上げ意識の向上</li> </ul>                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業を単元化することで、目的意識をもって製品作りに取り組むことができている。個に応じた活動を設定しながら、製品アンケートを実施して、更なる質の向上や新製品の開発、売れ筋商品の分析等に取り組んでいる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>「地域で生きる作業学習」（高等部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バザーでの作業製品販売</li> <li>・ 協力店舗への納品</li> <li>・ 地域を意識した活動の創造</li> </ul>                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協力店舗（洋菓子店、茶屋、喫茶店）への納品、地域の方に向けた野菜の販売、近隣の商業施設での販売を行った。納品や販売経験を重ねることで、目的意識をもって製品作りに取り組むことができている。</li> <li>・ 地域のスーパーに使用済みの牛乳パックを納品しエコ活動に取り組んでいる作業班や、原団地内施設の清掃に取り組んでいる作業班もある。</li> </ul>                                                                                                                                                                                              |
| <p>「生徒指導」（高等部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登下校時の指導<br/>登下校時の指導を定期的実施し、安全教育の充実を図った。</li> <li>・ 情報モラル指導<br/>携帯電話の使用時間、インターネットやSNSの使用法の指導を行った。</li> <li>・ 消費者出前講座（全学年）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の実態が様々で、電車・バス等の乗車マナーでの課題があり、多様化している。今後も学期始めや年度途中でのマナー指導、乗車指導、災害時の対応学習等を継続していく必要がある。</li> <li>・ 携帯電話を持つ生徒の増加に伴い、インターネット、SNSの利用も増えている。SNSの利用について課題があり、トラブルに巻き込まれることも考えられ、生徒が情報モラルについて学び、節度ある利用ができるよう、外部講師を呼んで授業を行った。引き続き指導を行っていく必要がある。</li> <li>・ 成年年齢の引き下げに伴い、消費者被害から身を守るため、契約や金融、若者に多い消費者トラブルとその対処法などを専門知識を持つ講師から３年間段階的に学んでいる。高校生の消費者被害の増加は懸念されており、今後も継続的に実施していきたい。</li> </ul> |
| <p>「心の相談室 ポストの設置」（高等部）</p> <p>「リラックス教室の定期開催」（高等部）</p>                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健室前にポストを設置し、生徒が悩みを打ち明けやすい環境作りに努めた。今後も、障害認知を深め、組織として生徒指導に対応できるように計画的に実施していきたい。</li> <li>・ ロングホームルームの授業で、ゆったりした音楽を聴いたり、アロマの匂いを嗅いだりしたことで、リラックスできる方法を知ることができた。ストレスを抱えている生徒が増えているため、今後も継続していきたい。</li> </ul>                                                                                                                                                                          |

|  |                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                              |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 「交流及び共同学習」(高等部)<br>・近隣高等学校 高1・高3 年1回<br>・保育園児との交流 高2 年2回                                                                                                                            | ・高等部1年生は飛龍高校と部活動交流を行った。高等部3年生は、沼津工業高校にて体験授業を受けた。各高校の生徒が優しく丁寧に接してくれたため、本校の生徒も安心して体験・交流をすることができた。<br>・高等部2年生はあしたか保育園の園児と交流を行った。会の計画、準備、運営を生徒が行っている。1回目は保育園に行き、2回目は園児を本校に招いている。                 |
|  | 「進路指導」(高等部)<br>高等部の進路指導で生徒の希望に沿った進路指導を行った。また、保護者への啓発活動の充実を図った。<br>・高1 施設見学 職場体験(2日間)<br>・高2 入所施設見学<br>職場実習(年2回)<br>・高3 ハローワーク見学<br>職場実習(年2回)<br>・全学年 ビジネスマナー講座<br>・保護者向け進路懇談会 各学年2回 | ・高等部では本人の希望に沿った進路実現100%を目標として進路指導を行っている。<br>・就労希望者、福祉事業所利用希望者共に、実習を重ねる中で、ほぼ希望に沿った進路に進むことができた。福祉事業所(特に生活介護事業)の定員の関係や生徒の家庭環境や特性(強度行動障害、てんかん、他害など)で、進路決定が難航するケースがあるため、市町福祉担当課や福祉事業所との連携を重視している。 |

## 5 教職員について

### (1) 異動状況

| 区分   | 本務職員 |     |    |     |     |      |      |      |     |
|------|------|-----|----|-----|-----|------|------|------|-----|
|      | 校長   | 副校長 | 教頭 | 事務長 | 教諭  | 養護教諭 | 事務職員 | 栄養教諭 | 計A  |
| 転出者  |      | △1  | △1 | △1  | △18 |      | △1   |      | △22 |
| 退職者  |      |     |    |     | △1  |      |      | △1   | △2  |
| 転入者  |      | 1   | 1  | 1   | 14  |      | 1    |      | 18  |
| 新任者  |      |     |    |     | 4   |      |      |      | 4   |
| 差引増減 | 0    | 0   | 0  | 0   | △1  | 0    | 0    | △1   | △2  |

| 区分   | 臨時・非常勤職員 |       |        |         |              |    | 合計<br>A+B |
|------|----------|-------|--------|---------|--------------|----|-----------|
|      | 教諭(任)    | 教諭(臨) | 栄養士(臨) | 事務職員(臨) | 会計年度<br>任用職員 | 計B |           |
| 転出者  |          |       |        |         |              |    | △22       |
| 退職者  | △4       | △4    |        |         | △1           | △9 | △11       |
| 転入者  | 2        |       |        |         |              | 2  | 20        |
| 新任者  | 2        | 10    |        |         | 4            | 16 | 20        |
| 差引増減 | 0        | 6     | 0      | 0       | 3            | 9  | 7         |

### (2) 現員数

| 本務職員 |     |    |     |    |      |      |      |     |
|------|-----|----|-----|----|------|------|------|-----|
| 校長   | 副校長 | 教頭 | 事務長 | 教諭 | 養護教諭 | 栄養教諭 | 事務職員 | 計A  |
| 1    | 1   | 1  | 1   | 94 | 2    | 0    | 3    | 103 |

| 臨時・非常勤職員  |           |            |              |        | 合 計<br>A + B |
|-----------|-----------|------------|--------------|--------|--------------|
| 教諭<br>(任) | 教諭<br>(臨) | 栄養士<br>(臨) | 会計年度<br>任用職員 | 計<br>B |              |
| 9         | 11        | 1          | 16           | 37     | 140          |

### (3) 健康管理について

#### ア 健康管理の推進

教職員健康診断は、婦人科検診を含め対象者全員が受診した。再検査・精密検査を勧められた者に対しては、定期的なチェックや声掛けも行ったことで、結果特休者等を除いた全ての対象者が受診を終え、何らかの指示をいただくことができた。また継続治療や経過観察となっている教職員の受診状況等の把握にも努めた。

学校職員衛生委員会では、毎月、職員の様子などについて情報交換を行い、問題となるような内容がある場合には、改善策を皆で考え、実行に向けて動くことができた。

教職員からの健康相談については、その都度産業医に相談し助言をいただいている。教職員一人ひとりが心身の健康を主体的に捉え、日常生活においても適切な食生活や運動を意識していけるよう、今後も支援を継続していく。

### (4) 教職員の研修について

特別支援学校教職員としての専門性を深めるために、研修・研究活動の充実を図り、その成果を日常の教育活動に生かすように努めている。

研修テーマ「児童生徒が自分の良さや成長を実感できる授業づくり～見取りとフィードバックの循環を通して～」の2年目に当たり、公開授業研究会を開催し、外部参加者を交えて、各学年の取組や授業づくりについて協議を行い、研修集録へのまとめを行った。

#### ア 各学部の研修テーマ

【小学部】「児童の『できた!』『わかった!』があふれる授業づくり～児童の気持ちに応じた支援を工夫して～」

【中学部】「働く喜びを感じる授業づくり～できたことを実感するフィードバックの工夫～」

【高等部】「生徒がやりがいを感じる授業づくり～自ら考え動くためのフィードバックの工夫～」

#### イ 研修内容

令和5年度の取組では、自分の良さや成長の実感につながる様々な有効な支援を、各学部の段階や実態に応じて見出すことができた。その中で、児童生徒が「授業が楽しい」「できるようになったことが増えた」と達成感や成就感を味わえるようにするためには、児童生徒が本気でやりたいと思うことに、夢中になって取り組めることが大切である、ということを改めて認識することができた。そこで、令和6年度は、授業づくりのキーワードを「児童生徒が～たい」とし、児童生徒がやりたいと思うことや、やりがいを感じられること、やり遂げたいと思うことに夢中になって取組み、達

成感や成就感を味わうことのできる授業づくりを目指して実践を重ねることにした。その具体的な取組として、新たに「単元デザインシート」を活用し、児童生徒の思いや願い、思考の流れを中心に据えながら授業づくりに取り組めるようにした。また、単元の途中では、児童生徒が「どのようなことを考えそうなのか」「どうしたいと思っているのか」等、児童生徒の思いや願いに着目しながら学びを見取り、改善を重ねた。

小学部は各学年、中学部・高等部は各作業班で、事例児童生徒を一人以上決め、事例児童生徒の指導の検討を中心にしながら研修の取組を進めた。研修の取組に適切な助言が得られるよう、各学部1名ずつ他校から助言者を招聘し、授業参観と指導助言を通して学部研修や研修に基づく授業づくりの充実を図った。また、12月に第25回公開授業研究会を行い、2年計画の研修の成果を発表すると共に、外部参加者を交えて、各学部の取組や授業づくりについての協議を行った。

校内研修のほか、職員の専門性向上のため、外部講師に依頼し以下の学習会を行った。

| 月 日                     | 学習会のテーマ                        | 講 師                                                     |
|-------------------------|--------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 5月10日<br>5月13日<br>7月29日 | 「救命法講習会（心肺蘇生法、AED使用）」（保健給食課主管） | 駿東伊豆救急ワークステーション                                         |
| 8月5日                    | 「防災講話（職員向け）」（防災防犯課主管）          | 静岡県東部地域局危機管理課<br>植田 城治 主査                               |
| 8月8日                    | 「スクールロイヤー研修会」                  | 福地・杉山法律事務所<br>芝原 浩一 弁護士                                 |
| 8月9日                    | 「特別支援学校における道徳教育の実践」（生徒指導課主管）   | 宇都宮大学共同教育学部<br>学校教育教員養成課程教育人間科学系（特別支援教育）助教 他<br>齋藤 大地 氏 |
| 6月27日<br>11月15日         | 「自立活動学習会」（自立活動課主管）             | 静岡大学教育学部特別支援教育専攻<br>香野 毅 教授                             |
| 12月6日                   | 「『各教科等を合わせた指導』の授業づくりで大切なこと」    | 全日本特別支援教育研究連盟理事長 他<br>名古屋 恒彦 氏                          |

校外の研修については、特別支援教育課及び県総合教育センターの主催する各種研修会のほか、県特別支援学校（知的障害）研究協議会、県内の各学校の研究大会に参加（オンラインを含む）し、教員の資質向上を図った。帰校後、内容を学部等で報告し、研修の成果を教員間で共有するようにした。

## ウ 成 果

児童生徒の思いや願いを想定し、一人一人の発達段階や実態を踏まえながら、活動設定や環境設定を工夫したことで、児童生徒の学習意欲が高まり、時間いっぱい夢中になって取り組む姿や、自分の役割に真剣に取り組む姿を引き出すことができた。

「児童生徒が～たい」と思いや願いをもって取組める単元・授業づくりは、児童生徒の学習への期待感や必然性を高め、自らの興味関心や「こうなりたい」という自分像に向かい、主体的に夢中になって取り組む姿につなげることができ、研修テーマの実現にむけて大変有効な授業づくりの視点であった。

## エ 課 題

職員アンケートから、「個にスポットを当て、一人一人が主体的に取り組める必然性のある活動設定を工夫したい」「個々の実態や障害特性を共有した上で、適切な課題設定や手立ての検討を行いたい」「個々の『できる』につながる教材開発をさらに進めたい」等の意見が寄せられた。これらのことから、児童生徒が集団の中で力を発揮できるようにするために、個別支援を最適化することの必要性を多くの先生方が感じていることが分かった。次年度からの研修では、個別支援の最適化を図り、児童生徒一人一人が、集団の中で力を発揮することのできる授業づくりを進めていきたい。

## 6 防災対策について

児童生徒が安全に安心して学校生活が送れるよう、防災防犯体制を整え、児童生徒の発達段階に応じた防災教育を行った。

また、児童生徒の在校時における南海トラフ地震に関連する情報（臨時）の発表や地震・津波を想定した訓練を3回、火災の発生に備えての訓練を2回、年計5回の避難訓練とスクールバス避難訓練を3回実施した。その他、小学部を対象とした緊急地震速報訓練、教職員対象の大地震発生時シミュレーション訓練（緊急メール配信訓練含む）、保護者対象の保護者引渡し訓練、災害伝言ダイヤル171訓練を2回、緊急体制訓練を学部ごとに1回実施した。外部講師を招聘し、職員防災研修、AED心肺蘇生法講座を実施した。不審者対応訓練は、外部講師を招聘し、実際に想定した訓練を実施した。

### (1) 避難訓練・不審者対応訓練

| 月 日                  | 訓 練 名      | 主 な 内 容                                                                          |
|----------------------|------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 4月23日                | 第1回火災避難訓練  | 調理室から出火を想定した避難訓練を実施した。ハンカチで口を押さえ、煙を吸い込まないようにし、避難経路を確認しながら運動場に避難をした。              |
| 5月9日<br>9月4日<br>1月9日 | スクールバス避難訓練 | スクールバス乗車時の地震発生への対応（児童生徒の身の守り方、介助員と運転手の動き等）を確認した。登校便2回及び下校便1回実施                   |
| 5月21日                | 第1回地震避難訓練  | 地震の後、津波警報が発令されたことを想定し、各学部とも、各教室で初期避難行動をした。その後、2次避難として3階への垂直避難は行った。トランシーバーを使った点呼、 |

|                 |                                               |                                                                                  |
|-----------------|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
|                 |                                               | 報告を実施した。                                                                         |
| 6月19日           | 保護者引渡し訓練                                      | 震度5弱以上の地震が発生し、児童生徒が学校待機となったことを想定し、保護者引渡しの手順や役割を確認しながら訓練を行った。                     |
| 6月19日           | <教職員対象><br>大地震発生時シミュレーション訓練                   | 各係に分かれ、簡易トイレの設置、発電機の動作確認、物資運搬搬出等を実施した。<br>保護者にコクーメール配信、開封確認し、保護者は運動場での引き渡しを想定した。 |
| 8月5日            | <教職員><br>職員防災研修(DIG)                          | 東部地域局危機管理課から講師を招聘し、本校周辺の地図に地域の情報を書き込みながら地域の危険性を理解する研修を行った。                       |
| 8月30日           | 総合防災訓練（第2回地震避難訓練、非常食試食会）                      | 大規模地震災害発生を想定した地震避難訓練、寝袋体験、映像による防災学習、非常食試食会を実施した。                                 |
| 10月3日           | 第2回火災避難訓練                                     | 給食室からの出火を想定した避難訓練を実施した。消防署と連携しての通報訓練、消防車見学、消火訓練、スモーク体験を実施した。                     |
| 7月1日<br>11月1日   | <保護者対象><br>災害伝言ダイヤル171再生訓練<br>災害伝言ダイヤル171録音訓練 | 大規模地震発生時を想定し、災害伝言ダイヤルで児童生徒の安否と学校周辺の被害情報を保護者に伝える訓練と家族で決めた電話番号に録音をしてもらう訓練を実施した。    |
| 11月5日           | 緊急地震速報訓練(小学部4年)                               | 緊急地震速報の音やアナウンスを聞き、身を守る行動をとった後、避難時の約束を守り、3階への垂直避難を行った。                            |
| 11月13日          | <教職員対象><br>不審者対応訓練                            | 不審者侵入時の組織的な対応（不審者対応、児童生徒の安全確保、校内放送、警察への連絡）を確認するシミュレーション訓練を実施した。                  |
| 8月30日<br>11月28日 | 消火訓練（高等部）<br>起震車体験（高等部2年）                     | 水消火器を使った初期消火を体験し、校内の消火器、消火栓の場所についても確認した。<br>起震車で小規模から大規模の地震の揺れを体験した。             |
| 12月2日           | 第3回地震避難訓練                                     | 児童生徒、職員に予告なしの抜き打ち訓練を実施した。教室での1次避難の後、2次避難として、全校児童生徒一斉に3階への垂直避難を行った。               |

(2) 施設・設備の整備、保守、保安

ア 消防計画・電気工作物・自動ドアは、専門業者に委託して定期的に保守点検を実施した。

イ 月1回の安全点検、半年に1回の安全総合点検を実施し、児童生徒が安全に活動できるように努めた。

(3) 学校警備

退庁時の戸締り、火気点検を徹底し、夜間は警備会社の機械警備により継続した警備体制を図り、災害事故発生防止に努めた。

7 学校開放について

地域におけるスポーツ活動等に対し運動場等学校施設を開放している。

| 事業名          | 施設名 | 期 間       | 日数  | 利用者   | 利用者負担金             |
|--------------|-----|-----------|-----|-------|--------------------|
| 県立学校<br>施設開放 | 体育館 | 6年4月1日から  | 17日 | 延473人 | 12,368円<br>電気料（実費） |
|              | 運動場 | 7年3月31日まで | 6日  | 延220人 |                    |

## 2 目指す学校像＜伊豆田方分校＞

### (1) 教育目標

共に育てる 自立と輝き

～子どもの能力を最大限伸ばし、個々のよりよい自立と輝きを支援する～

- ・学校、保護者、地域の方々と共に、さらに児童生徒同士、児童生徒が自分自身を、育て、成長すること
- ・児童生徒一人一人がそれぞれのステージでできることを増やしていくこと、人や社会との関わりが広がること
- ・自分の良いところを伸ばし、他者から認められ、自信をもって生きる姿、生きる力を高めること

### (2) 目標具現化の柱

- ア 人権尊重の理念に基づいた、児童生徒が安全に安心して学習できる学校（安全）
- イ 児童生徒のニーズに基づいた、キャリアを踏まえた指導及び支援ができる学校（専門）
- ウ 地域や関係諸機関等との強いつながりに基づいた、共生社会を進める学校（連携）
- エ アサーティブな関わりに基づいた、チームとしてやりがいを持てる学校（チーム）

## 3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

### (1) 令和5年度の取組目標への評価及び成果と課題

ア 人権尊重の意識に基づいた、生徒が安全に安心して学習できる学校（安全）

| 取組目標            | 成果目標                                                             | 達成状況                                                                                                    | 評価 | 成果と課題                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域での安全につながる防災教育 | <p>①生徒が、発災時の具体的な行動を理解している。</p> <p>②職員が、発災・緊急時にとるべき行動を把握している。</p> | <p>①アンケートにおいて「できた」と回答した<br/>教員 94.7%<br/>保護者 92%<br/>生徒 99%</p> <p>②アンケートにおいて「できた」と回答した<br/>教員 100%</p> | A  | <p>・田農との合同防災訓練やジュニア防災士養成講座の実施など、災害を自分事として捉え体験的に取り組める授業が充実していた。</p> <p>・避難訓練では、形式的な避難行動に留まらず、各教員が担当場所からの経路の安全性を見直し、一次避難地を新たに設定するなど改善が行えた。</p> <p>・家庭での備蓄や家具固定、居住地区における避難場所などのプリントを持ち帰り、保護者とも情報共有ができた。</p> <p>・防災学習は大切。これまでの教材を共有し、授業に活用しながら継続していきたい。</p> |

|                     |                                                                                       |                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>誰もが安心して通える学校</p> | <p>①職員や生徒が、互いの良さや苦手を認め、寄り添う姿勢や称賛の言葉を用いて関わっている。</p> <p>②校内の情報や物品がシンプルに機能的に整理されている。</p> | <p>①アンケートにおいて「できた」と回答した<br/>教 員 100%<br/>保護者 96.6%<br/>生 徒 91%</p> <p>②アンケートにおいて「できた」と回答した<br/>教 員 73.7%</p> | <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養護教諭の尽力により、健康面での指導が充実した。引き続き、家庭や地域生活にも返し連携を図りたい。</li> <li>・スクールサポーターから定期的に情報を得ることで、安全指導も充実してきている。</li> <li>・多くの生徒が学校を楽しみにしているが、人間関係や生活リズムの面で悩みを抱える生徒もいる。本人や家庭に寄り添い、背景を十分に理解した上で、安心できる校内体制作りや地域における最適な居場所へのつなぎを継続したい。</li> <li>・教室や廊下の掲示物などの情報整理、デジタルデータの管理が少しずつ進んできている。最適化できるよう、引き続き環境整備を行いたい。</li> <li>・P C室や相談室、作業棟などの使用を工夫して、空間の有効活用や構造化をより進められると良い。</li> </ul> |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

イ 深い生徒理解に基づいた、キャリアを踏まえた指導及び支援ができる学校（専 門）

| 取組目標                   | 成果目標                                                 | 達成状況                                                                                 | 評価 | 成果と課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------------------|------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 多面的な生徒理解と生徒自身の自己理解への支援 | ①作業学習をはじめとする学習場面において、生徒が主体となって活躍している。                | ①アンケートにおいて「できた」と回答した<br>教 員 89.5%<br>保護者 100%<br>生 徒 99%                             | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICTの活用により、生徒の多様な表現方法を拾い上げ、意見の吸い上げを行うことができた。更なる活用を進めたい。</li> <li>・ 生徒の情報について、学年を超えて日常的に情報交換を行うことで、学年を越えた理解や指導に繋がった。</li> <li>・ 研修を通して、生徒自身が課題を発見することやその解決に向けた主体的な学びについて、教師側の意識が高まった。</li> <li>・ 作業学習では、終日作業が始まり、一日を通して働く経験を積めるようになり、他団体との協働場面も広がった。今後、協働機会の飽和状態による準備不足が心配されるため、交流機会の精選について検討していきたい。</li> </ul> |
| 個に応じた適切な進路決定           | ①生徒が、勤労観や職業適性について理解を進めている。<br><br>②保護者が、進路選択や職場実習の価値 | ①アンケートにおいて「できた」と回答した<br>教 員 100%<br>保護者 96.6%<br>生 徒 89%<br><br>②アンケートにおいて「できた」と回答した | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャリアパスポートを作成し活用することで、生活や学習、実習などを繋げて考えることができ、生徒主体の学びに向かっている。更なる有効活用を進めていきたい。</li> <li>・ 金銭を含めた自己管理など、生活面での支援や指導も、情報提供を含めて更に充実させていきたい。</li> <li>・ 保護者への進路情報提供を充実させることで、本人</li> </ul>                                                                                                                            |

|  |              |                     |  |                                                                                                             |
|--|--------------|---------------------|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | を重視し、協力している。 | 教 員 100%<br>保護者 96% |  | を含めて家庭の協力を得ながら進路指導を進めることができた。<br>・1年生の短期実習など、最適な実施時期を検討していきたい。また、保護者向けの進路説明会の設定など、家庭と連携するための工夫を引き続き進めていきたい。 |
|--|--------------|---------------------|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

ウ 地域と関係機関等との強いつながりに基づいた、共生社会を目指す学校（連 携）

| 取組目標                         | 成果目標                                                                             | 達成状況                                                                                            | 評価 | 成果と課題                                                                                                                                                                              |
|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 関係諸機関とのつながりを大切にした切れ目のない支援と指導 | ①職員が、生徒や保護者のニーズを把握し、必要に応じて面談や関係者会議を実施している。<br><br>②保護者が、生活安定や地域安全の価値を重視し、支援している。 | ①アンケートにおいて「できた」と回答した<br>教 員 100%<br>保護者 100%<br><br>②アンケートにおいて「できた」と回答した<br>教 員 100%<br>保護者 92% | A  | ・出身中学校や保護者、地区行政等との綿密な情報共有を行うことができた。<br>・必要に応じて保護者や市町の福祉課とも連携を取り、適宜、関係者会議を実施することができた。<br>・中学校からの進路相談や卒業後の就業促進会議など、必要な時期に十分な情報共有ができた。<br>・生徒指導案件などは、时期的なものなどから予測して、予防的な指導も進めることができた。 |
| 生徒の自立と輝きに向けた共生・共育            | ①生徒が、田方農業高校との共同学習や行事をはじめ、外部人材との交流学习に積極的に参加している。<br>・                             | ①アンケートにおいて「できた」と回答した<br>教 員 100%<br>保護者 93.3%<br>生 徒 91%                                        | B  | ・陶芸や調理などの技術指導に加え、防災指導や主権者教育など、幅広く外部人材から知識を得る機会があった。<br>・エスウェルフェスやトマト祭など地域の行事や祭などに参加し、作業製品の販売などで地域貢献することができた。<br>・同年代をはじめ、いろいろな立場の方々とのコミュ                                           |

|  |                        |                             |                                                                                                                                                                                                                                             |
|--|------------------------|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | ②学校運営協議会から具体的な支援を得ている。 | ②アンケートにおいて「できた」と回答した教員 100% | <p>ニケーション機会が充実していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流の回数が増え、量に対する質の確保が難しくなっているため、それぞれの交流の意義を確認し、精選していきたい。</li> <li>・学校運営協議会から、学校見学の時にその場で直接アドバイスをいただき、すぐに指導に活かすことができた。</li> <li>・学校運営協議会との連携により、外部団体との有意義な協働場面が増えた。</li> </ul> |
|--|------------------------|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

エ チームとしてのやりがいに基づいた、効率よく迅速に、業務を遂行できる学校(チーム)

| 取組目標      | 成果目標                                                                              | 達成状況                                                                   | 評価 | 成果と課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 働きがいのある職場 | <p>①職員が、本校事務室からの連絡を適時に確認し、連携している。</p> <p>②職員が、時数管理や行事計画の工夫などにより、生徒と向き合う時間や教材研</p> | <p>①アンケートにおいて「できた」と回答した教員 94.8%</p> <p>②アンケートにおいて「できた」と回答した教員 100%</p> | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校事務室から、掲示板などを通して書類の書き方や期限などの丁寧な通知があり、前もって計画的に事務手続きの準備を進めることができた。</li> <li>・掲示板やCOCOOの活用が進み、印刷や配布、アンケートの回収、集計などの業務改善がますます進んでいる。</li> <li>・サーバーの階層やフォルダが整理され、データ活用が進んだ。写真データの引越などもあったが、情報課がスムーズに進め、業務の滞りがなかった。</li> <li>・PTA活動にデジタル機器を取り入れることで、仕事の手間が減り、データ作成などの分担も</li> </ul> |

|  |                      |  |                                                                                                                                                                                                                                                |
|--|----------------------|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 究の時間、情報共有の時間を確保している。 |  | <p>しやすくなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の保護者の中にはP T A活動を負担に感じている方もいる。家庭環境や時代の変化等に合わせ、活動の更なる精選を検討したい。</li> <li>・学年内や作業班内での調整が進み、教材研究や生徒の情報共有に充てる時間が以前よりもてるようになった。</li> <li>・放課後の会議や部活動指導など、運営の改善に向けて引き続き案を練っていきたい。</li> </ul> |
|--|----------------------|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(2)令和6年度の取組目標・達成方法・成果目標

ア 人権尊重の理念に基づいた、児童生徒が安全に安心して学習できる学校 (安 全)

| 取組目標         | 成果目標                                        | 達成状況                                                                                   | 評価 | 成果と課題                                                                         |
|--------------|---------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------|
| 人権に配慮した指導の徹底 | ・職員や生徒が、互いの良さや苦手を認め、寄り添う姿勢や称賛の言葉を用いて関わっている。 | ・人権尊重の視点での振り返りから、生徒同士では、互いの良さを認め合う意識が高まっている。一方で職員は、生徒への肯定的な関わり方について、さらに研修を積む必要性が確認された。 | B  | ・職員が全ての生徒に対して肯定的な意識を持って関わる重要性を確認し、個に応じた寄り添う姿勢や称賛の言葉を用いた柔軟な関わり方の追求に徹底して取り組む。   |
|              | ・生徒自身や保護者が人権が尊重されていると感じている。                 | ・人権尊重の視点での振り返りから職員と生徒にそうは思わないという回答が一定数あった。                                             |    | ・職員と生徒共に、挨拶を交わし合う姿が、日常的に見られ相手を尊重する意識は高まった部分はあったが、「さん」付けの励行については今後も徹底できるようにする。 |
| 誰もが安心して通える学校 | ・校内の情報や物品がシンプルに機能的に整理されている。                 | ・パソコン室や更衣室等の共有スペースの物品整理が進んで安全や機能性が高まったが、継続した整理が必要である。                                  | B  | ・機密文書を含む共有データの整理については全職員で意識的に取り組むことができている。掲示環境については、より教育効果の上がる掲示計画を検討していく。    |
|              | ・調整や工夫により、教室や特別教室が有効に活用されている。               | ・少ない活動スペースの中でも教務課を中心に調整、学部内でも融通し合い有効に活用された。                                            |    | ・現在の使用教室の中での細かい調整を継続しながら有効な活用を進める。一方で、更に機能的な有効活用を進めるために、室内の備品等の整理を継続する。       |

イ 児童生徒のニーズに基づいた、キャリアを踏まえた指導及び支援ができる学校(専 門)

| 取組目標                | 成果目標                                            | 達成状況                                                                            | 評価 | 成果と課題                                                                                           |
|---------------------|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生徒との対話を通じた教育的ニーズの把握 | ・生徒自身が自分の得意や苦手を知り、生活の中で活かしている。                  | ・パソコン室や更衣室等の共有スペースの物品整理が進んで安全や機能性が高まったが、継続した整理が必要である。                           | B  | ・機密文書を含む共有データの整理については全職員で意識的に取り組むことができている。掲示環境については、より教育効果の上がる掲示計画を検討していく。                      |
|                     | ・作業学習をはじめとする学習場面において、生徒が自分の得意を活かし、主体となって活躍している。 | ・生徒自身が得意を生かして主体的に活動しているという職員の評価が多く見られたが、生徒の評価では「学校で勉強することが楽しくない」と答える生徒が11%見られた。 |    | ・集団の中で自分の得意やよさに目を向けて主体的に授業に取り組む生徒が増えた。その中で教員は、更に、実態差に応じた個への指導・支援について研修を深め、すべての生徒の主体的な姿を引き出していく。 |
| 個に応じた適切な進路決定        | ・生徒が、勤労観や職業適性について理解を進めている                       | ・全職員は、キャリアパスポートの活用等を通して自己理解が                                                    | B  | ・各学年の実態に応じたキャリアパスポートを活用することで生徒自身が自                                                              |

|  |                                |                                                                        |  |                                                                                             |
|--|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------|--|---------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | る。                             | 進んだと評価した。生徒の1月の評価では、9月から「学習を通して自分に合った働き方についてイメージできている」と答えた生徒が11%増えている。 |  | 分の適性について知り将来の生活を考えることにつながる姿が多く見られた。今後3年間のつながりを踏まえた活用を検討していく。                                |
|  | ・保護者が、進路選択や職場実習の価値を重視し、協働している。 | ・職員の評価においては保護者の3年間の進路選択の流れや子どもの適性について理解を促す必要性を感じる職員が一定数見られた。           |  | ・進路選択の進め方や職場実習の意義についての保護者の理解を進める3年間の流れを、職員間で共通理解した上で、保護者に伝え、生徒の適性や思いに沿った進路決定が連携してできるようにしたい。 |

ウ 地域や関係諸機関等との強いつながりに基づいた、共生社会を進める学校（連携）

| 取組目標                         | 成果目標                                                                                                                                 | 達成状況                                                                                                                                                                                            | 評価 | 成果と課題                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 関係諸機関とのつながりを大切にした切れ目のない支援と指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が、生徒や保護者のニーズを把握し、必要に応じて面談や関係者会議を実施している。</li> <li>・保護者が、生活安定や地域安全の価値を重視し、支援している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての職員において必要に応じて適切な面談や関係者会議を組んで進めることができたという評価であった。</li> <li>・支援が必要になった場面では、事実確認を迅速かつ的確に行い保護者と共有をすることができた。難しいケースもあったがケース会議は柔軟かつ組織的に実施することができた。</li> </ul> | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年で個々の生徒の現状を細かく分析して、必要に応じて学校内及び関係機関と共有し、チームで課題解決に向けて取り組むことができた。さらに、学校内での情報共有の迅速化を図る工夫をする。</li> <li>・各学年で家庭とのやりとりを丁寧に行い、信頼関係を保つ中で、生徒や家庭の支援に取り組むことができた。各学年に支援が必要な生徒がいるため、保護者と連携した生徒の見届け等の支援を含め、継続して丁寧に対応していく。</li> </ul> |
| 生徒の自立と輝きに向けた共生・共育の充実         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が、田方農業高校との共同学習や行事をはじめ、外部人材との交流学习に積極的に参加している。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての保護者・職員は生徒が主体的に参加できていると評価している。生徒の評価においては97%が「楽しい」と回答している。</li> </ul>                                                                                  | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が共同学習において、田農生と意欲的に学んでいる。関わりが苦手な生徒においても回を重ねるごとに共同で学ぶことに前向きになる姿が見られた。今後も、作業学習や総合的な探究の時間としての確かな学びの成果が出る様に田方農業高校と授業作りをしていく。</li> </ul>                                                                                    |

|  |                                                                             |                                                                                                    |   |                                                                                                                                              |
|--|-----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会と教職員とが、相互に連動している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の研修会を通して、学校運営協議会委員と協働して学校と地域のつながりについて地域に発信できた。</li> </ul> | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の委員の方の支援を受けて研修会を開催したことで、在校生や卒業生が地域とつながりをもって生き生きと自分らしく生活するための支援者を増やすきっかけをつくることができた。</li> </ul> |
|--|-----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

エ アサーティブな関わりに基づいた、チームとしてやりがいを持てる学校 (チーム)

| 取組目標            | 成果目標                                                                             | 達成状況                                                                                         | 評価 | 成果と課題                                                                                                       |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| チームとしてやりがいのある職場 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が、チームとしての成長を実感している。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームとして全ての教職員がお互いの考えや思いを十分に伝え合う状況には至っていない。</li> </ul> | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークで教職員が自分の取り組みについて、お互いに情報交換したり、認め合ったりする機会を効果的に設定する。</li> </ul> |
|                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が、本校事務室からの連絡を適時に確認し、連携している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は管理職と相談しながら事務室と連携して業務を進めることができていた。</li> </ul>      |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が各担当する役割の中で事務室とのやりとりを適時に行い、スムーズに連携しながら仕事を進めることができた。</li> </ul>    |

4 監査対象期間における特色ある取組

|       |                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とのつながりを深め、地域を活動場所としての作業学習の実践</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・木工、園芸、陶芸、清掃の4種の作業班で地域との関わりを意識した取組を展開した。</li> <li>・木工班で、物産販売所での販売や近隣の道の駅や福祉事業所からの依頼で手掛ける看板製作等の取組、清掃班で、函南小学校、三島南高等学校の清掃への取組を継続していること、陶芸班で、物産販売所での販売や店舗からの受注販売に取組でいること、園芸班で、事業所、田農、本校の3者で協力して病院のプランターづくりに取り組んでいることや町役場の花壇整備等、地域での実際の活動を通して学ぶ経験を繰り返していく中で、働く意味を学び、生徒の働く意義の意識化につながってきている。地域の人とのかかわりを通した体験が、生徒たちの働く喜びになり、次の意欲につながっている。</li> </ul> |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いを認め合い、授業の実際を体験し合う田方農業高校との行事、授業交流、生徒会活動の充実</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流開始前に、本校教員が田方農業の生徒に向けて障害理解のガイダンスを行うことで、正しい知識の理解が促され、生徒同士の良い関わりにつながった。</li> <li>・行事交流（対面式、体育祭、田農祭における交流等）7回、田農ライフデザイン科セラピーコースとの共同授業11回、他学科との交流授業6回、3年生との体育での授業（交流卓球、バスケットボール、ボッチャ）3回など年間で27回の交流を実施した。</li> <li>・特に、田農祭では、生徒会活動でのかかわりが、作り上げる喜びを感じる機会になった。話し合いや看板の作成等、生徒集会で分校の生徒が司会を行う機会も得た。生徒の良い刺激となり、自然な会話や関わりなどの共生・共育が行われた。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・田方圏域におけるセンター的役割の取組</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の教育委員会を通して、本校ができる教育相談や学校公開等の地域支援について示すことで、圏域の保護者や職員からの教育相談につながった。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の外部講師を招いた専門的な知識や社会生活に生きる知識を学ぶ授業や講座の実施</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業支援では、サッカー指導、陶芸指導を、講座では、ビルメンテナンス講習やビジネスマナー講習を実施した。各分野における生徒のスキルアップにつながった。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場実習、進路指導の充実</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労促進支援員と連携を密にしながら生徒一人一人の特性や希望に応じた実習先の選択を行っている。職場実習終了後には学年ごと丁寧振り返りを実施したり、上級生の報告会や座談会に下級生が参加して成果と課題を共有したりすることで、3年間を通した職場実習を柱にした取り組みにつながっている。</li> <li>・PTA事業との共催による進路に関する保護者向け事業を年1回実施した。講師を招いての障害年金制度の進路学習会を開催し、保護者の卒業後の生活を考える意識向上につながった。</li> </ul>                                                                                     |

## 5 教職員について

### (1) 異動状況

| 区分   | 本務職員 |     |     |     |     |          |          |        |
|------|------|-----|-----|-----|-----|----------|----------|--------|
|      | 校長   | 副校長 | 教 頭 | 事務長 | 教 諭 | 養護<br>教諭 | 事務<br>職員 | 計<br>A |
| 転出者  |      |     |     |     | △6  |          |          | △6     |
| 退職者  |      |     |     |     |     |          |          |        |
| 転入者  |      |     |     |     | 6   |          |          | 6      |
| 新任者  |      |     |     |     |     |          |          |        |
| 差引増減 | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0        | 0        | 0      |

| 区分   | 臨時・非常勤職員  |           |              |        | 合 計<br>A + B |
|------|-----------|-----------|--------------|--------|--------------|
|      | 教諭<br>(任) | 教諭<br>(臨) | 会計年度<br>任用職員 | 計<br>B |              |
| 転出者  |           |           |              |        | △6           |
| 退職者  |           |           |              |        |              |
| 転入者  |           |           |              |        | 6            |
| 新任者  |           |           |              |        |              |
| 差引増減 | 0         | 0         | 0            | 0      | 0            |

## (2) 現員数

| 本務職員 |     |     |     |     |          |          |        |
|------|-----|-----|-----|-----|----------|----------|--------|
| 校 長  | 副校長 | 教 頭 | 事務長 | 教 諭 | 養護<br>教諭 | 事務<br>職員 | 計<br>A |
|      | 1   |     |     | 16  | 1        | 1        | 19     |

| 臨時・非常勤職員  |           |              |        | 合 計<br>A + B |
|-----------|-----------|--------------|--------|--------------|
| 教諭<br>(任) | 教諭<br>(臨) | 会計年度<br>任用職員 | 計<br>B |              |
| 1         | 1         | 1            | 3      | 22           |

## (3) 健康管理について

### ア 健康管理の推進

教職員健康診断後は、対象者全員が受診した。再検査を指示された者全員が再受診をした。学校管理医より指導を受けた者については校長面談を行い適切な対応を行った。また、職員安全衛生委員会での教職員の心身の健康状況の把握を、プライバシーに配慮しながら職場のリーダーで情報共有し、組織全体で働きやすい職場づくりに取り組んだ。さらに、健康管理やワークライフバランスについて日常的に呼びかけ、心身の健康を自己管理することの大切さも呼び掛けた。

### イ 情報機器における労働衛生管理

情報機器作業従事者健康診断では、問診票提出により対象となる職員がおり2次健診を受診し異常なしと判定された。

### ウ 腰痛予防対策

腰痛健康診断では、各自の自覚症状について問診を行った結果、医療機関等への受診者はいなかった。

## (4) 教職員の研修について

### ア 研修テーマについて

「考える力を高める授業づくり～『つながり』の中から～」

本校の学校教育目標は「共に育てる自立と輝き」である。「確かな『つながり』」「確

かな『学び』」をキーワードとし、日々の授業実践を行っている。

令和2年度から3年間、総合的な探究の時間を窓口に「考える力を高める授業づくり～防災学習の実践を通して～」を研修テーマとしてきた。生徒の思考の流れを予測した授業実践を積み重ねることで、生徒個人や生徒同士で考える力を高めることができた。

R5年度の研修は、さらに、生徒の考える力を高めることを目指し、『考える力を高める授業づくり ～「つながり」の中から～』とした。「考える力」は、学校経営目標の目指す生徒像である「自ら考え、自ら選び、自ら行動する生徒」に迫る。

『～「つながり」の中から～』は、伊豆田方分校の地域や田農生とのつながりを多く持てる特色を活かし、学校経営目標の目指す生徒像である「人とつながり、共に学び合う生徒」を育て、確かな学びの実現に迫りたい。

3年間の研修をとおり、生徒が考える力を高めることで、主体的に問題解決する力や周囲とつながり、社会で自立し生きていく力を身につけることができるための授業づくりの方法を探りたい。

#### イ 3年間の研修の流れ、今年度の研修仮説

|                          |                                                                                                         |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1年目（R5年度）<br>窓口：全ての教科・領域 | 達成：考える力、つながりの言葉の共通理解<br>課題：考える力を高めるための、環境作り                                                             |
| 2年目（R6年度）<br>窓口：作業学習     | 達成：環境設定に焦点をあてることで、コミュニケーションを通じ、生徒同士がつながることができ、共に学びあえた＝研修テーマ『～「つながり」の中から～』<br>課題：さらにつながりを深めるために、個別の支援の強化 |
| 3年目（R7年度）<br>窓口：作業学習     | 【R7年度の仮説】<br>個の実態に応じた支援をすることで、より良い「つながり」を築く姿がみられ、生徒たちが自ら考え、自ら選び、自ら行動する力を高める<br>＝研修テーマ「考える力を高める」         |

#### ウ 研修の方法・内容

- 各作業班において、環境設定に焦点を当てた授業実践を行う。  
(校内授業研究会、指導案に環境設定の内容を明記)
- 校内授業研究会に助言者を招き、授業改善に活かす。(年2回)
- 協議した内容を各作業班ごとの作業学習に活かせるように学年縦割り職員のグループワークと作業班後のグループワークの両方を取り入れて事前事後研修を実施する。

#### エ 成果と課題

##### ①第1回 授業研究 (中心授業：陶芸班)

- ホワイトボードを3分割し、作業計画を可視化→生徒自身で分かって動ける
- 作業場を工程ごとに設定→進捗状況が生徒自身で分かる
- 役割分担・場の設定→生徒同士のコミュニケーションがある

- ・ グループの工夫→生徒同士のコミュニケーションがある
- ・ 手順表→自分で動く（主体的）

②定期訪問（中心授業：清掃班）

- ・ 自作の清掃の教科書  
→清掃の基礎が定着し、自分たちでコミュニケーションをとって活動。自然な会話。
- ・ 縦割りのグループ→3年生中心のコミュニケーション
- ・ ポイントマット使用→自分たちで清掃する範囲を理解し働く
- ・ 教師の見守り→生徒同士のコミュニケーション
- ・ 画像での振り返り→綺麗になったと思える可視化、課題に気づかせる
- ・ 作業の計画表・道具置き場の統一→生徒全員がやることが分かり、見通しがもてる

③第2回 授業研究（中心授業：木工班）

- ・ 製品ごとの座席→お互いの様子が分かる
- ・ 進捗状況の可視化→生徒たちでコミュニケーションをとって行動できる
- ・ 縦割りのグループ→3年生中心のコミュニケーション
- ・ 小グループのミーティング→見通しをもって、自分のやるべきことがわかった
- ・ 机上の整理→作業しやすい
- ・ 掲示物（出来高表）→生徒同士でコミュニケーションをとって活動の分担ができた
- ・ 自己他者評価→自信をもって活動できる。

④環境設定に焦点を当てた今年度の成果

環境設定を行うことで、生徒同士がコミュニケーションをとって、課題解決をすることができた＝人とつながり、共に学びあう生徒（学校経営目標、目指す生徒像より）

⑤今年度の課題と次年度に向けて

<つながり>その活動に関わる生徒全員が目標を共有することで生まれる人との関わり合い。活動の目標を生徒全員が理解し、共有していることで、生徒同士が目標達成するために効率性を考えたり、コミュニケーションを取ったりして関わるができる。

<考える力>自ら考え、自ら選び、自ら行動する生徒（学校経営目標、目指す生徒像より）と定義づけられるはず。



- ・ 目指す教員の授業

「生徒同士がコミュニケーションを取る姿を通して、生徒が自ら目標を達成できる授業づくり」



- ・ 次年度の方向性

目指す授業中で、個に応じた支援を丁寧に行うことで、生徒が安心して他者と関わり  
自ら考え、自ら選び、自ら行動し、「人とつながり、共に学び合う生徒」を築く。

## 6 防災対策について

田方農業高校との合同訓練3回、分校独自の訓練を2回行った。教職員の防災研修として災害時の教職員の役割分担に応じた対応訓練を実施した。

(1) 避難・防災訓練

| 月 日    | 訓 練 名                      | 主 な 内 容                                          |
|--------|----------------------------|--------------------------------------------------|
| 4月10日  | 地区別参集訓練                    | 災害時に同じ居住地区の生徒同士での顔合わせ<br>田方農業高校との合同参集訓練          |
| 5月14日  | 第1回避難訓練<br>(避難経路確認)        | 地震発生時、また火災が発生したときの避難経路<br>確認                     |
| 8月1日   | 防災講座（職員）                   | 危機管理局職員からの講話と災害時の配備体制に<br>沿った対応訓練IDEAによるグループ活動 等 |
| 9月5日   | 第2回防災訓練<br>(地震想定)          | 地震発生時の避難誘導訓練<br>田方農業高校との非常時での連携確認                |
| 9月9日   | 防災講座（生徒）                   | 危機管理局職員から生徒向けの講話                                 |
| 12月24日 | 第3回合同防災訓練<br>(火災訓練)        | 火災発生時の田方農業高校との合同避難訓練<br>消火設備の確認                  |
| 2月22日  | 第4回訓練(作業時における<br>避難経路確認訓練) | 校舎以外の作業時の分散した場所での授業におけ<br>る避難経路確認訓練              |

(2) 施設・設備の整備、保守、保安

月1回の安全点検を実施し、生徒が安全に学校生活を送ることが出来るよう努めた。消防施設の点検も行い、教員の防災意識の向上を図るようにした。

(3) 学校警備

鍵の管理の徹底と施錠の徹底を図った。また、不審者対策として来校者の対応の仕方や不審者に遭遇した場合の対処方法などを職員間で確認した。

7 学校開放について

該当なし

## 2 目指す学校像＜愛鷹分校＞

### (1) 教育目標

- 共に育てる 自立と輝き** ～生徒の能力を最大限伸ばし、個々のよりよい自立と輝きを支援する～
- ・働くことへの夢と喜びを見出し、意欲を育て、実現に向かって前向きに進むことができること
  - ・高等学校や地域と連携・協働しながら共生社会の実現を進めること
  - ・誰もが互いに尊重し合い、互いの命を大切にし、安全に安心して過ごすこと
  - ・教職員にとって、健康で、安全に、仕事にやりがいをもてる、働きやすいこと

### (2) 目標具現化の柱

- ア 人権尊重、命を守る教育の理念に基づいた、生徒が安全に安心して学習できる学校 (安全)
- イ 生徒理解と生徒のニーズに基づき、将来を見据えた支援及び指導ができる学校 (専門)
- ウ 保護者、地域、関係諸機関等との連携に基づいた、共生社会の実現を目指す学校 (連携)
- エ アサーティブな関わりに基づいた、チームとしてやりがいを持てる学校 (チーム)

## 3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

### (1) 令和5年度の取組目標への評価及び成果と課題

ア 人権尊重、命を守る教育に基づいた、生徒が安全に安心して学習できる学校 (安全)

| 取組目標                              | 成果目標                                                                                                                                                         | 達成状況                                                                                                                | 評価 | 成果・課題                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 人権に配慮した指導の徹底                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が、相手の人権を尊重した対応を日々行っている。</li> <li>・保護者が、児童生徒の人権が尊重されていると感じている。</li> <li>・生徒が、安心して学校生活を送ることができている。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員一人一人が、人権を大切にする気持ちをもっている。</li> <li>・保護者は、概ね人権が尊重されていると感じている。</li> </ul>    | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権に関する研修を行ったことで、人権に関する意識が高まり、生徒への対応に気を付けられるようになった。</li> <li>・教員の思いが強い時の言葉が、受け取る側に不安を感じさせることがあるので、相手を思いやることをさらに行っていく。</li> </ul> |
| 自ら命を守ることができるための、未然防止と緊急対応の、実践力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況を鑑み必要な対策のもと教育活動が実施されている。</li> <li>・発災、緊急時に自分の身を守る対応を理解し、行動できる。</li> <li>・日々、安全を意識した行動がとれるような指導を行っている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は、繰り返し行っている訓練で、落ち着いて行動することができている。</li> <li>・防災学習を、単元を組んで行っている。</li> </ul> | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災について、地域の方にフィールドワークの形で実際に見聞きすることができ、自分の事として考えられる生徒が増えた。</li> <li>・様々な災害への対応が身に付く学習を行っている。</li> </ul>                        |

イ 生徒理解と生徒のニーズに基づき、将来を見据えた支援及び指導ができる学校（専門）

| 取組目標                                  | 成果目標                                                                                                                    | 達成状況                                                                                                                | 評価 | 成果・課題                                                                                                                                    |
|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キャリア教育の視点に基づいた、知的障害の特性に応じた指導・支援の向上と継承 | <ul style="list-style-type: none"> <li>職員が、3年間を見通して必要な内容の指導を行っている。</li> <li>生徒が、実習や授業などでの自分の取り組みを適正に評価できている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画を基に、必要な学習を適切な時期に行っている。</li> <li>実習などの機会をとらえて、生徒が適正な評価をしている。</li> </ul> | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>研修で、職業と作業で生徒に身に付けてほしい力を確認したことで、評価の考え方が共有できた。</li> <li>生徒の実態に沿った、学習内容と学習時期を検討していく必要がある。</li> </ul> |
| ICTを活用し、生徒が主体的に取り組む授業づくりの実践           | <ul style="list-style-type: none"> <li>職員が、授業の中にICTを効果的に取り入れている。</li> <li>生徒が、授業でICT機器を活用できている。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の興味を引く教材の提示を、ICTを使って行っている。</li> <li>生徒が、調べ学習などで積極的に活用している。</li> </ul>      | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>教員が、視覚的支援を考慮した教材提示をするようになった。</li> <li>調べ学習以外の授業で、生徒の活用方法を広げていく。</li> </ul>                        |

ウ 保護者、地域、関係諸機関等との連携に基づいた、共生社会の実現を目指す学校（連携）

| 取組目標                       | 成果目標                                                                                                                                           | 達成状況                                                                                                                     | 評価 | 成果・課題                                                                                                                           |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生徒の自立と輝きに向けた地域や関係機関との協働の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会委員から具体的な支援を得ている。</li> <li>生徒が、ワーク地域に積極的に取り組んでいる。</li> <li>ケース会議後、今後の方針と役割分担が明確になっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>教員が学校運営協議会からの支援内容を理解している。</li> <li>ワーク地域の活動に丁寧に取り組んでいる。</li> </ul>                | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>10周年記念に関して、運営協議会からの意見を、行事等に反映することができた。</li> <li>生徒の実態を考え、ワーク地域の再編成の必要性が考えられる。</li> </ul> |
| 地域とのつながりの強化                | <ul style="list-style-type: none"> <li>各交流の成果を、城北高職員や保護者、地域が理解している。</li> <li>職員が、様々な場面で本校の教育について紹介している。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページで、交流の様子を伝えている。</li> <li>進路や、特別支援コーディネーターがセンター的機能を意識して学校紹介を行っている。</li> </ul> | C  | <ul style="list-style-type: none"> <li>沼津城北高校の生徒と、特別活動の時間に一緒に活動する機会を設け交流活動を行った。</li> <li>保護者に、交流の成果が十分伝わっていなかった。</li> </ul>     |

エ アサーティブな関わりに基づいた、チームとしてやりがいを持つ学校（チーム）

| 取組目標           | 成果目標                                                                                                                                     | 達成状況                                                                             | 評価 | 成果・課題                                                                                                                     |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 働きがいのある職場環境の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員が、学年経営や学校行事に積極的に参画し、より良い成果を挙げたり課題が解決できたりしたと感じている。</li> <li>職員が事務室からの伝達に必ず目を通してしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>業務に見通しをもって取り組み、時間外勤務時間が減少している。</li> </ul> | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程編成委員会等で、生徒の実態や教育課程を踏まえ、改善に向けて積極的な意見が交わされている。</li> <li>業務負担の偏りがみられる。</li> </ul> |

(2) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

ア 人権尊重、命を守る教育の理念に基づいた、生徒が安全に安心して学習できる学校

(安全)

| 取組目標 | 成果目標 | 達成状況 | 評価 | 成果・課題 |
|------|------|------|----|-------|
|------|------|------|----|-------|

|                     |                                                                                                                                                           |                                                                                                                     |   |                                                                                                                                                               |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 人権に配慮した指導の徹底        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が、相手の人権を尊重した対応を日々行っている。</li> <li>・保護者が、児童生徒の人権が尊重されていると感じている。</li> <li>・生徒が、安心して学校生活を送ることができている。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の気持ちに寄り添うことを心掛けて対応している。</li> <li>・保護者は、生徒の人権を教員が尊重していると感じている。</li> </ul>  | B | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権に関するチェックリストの活用や定期的な呼びかけにより、意識向上を図ることができた。</li> <li>・尊重する意識はもっているが、個人によって感覚が異なるため、グループワークなどで共有する機会を設定する。</li> </ul>  |
| 自ら命を守る体制の整備と、実践力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発災、緊急時に自分の対応を理解し、行動できる。</li> <li>・安全を意識した行動をとることができるような指導を行っている。</li> <li>・生命（いのち）の安全教育の考え方を知り、行動している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員は訓練時だけでなく、発災時の動きについて考えるようになっている。</li> <li>・授業の中で防災について取り組んでいる。</li> </ul> | B | <ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフ巨大地震注意が出たことを契機に災害への備えや自分の動きについての意識が高まった。</li> <li>・個に応じた安全の指導の必要性を感じているが、内容や方法について十分検討できないままになってしまった。</li> </ul> |

イ 生徒理解と生徒のニーズに基づき、将来を見据えた支援及び指導ができる学校（専門）

| 取組目標                  | 成果目標                                                                                                                                                      | 達成状況                                                                                                                  | 評価 | 成果・課題                                                                                                                                                                       |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自己理解を深め、主体的に取り組む学習の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が、保護者や生徒と共に将来の姿を考え、自立活動の目標と達成方法を伝えている。</li> <li>・生徒の自己理解が深まっている。</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標設定、達成方法は教員が中心に考えている。</li> <li>・他者評価を受けることで自己理解が深まっている。</li> </ul>           | C  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動の時間の指導を行うことで、生徒の課題を焦点化することができた。</li> <li>・アセスメント（実態把握）を充実させ、より生徒に合った目標設定達成方法を考えていく。</li> </ul>                                  |
| 将来を見据えた支援と指導の実践       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自分の力をつけたいと思う授業へ、主体的に取り組んでいる。</li> <li>・生徒が、授業でICT機器を活用できている。</li> <li>・職員が、積み重ねた学びを基に新たな学びに取り組んでいる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業の授業において、自分たちで活動内容を考えている。</li> <li>・ICTを使い相手に伝えることを意識したまとめができている。</li> </ul> | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の人に喜んでもらいたいという気持ちを持ち、学習に取り組んでいた。</li> <li>・教科学習でも主体的に取り組む授業づくりについて、考えていく。</li> <li>・職員の専門性を高めるための研修内容を校内でのOJTやOFMを活用する。</li> </ul> |

ウ 保護者、地域、関係諸機関等との連携に基づいた、共生社会の実現を目指す学校（連携）

| 取組目標                       | 成果目標                                                                                                                                                    | 達成状況                                                                                                                       | 評価 | 成果・課題                                                                                                                                                           |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生徒の自立と輝きに向けた地域や関係機関との協働の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と保護者が学校運営協議会の具体的な支援を理解している。</li> <li>・生徒が、ワーク地域に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・ケース会議後、今後の方針と役割分担が明確になっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と保護者が学校運営協議会の具体的な支援を理解している。</li> <li>・ワーク地域の系統性を整えたことで、生徒の達成感が高まっている。</li> </ul> | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全体で学校運営協議会を行ったことで、受けた支援を具体的に考えられるようになった。</li> <li>・ケース会議において、職員間の情報共有が十分でないことがあった。方針や役割分担を決めるための組織の活性化を図る。</li> </ul> |

|             |                                     |                                   |   |                                                                                                                                                                            |
|-------------|-------------------------------------|-----------------------------------|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域とのつながりの強化 | ・インクルーシブが、進んでいる場面や行っている内容を職員が説明できる。 | ・自分たちの実践の中から、インクルーシブの内容を見つけ出している。 | B | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での作業販売の場所が広がり、関心をもってもらえるようになった。</li> <li>・インスタグラム、教育委員会Xなどへの発信を行っている。</li> <li>・インクルーシブのとらえ方を共通理解して、自分たちの取り組みを確認していく。</li> </ul> |
|             | ・各交流の成果を、城北高職員や保護者、地域が理解している。       | ・地域への発信の場が増えている。                  |   |                                                                                                                                                                            |

エ アサーティブな関わりに基づいた、チームとしてやりがいを持てる学校（チーム）

| 取組目標           | 成果目標                                   | 達成状況                  | 評価 | 成果・課題                                                                                                 |
|----------------|----------------------------------------|-----------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 働きがいのある職場環境の充実 | ・職員が、学年経営や学校行事に積極的に参画している。             | ・自分の役割を責任もって果たしている。   | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な場面でグループワークを行い、学年以外の職員と話す機会を設定し、普段でも話しかけるようになった。</li> </ul> |
|                | ・職員が事務室からの伝達に必ず目を通して、学校運営がスムーズに行われている。 | ・職員が互いに声を掛け、確認し合っている。 |    |                                                                                                       |

#### 4 監査対象期間における特色ある取組

| 年度    | 取組概要                                                                                                                                                              | 成果及び課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和6年度 | 防災教育学習の積み重ねによる、生徒の自助力の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理局の職員を招聘し、生徒及び職員の防災研修を行った。</li> <li>・地域の地区センターの方からの防災講話や防災倉庫見学（1年生）や、高校との合同訓練を行った。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生は総合的な探求の学習で、防災学習とジオ学習と併せて取り組んだ。防災学習では地域の方の協力を得てフィールドワークを行い、地域の防災への備えや危険な場所について学んだり、ローリングストックの工夫や非常時のお菓子の重要性について学んだりした。ジオ学習では、地殻変動や火山活動の痕跡が、地域の様々な場所で見られ、観光にも役立っていることを学んだ。同じ自然現象の異なる側面について多角的に考えることができた。</li> <li>また、2年生では沼津河川事務所の協力を得て風水害についての学習を行った。防災意識の幅が広がり、備えることの大切さについて深めることができた。</li> </ul> |
|       | 生徒が主体的に取り組む学習活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリームプロジェクト</li> </ul>                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリームプロジェクトを活用し、生徒が愛鷹分校でよりよく生活するためにできることを考えた。SNS等を普段活用している生徒が、興味関心のある分野で活躍している講師を招き、レジン作成や動画の編集などについて学ぶことができた。それぞれの分野の第一線で活躍されている方の講座は生徒にとって有意義であり、主体的な学びになっている。</li> </ul>                                                                                                                            |
|       | 地域とのつながりを大切にした作業学習の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・布工房（縫製作業）</li> <li>・緑工房（農作業）</li> <li>・ワーク地域（地域事業所での学習）</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業学習では、生徒が近隣の施設で直接販売する機会を設定することで、お客様の要望や感想を実際に聞くことができた。お客様とのやり取りから、生徒が製品改良や新製品の開発に自ら取り組む機会となった。</li> </ul>                                                                                                                                                                                            |
|       | 3年間の積み重ねを大切にした作業学習の実践と、CDF（キャリアデザインファイル）の作成                                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年進行で作業学習に取り組む中で、各学年のねらいを明確（1年：基礎基本的な働く力の育成、2年：経験をもとに生徒同士コミュニケーションを取りながら進める、3年：</li> </ul>                                                                                                                                                                                                            |

|  |                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |                                                                                                                                             | 生徒同士で協力して作業の運営をする) にした結果、生徒自身が主体的に充実した取り組みができている。また、自己の成長が分かるように、作業日誌とは別にCDFを作成することで、適性を考えるきっかけとなる記録となっている。                                                                                                                                                                     |
|  | P D C Aサイクルを意識した単元カードや授業カードを活用した授業づくりの実践<br>・職業・作業学習の研究授業を通して「生き生きと働く人を育てる職業教育」をテーマに、生徒が分かったと実感できる授業づくりを目指して研修した。                           | ・研修テーマでもある愛鷹分校としての生き生きと働く人を明確にすることができた、また、単元カードや授業カードの書き方を示すことで授業内容や支援方法などを整理することができた。<br>・課題として、生徒の「分かった」と実感できる授業の充実を目指し、単元全体でどのような展開をしていきたいのか具体的に想定していくことが必要であると考えている。                                                                                                        |
|  | 共生・共育の推進と、生徒が経験を広め社会性の育成を図り、社会参加するための学習の設定<br><沼津城北高等学校との交流><br>・新入生オリエンテーションでの学校紹介<br>・行事・講座への参加、高校の教員による出前授業<br><地域交流><br>・2年生とふれあい岡宮との交流 | ・隣接する県立沼津城北高校と文化祭、体育祭を行うことができた。また、新入生オリエンテーションにおいて部主事が分校の学校紹介をする時間を設定してもらい、城北高校生徒の理解啓発に努めることができた。沼津城北高校理科の教員による出前授業では、各学年異なる理科分野での体験学習を行わせてもらっている。<br>・サッカー部の交流は、年3回程度ではある行うことができた。<br>・2年生の高齢者施設での交流では、施設内の清掃やクリスマス会を通して、交流を図った。<br>・地域で認められる分校になるよう交流先、交流方法を検討しながら交流を行っていきたい。 |
|  | 職場実習、進路指導の充実<br>・就労促進専門員や関係機関との連携                                                                                                           | ・就労促進支援員と連携を密にして、生徒の希望や特性に応じた進路先や職場実習先について、本人・保護者へ提案している。また、進路希望の多様化に伴い、福祉事業所とのつながりを増やし、生徒の希望に応えることができた。職場実習を通して、保護者と教員が積極的にかかわり、働く生活に向けて生徒への適切な支援を考えることができた。                                                                                                                   |

## 5 教職員について

### (1) 異動状況

| 区分   | 本務職員 |     |     |     |     |          |          |        |
|------|------|-----|-----|-----|-----|----------|----------|--------|
|      | 校 長  | 副校長 | 教 頭 | 事務長 | 教 諭 | 養護<br>教諭 | 事務<br>職員 | 計<br>A |
| 転出者  |      | △1  |     |     | △3  |          |          | △4     |
| 退職者  |      |     |     |     |     |          |          | 0      |
| 転入者  |      | 1   |     |     | 2   |          |          | 3      |
| 新任者  |      |     |     |     |     |          |          | 0      |
| 差引増減 | 0    | 0   | 0   | 0   | △1  | 0        | 0        | △1     |

| 区分   | 臨時・非常勤職員  |           |              |        | 合 計<br>A + B |
|------|-----------|-----------|--------------|--------|--------------|
|      | 教諭<br>(任) | 教諭<br>(臨) | 会計年度<br>任用職員 | 計<br>B |              |
| 転出者  |           |           |              | 0      | △4           |
| 退職者  |           |           |              | 0      | 0            |
| 転入者  |           |           |              | 0      | 3            |
| 新任者  |           |           |              | 0      | 0            |
| 差引増減 | 0         | 0         | 0            | 0      | △1           |

(2) 現員数

| 本務職員 |     |     |     |     |          |          |        |
|------|-----|-----|-----|-----|----------|----------|--------|
| 校 長  | 副校長 | 教 頭 | 事務長 | 教 諭 | 養護<br>教諭 | 事務<br>職員 | 計<br>A |
|      | 1   |     |     | 17  | 1        | 1        | 20     |

| 臨時・非常勤職員  |           |              |        | 合 計<br>A + B |
|-----------|-----------|--------------|--------|--------------|
| 教諭<br>(任) | 教諭<br>(臨) | 会計年度<br>任用職員 | 計<br>B |              |
| 1         |           | 1            | 2      | 22           |

(3) 健康管理について

・健康管理の推進

教職員健康診断は、全員が受診し再検査を通知された者も全員受診することができた。産業医からは生活に気をつける事、治療中の職員は継続して医療を受けることを勧められた。

メンタルヘルスも含めて教職員が自分自身で健康管理をするために、教育厚生課で委託している「ストレスカウンセリング通信」を掲示板に転記し、相談機関を利用しやすいようにした。

学校職員衛生委員会の持ち方の工夫をしながら職員の心身の健康状態の把握に努めた。今後も心身の健康に役立つ情報を提供しながら職員を支援していく。

(4) 教職員の研修について

ア 研修テーマ「生き生きと働く人を目指す進路学習

～生徒が分かったと実感できる授業づくり～

令和3、4年度の研修で『働く人を育てる職業学習～自ら進んで進路選択ができる生徒を目指す授業づくり～』をテーマに、職業を窓口で2カ年で進めてきた。

成果として、教師が生徒の主体的・対話的で深い学びを引き出すための授業づくりでは、4つの視点（解決したい課題や問い、考えるための材料、対話と思考、学習の成果）を1時間ごとの授業展開に取り入れることを意識することができた。また、生徒の学びの姿を追う中で、学習内容の精選や単元の適切な時期・期間等、年間指導計画を見

直すことができた。

一方、課題として実践を積み重ねていく中で、授業実践の中（特に生徒の話し合い活動）で、TTの連携や支援が不足している部分があった。さらに、1回の授業の学習内容を考える際に、解決したい課題や問い（＝目標）が絞りきれないことによって、まとめとしての生徒の学習の成果や教師が押さえたい学習内容が不明瞭になってしまうことがあった。

そこで、今年度はこれらの課題に取り組みながら、4つの視点を単元全体で達成できるような授業づくり（P＝Plan）に取り組む、日々の実践を重ねていきたいと考える。授業づくりに重点を置き、支援方法や働きかけについて見直す中で、生徒が「分かった」と実感できる授業を展開できるよう、更なる充実を目指していく。そして、これまでの研修で取り組んできた「職業」をベースに作業学習や産業現等における実習での学びを関連付けることで、進路学習を自分事として捉えるきっかけとしたい。生徒自ら主体的に活動に取り組む態度の育成を図る中で、“生き生きと働く人”を目指し、それに必要な学びを考えたい。

今年度は、単元カードや授業カードを用いて、解決したい課題や問い（＝目標）を明確にし、学年間（T・T間）で共通理解を図りながら4つの視点を取り入れた単元計画を作成し、整理していきたい。そして、生徒が自己評価できる目標設定や活動設定、教材教具・手立ての工夫をし、それを共有することで、より生徒が分かったと実感できる授業実践を目指す。

#### イ 研究の内容・方法

##### 授業づくり

- ・単元カードや授業カードの書き方を明確にし、4つの視点を取り入れた単元計画を立てる。
- ・生徒が分かったと実感できる授業内容や、支援方法をT・T間や学年で共有し、見直していく。
- ・生徒が主体的に活動できる授業実践を目指す。

##### 生き生きと働く姿を明確にする

- ・愛鷹分校としての『生き生きと働く人』をT・T間で共通理解する。
- ・生徒の〇ヶ月後、1年後…の姿を具体的にイメージし共有する。

#### ウ 成果と課題

- ・成果：①愛鷹分校としての『生き生きと働く人』を明確にすることができた。
- ②単元カードや授業カードを活用することで授業内容や支援内容など整理することを意識できた。
- ・課題：生徒の「分かった」と実感できる授業の充実を目指す  
⇒今後、協同学習（＝自分の力を目一杯使って、自分の責任を果たすように努力し、全員でグループ全体の目標を達成することを試みる学習方法）についても学んでいく。生徒同士で支え合い、対等な関係で学んでいく。

#### 6 防災対策について

昨年度同様、沼津城北高校の学校防災計画と連動し、分校の防災計画・防災・防犯マニユ

アル、消防計画を作成した。

沼津城北高校との合同防災訓練を2回行ったほか、分校独自の避難・防災訓練を数回行った。また、1年生は地域と連携した防災学習を実施した。

(1) 避難・防災訓練

| 月 日                 | 訓 練 名                            | 主 な 内 容                                                                                                           |
|---------------------|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月2日                | 第1回城北合同防火・防災教育<br>(沼津城北高校との合同訓練) | 地震時の対応<br>誘導・避難等の実践、集合・点呼の確認                                                                                      |
| 8月1日                | 防災研修(教員)                         | 県東部地域局危機管理課担当者の講話<br>災害時判断ゲーム、避難所運営ゲーム                                                                            |
| 8月30日<br>～<br>9月4日  | 全学年 防災学習                         | 災害用伝言ダイヤル(171)訓練                                                                                                  |
| 9月11日               | 第2回避難訓練<br>(地震発生対応)              | 地震発生時の避難経路確認(抜き打ち)                                                                                                |
| 9月7日<br>～<br>10月12日 | 1年生 防災学習                         | グループ別学習(避難所生活や日常の備えについて、掲示づくりなど)<br>門池地区防災についての講話とフィールドワーク 門池地区自治会連合会(9月25日)<br>県東部地域局危機管理課担当者の講話・災害時判断ゲーム(10月4日) |
| 2月22日               | 2年生 防災学習                         | 防災衣料・食品以外に必要なもの(衛生用品、安全用品)の買い物学習                                                                                  |
| 11月6日               | 第3回 合同地震避難訓練<br>(沼津城北高校との合同訓練)   | 火災避難訓練<br>誘導・避難等の実践、<br>集合(地区別)・点呼の確認、                                                                            |

(2) 施設・設備の整備, 保守, 保安

ア 消防点検は沼津城北高校と同日実施した。

イ 教職員が、施設・設備の安全管理意識を持つように努めた。副校長の朝夕の校舎内外巡視、養護教諭の定期的な巡視のほか、月1回の安全点検を実施して校舎内外の施設・設備管理を徹底し、生徒が安全に活動できるように努めた。

(3) 学校警備

ア 生徒が登校する前に副校長が校内と校舎の周りを巡回した。その際、窓開けと危険箇所のチェックを行い安全確保を行った。

イ 戸締りは、係の生徒が下校前に3階の生徒利用個所の戸締りチェックを実施した。教員の当番が終業時に校舎内の戸締りと火気点検を実施するとともに、副校長が退庁時に再度一巡した。夜間は、警備会社の機械警備により継続した警備体制を図り、防災・防犯に努めた。

7 学校開放について

該当なし

## 事務執行の根拠法令調

| 項 目            | 根拠法令                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育に関すること     | 教育基本法（第1条、第2条、第4条、第6条、第9条）<br>学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、第74条、第76条、第77条）<br>学校教育法施行規則<br>学校給食法（第1条、第2条、第3条、第4条）<br>学校保健安全法（第5条）<br>特別支援学校の高等部の学科を定める省令<br>特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律（第1条、第2条、第3条）<br>特別支援学校への就学奨励に関する法律（第1条、第2条、第3条）<br>静岡県立学校設置条例<br>静岡県立特別支援学校学則                                             |
| 学校の管理・運営に関すること | 学校教育法（第80条、137条）<br>地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条）<br>静岡県立学校管理規則<br>教育公務員特例法（第21条、第22条）<br>学校保健安全法（第15条、第27条）<br>静岡県立学校職員安全衛生管理規程<br>静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱<br>学校図書館法（第3条、第4条）<br>静岡県教育委員会処務規程<br>特別支援学校への就学奨励に関する法律（第1条、第2条、第3条）<br>特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令<br>特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則<br>特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱 |

□□□□

## 学校施設の概要

### 1 面積及び所有区分

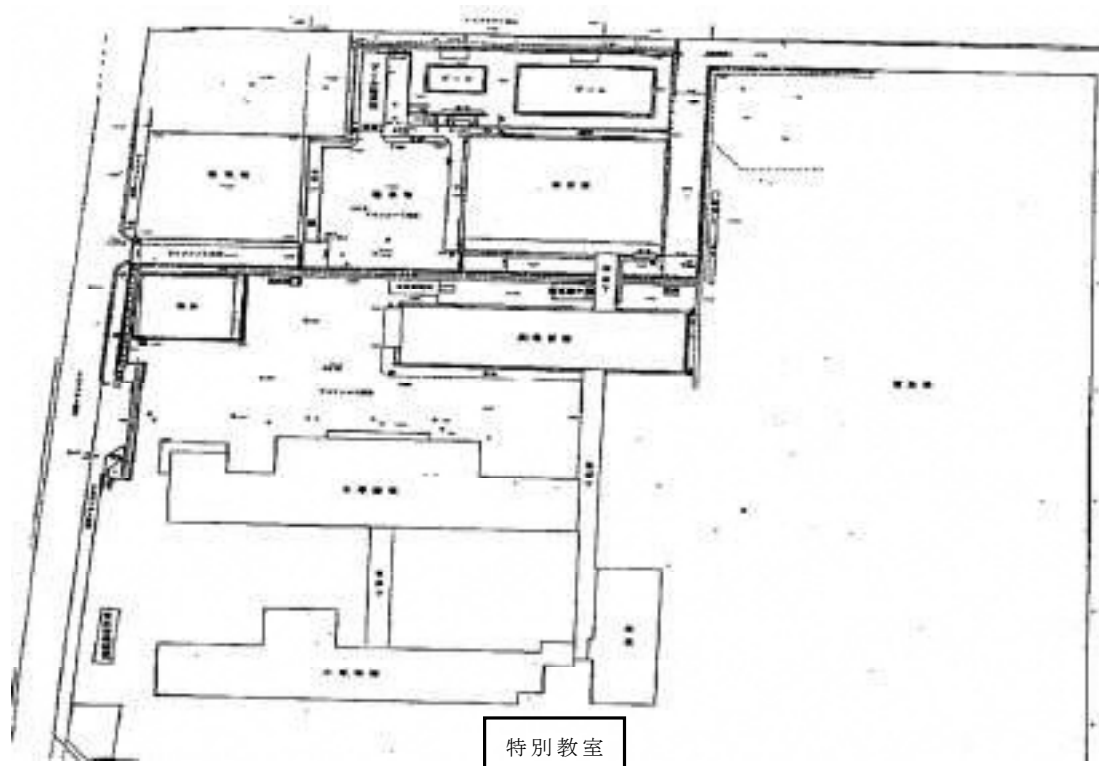
(令和7年3月31日現在)

| 区 分     |                | 面 積<br>m <sup>2</sup>    | 所 有 内 訳               |                       |                        |                        |                       | 摘 要                                                                                                                                                                                             |
|---------|----------------|--------------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         |                |                          | 県 有<br>m <sup>2</sup> | 国 有<br>m <sup>2</sup> | 市町村有<br>m <sup>2</sup> | 後援会有<br>m <sup>2</sup> | 民 有<br>m <sup>2</sup> |                                                                                                                                                                                                 |
| 学 校 敷 地 |                | 18,536.72                | 18,013.42             |                       | 523.30                 |                        |                       |                                                                                                                                                                                                 |
| 内 訳     | 校舎敷地           | 9,935.22                 | 9,935.22              |                       |                        |                        |                       | 本校                                                                                                                                                                                              |
|         | 運動場敷地          | 8,076.20                 | 8,076.20              |                       |                        |                        |                       | 本校                                                                                                                                                                                              |
|         | そ の 他<br>の 敷 地 | 525.30                   | 2.00                  |                       | 523.30                 |                        |                       | 本校 523.30m <sup>2</sup><br>伊豆田方分校 2.00m <sup>2</sup><br>(田方農高使用承認)                                                                                                                              |
| 実 習 地   |                | 2,016.44                 | 302.00                |                       |                        |                        | 1,714.44              |                                                                                                                                                                                                 |
| 内 訳     | 田              |                          |                       |                       |                        |                        |                       |                                                                                                                                                                                                 |
|         | 畑              | 2,016.44                 | 302.00                |                       |                        |                        | 1,714.44              | 本校 905.44m <sup>2</sup><br>伊豆田方分校302.00m <sup>2</sup><br>(田方農高使用承認)<br>愛鷹分校 809.00m <sup>2</sup>                                                                                                |
|         | 茶 園            |                          |                       |                       |                        |                        |                       |                                                                                                                                                                                                 |
|         | 果 樹 園          |                          |                       |                       |                        |                        |                       |                                                                                                                                                                                                 |
| 演 習 林   |                |                          |                       |                       |                        |                        |                       |                                                                                                                                                                                                 |
| 校 舎     |                | 建 3,095.77<br>延 6,930.07 | 3,095.77<br>6,930.07  |                       |                        |                        |                       | 本校 2,360.48m <sup>2</sup><br>5,692.53m <sup>2</sup><br>伊豆田方分校<br>361.44m <sup>2</sup><br>361.44m <sup>2</sup><br>(田方農高使用承認)<br>愛鷹分校 373.85m <sup>2</sup><br>876.10m <sup>2</sup><br>(沼津城北高使用承認) |
| 体 育 館   |                | 建 573.50<br>延 573.50     | 573.50<br>573.50      |                       |                        |                        |                       | 本校                                                                                                                                                                                              |
| 武 道 場   |                |                          |                       |                       |                        |                        |                       |                                                                                                                                                                                                 |
| その他の建物  |                | 建 917.27<br>延 890.85     | 建 917.27<br>延 890.85  |                       |                        |                        |                       | 本校 505.88m <sup>2</sup><br>479.46m <sup>2</sup><br>伊豆田方分校<br>162.00m <sup>2</sup><br>162.00m <sup>2</sup><br>(田方農高使用承認)<br>愛鷹分校 249.39m <sup>2</sup><br>249.39m <sup>2</sup><br>(沼津城北高使用承認)     |
| 寄 宿 舎   |                |                          |                       |                       |                        |                        |                       |                                                                                                                                                                                                 |
| 生 活 館   |                |                          |                       |                       |                        |                        |                       |                                                                                                                                                                                                 |
| プ ー ル   |                | 192                      | 192                   |                       |                        |                        |                       |                                                                                                                                                                                                 |
| 職 員 住 宅 |                |                          |                       |                       |                        |                        |                       |                                                                                                                                                                                                 |

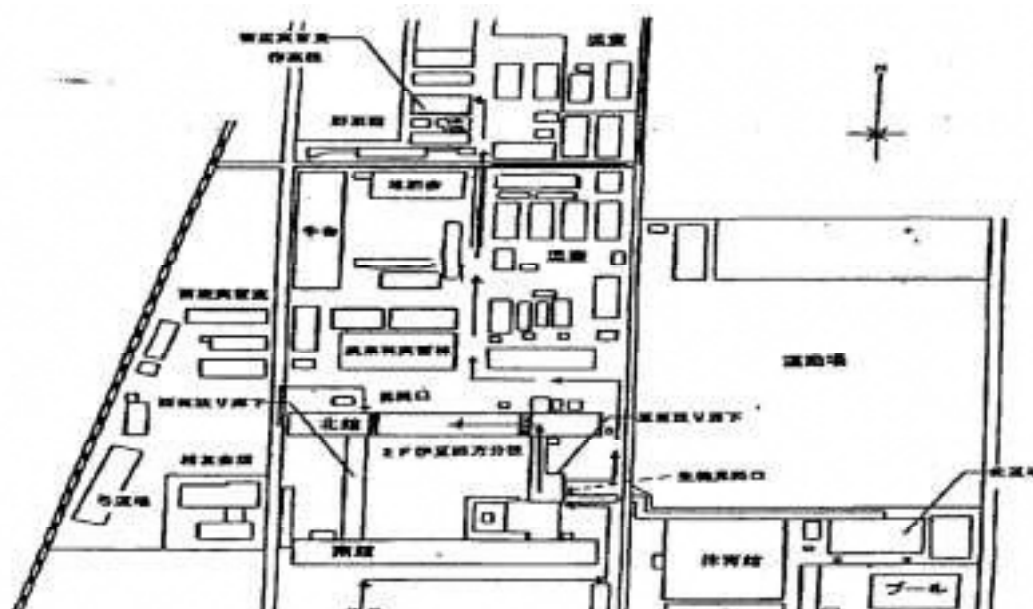
## 2 配置・規模等

### (1) 校舎等の配置図

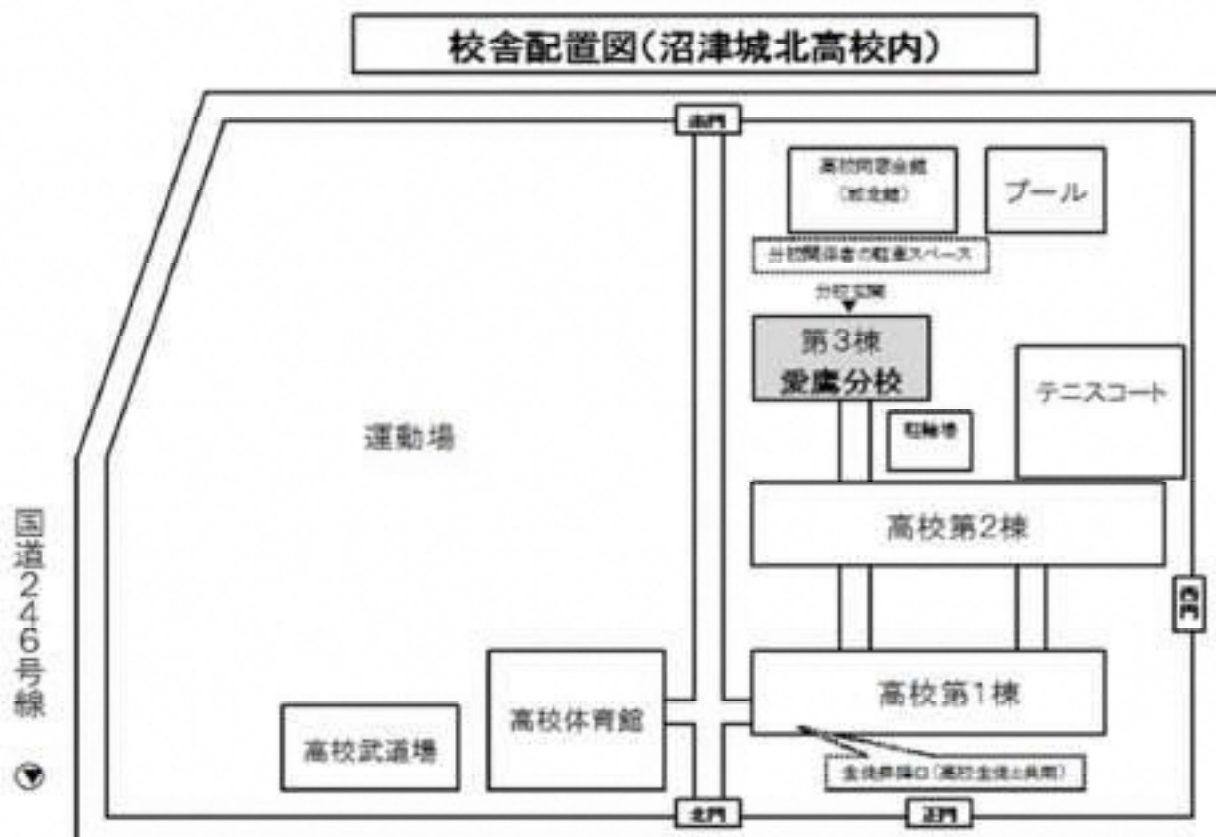
〈本校〉



〈伊豆田方分校〉



〈愛鷹分校〉



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

| 区 分 |        | 学校敷地面積     | 校舎延面積     | 運動場面積     |
|-----|--------|------------|-----------|-----------|
| 当 校 | 本校     | 18,011.42㎡ | 5,692.53㎡ | 8,076.20㎡ |
|     | 伊豆田方分校 | 0.00㎡      | 361.44㎡   | 0.00㎡     |
|     | 愛鷹分校   | 0.00㎡      | 876.10㎡   | 0.00㎡     |
| 県平均 |        | 19,266.88㎡ | 6,361.36㎡ | 5,302.07㎡ |

## 在 籍 生 徒 調

(本校)

(令和7年3月31日現在)

| 学年  | 学科別<br>区分 | 小 学 部 |    |    |    | 中 学 部 |    |    |    | 高 等 部 |    |    |    | 計  |     |    |     |
|-----|-----------|-------|----|----|----|-------|----|----|----|-------|----|----|----|----|-----|----|-----|
|     |           | 定員    | 男子 | 女子 | 計  | 定員    | 男子 | 女子 | 計  | 定員    | 男子 | 女子 | 計  | 定員 | 男子  | 女子 | 計   |
| 1 年 | 入 学 者     | -     | 13 | 8  | 21 | -     | 14 | 5  | 19 | 30    | 13 | 11 | 24 | -  | 40  | 24 | 64  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 1  | 1  | 2  |       | 1  | 0  | 1  |       | 0  | 0  | 0  |    | 2   | 1  | 3   |
|     | 現 在       |       | 12 | 7  | 19 |       | 13 | 5  | 18 |       | 13 | 11 | 24 |    | 38  | 23 | 61  |
| 2 年 | 入 学 者     | -     | 9  | 2  | 11 | -     | 9  | 5  | 14 | 30    | 13 | 15 | 28 | -  | 31  | 22 | 53  |
|     | 増 加       |       | 1  | 0  | 1  |       | 0  | 1  | 1  |       | 0  | 0  | 0  |    | 1   | 1  | 2   |
|     | 減 少       |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 2 年時当初    |       | 10 | 2  | 12 |       | 9  | 6  | 15 |       | 13 | 15 | 28 |    | 32  | 23 | 55  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 2  | 0  | 2  |       | 1  | 0  | 1  |       | 0  | 0  | 0  |    | 3   | 0  | 3   |
|     | 現 在       |       | 8  | 2  | 10 |       | 8  | 6  | 14 |       | 13 | 15 | 28 |    | 29  | 23 | 52  |
| 3 年 | 入 学 者     | -     | 5  | 7  | 12 | -     | 11 | 7  | 18 | 39    | 24 | 7  | 31 | -  | 40  | 21 | 61  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 2 年時当初    |       | 5  | 7  | 12 |       | 11 | 7  | 18 |       | 24 | 7  | 31 |    | 40  | 21 | 61  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |       | 4  | 1  | 5  |    | 4   | 1  | 5   |
|     | 3 年時当初    |       | 5  | 7  | 12 |       | 11 | 7  | 18 |       | 20 | 6  | 26 |    | 36  | 20 | 56  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |       | 0  | 0  | 0  |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 現 在       |       | 5  | 7  | 12 |       | 11 | 7  | 18 |       | 20 | 6  | 26 |    | 36  | 20 | 56  |
| 4 年 | 入 学 者     | -     | 6  | 6  | 12 |       |    |    |    |       |    |    |    | -  | 6   | 6  | 12  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 2 年時当初    |       | 6  | 6  | 12 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 6   | 6  | 12  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 0  | 1  | 1  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 1  | 1   |
|     | 3 年時当初    |       | 6  | 5  | 11 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 6   | 5  | 11  |
|     | 増 加       |       | 1  | 0  | 1  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 1   | 0  | 1   |
|     | 減 少       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 4 年時当初    |       | 7  | 5  | 12 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 7   | 5  | 12  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 現 在       |       | 7  | 5  | 12 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 7   | 5  | 12  |
| 5 年 | 入 学 者     | -     | 17 | 4  | 21 |       |    |    |    |       |    |    |    | -  | 17  | 4  | 21  |
|     | 増 加       |       | 2  | 0  | 2  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 2   | 0  | 2   |
|     | 減 少       |       | 6  | 3  | 9  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 6   | 3  | 9   |
|     | 2 年時当初    |       | 13 | 1  | 14 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 13  | 1  | 14  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 1  | 0  | 1  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 1   | 0  | 1   |
|     | 3 年時当初    |       | 12 | 1  | 13 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 12  | 1  | 13  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 1  | 0  | 1  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 1   | 0  | 1   |
|     | 4 年時当初    |       | 11 | 1  | 12 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 11  | 1  | 12  |
|     | 増 加       |       | 1  | 0  | 1  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 1   | 0  | 1   |
|     | 減 少       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 5 年時当初    |       | 12 | 1  | 13 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 12  | 1  | 13  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 現 在       |       | 12 | 1  | 13 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 12  | 1  | 13  |
| 6 年 | 入 学 者     | -     | 24 | 9  | 33 |       |    |    |    |       |    |    |    | -  | 24  | 9  | 33  |
|     | 増 加       |       | 2  | 0  | 2  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 2   | 0  | 2   |
|     | 減 少       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 2 年時当初    |       | 26 | 9  | 35 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 26  | 9  | 35  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 7  | 7  | 14 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 7   | 7  | 14  |
|     | 3 年時当初    |       | 19 | 2  | 21 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 19  | 2  | 21  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 4 年時当初    |       | 19 | 2  | 21 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 19  | 2  | 21  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 1  | 0  | 1  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 1   | 0  | 1   |
|     | 5 年時当初    |       | 18 | 2  | 20 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 18  | 2  | 20  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 1  | 0  | 1  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 1   | 0  | 1   |
|     | 6 年時当初    |       | 17 | 2  | 19 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 17  | 2  | 19  |
|     | 増 加       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 減 少       |       | 0  | 0  | 0  |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 0   | 0  | 0   |
|     | 現 在       |       | 17 | 2  | 19 |       |    |    |    |       |    |    |    |    | 17  | 2  | 19  |
| 合 計 |           |       | 61 | 24 | 85 |       | 32 | 18 | 50 |       | 46 | 32 | 78 |    | 139 | 74 | 213 |

(伊豆田方分校)

| 学年  | 学科別<br>区分 |     | 高 等 部 |    |    |    |
|-----|-----------|-----|-------|----|----|----|
|     |           |     | 定員    | 男子 | 女子 | 計  |
| 1 年 | 入 学 者     |     | 18    | 7  | 6  | 13 |
|     |           | 増 加 |       | 0  | 0  | 0  |
|     |           | 減 少 |       | 0  | 0  | 0  |
|     | 現 在       |     |       | 7  | 6  | 13 |
| 2 年 | 入 学 者     |     | 18    | 9  | 2  | 11 |
|     |           | 増 加 |       | 0  | 0  | 0  |
|     |           | 減 少 |       | 0  | 0  | 0  |
|     | 2 年 時 当 初 |     |       | 9  | 2  | 11 |
|     |           | 増 加 |       | 0  | 0  | 0  |
|     |           | 減 少 |       | 0  | 0  | 0  |
|     | 現 在       |     |       | 9  | 2  | 11 |
| 3 年 | 入 学 者     |     | 18    | 7  | 8  | 15 |
|     |           | 増 加 |       | 0  | 0  | 0  |
|     |           | 減 少 |       | 0  | 0  | 0  |
|     | 2 年 時 当 初 |     |       | 7  | 8  | 15 |
|     |           | 増 加 |       | 0  | 0  | 0  |
|     |           | 減 少 |       | 0  | 1  | 1  |
|     | 3 年 時 当 初 |     |       | 7  | 7  | 14 |
|     |           | 増 加 |       | 0  | 0  | 0  |
|     |           | 減 少 |       | 0  | 1  | 1  |
|     | 現 在       |     |       | 7  | 6  | 13 |
| 合 計 |           |     | 54    | 23 | 14 | 37 |

(愛鷹分校)

| 学年  | 学科別<br>区分 |     | 高 等 部 |    |    |    |
|-----|-----------|-----|-------|----|----|----|
|     |           |     | 定員    | 男子 | 女子 | 計  |
| 1 年 | 入 学 者     |     | 18    | 5  | 6  | 11 |
|     |           | 増 加 |       | 0  | 0  | 0  |
|     |           | 減 少 |       | 0  | 0  | 0  |
|     | 現 在       |     |       | 5  | 6  | 11 |
| 2 年 | 入 学 者     |     | 18    | 12 | 5  | 17 |
|     |           | 増 加 |       | 0  | 0  | 0  |
|     |           | 減 少 |       | 0  | 0  | 0  |
|     | 2 年 時 当 初 |     |       | 12 | 5  | 17 |
|     |           | 増 加 |       | 0  | 0  | 0  |
|     |           | 減 少 |       | 1  | 0  | 1  |
|     | 現 在       |     |       | 11 | 5  | 16 |
| 3 年 | 入 学 者     |     | 18    | 12 | 6  | 18 |
|     |           | 増 加 |       | 0  | 0  | 0  |
|     |           | 減 少 |       | 1  | 0  | 1  |
|     | 2 年 時 当 初 |     |       | 11 | 6  | 17 |
|     |           | 増 加 |       | 0  | 0  | 0  |
|     |           | 減 少 |       | 0  | 0  | 0  |
|     | 3 年 時 当 初 |     |       | 11 | 6  | 17 |
|     |           | 増 加 |       | 0  | 0  | 0  |
|     |           | 減 少 |       | 0  | 0  | 0  |
| 現 在 |           | 11  | 6     | 17 |    |    |
| 合 計 |           |     | 54    | 27 | 17 | 44 |

□□□□

## 入学志願者及び入学者数調

(本校)

| 区 分            |       | R 2 年度 | R 3 年度 | R 4 年度 | R 5 年度 | R 6 年度 |
|----------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 学 科 別          |       | 高等部    | 高等部    | 高等部    | 高等部    | 高等部    |
| 生徒定員 (A)       |       | 66     | 39     | 39     | 30     | 30     |
| 募集者数 (B)       |       | 66     | 39     | 39     | 30     | 30     |
| 志願者数           | 男     | 45     | 19     | 24     | 13     | 13     |
|                | 女     | 20     | 12     | 7      | 15     | 11     |
|                | 計 (C) | 65     | 31     | 31     | 28     | 24     |
| 受検者数           | 男     | 43     | 19     | 24     | 13     | 13     |
|                | 女     | 20     | 11     | 7      | 15     | 11     |
|                | 計 (D) | 63     | 30     | 31     | 28     | 24     |
| 合格者数           | 男     | 43     | 19     | 24     | 13     | 13     |
|                | 女     | 20     | 11     | 7      | 15     | 11     |
|                | 計 (E) | 63     | 30     | 31     | 28     | 24     |
| 志願倍率 (C) / (B) |       | 0.98   | 0.79   | 0.79   | 0.93   | 0.80   |
| 受検倍率 (D) / (B) |       | 0.95   | 0.77   | 0.79   | 0.93   | 0.80   |
| 入学者数           | 男     | 43     | 19     | 24     | 13     | 13     |
|                | 女     | 20     | 11     | 7      | 15     | 11     |
|                | 計 (F) | 63     | 30     | 31     | 28     | 24     |
| 充足率 (F) / (A)  |       | 0.95   | 0.77   | 0.79   | 0.93   | 0.80   |

(伊豆田方分校)

| 区 分            |       | R 2 年度 | R 3 年度 | R 4 年度 | R 5 年度 | R 6 年度 |
|----------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 学 科 別          |       | 高等部    | 高等部    | 高等部    | 高等部    | 高等部    |
| 生徒定員 (A)       |       | 18     | 18     | 18     | 18     | 18     |
| 募集者数 (B)       |       | 18     | 18     | 18     | 18     | 18     |
| 志願者<br>数       | 男     | 13     | 9      | 7      | 9      | 7      |
|                | 女     | 5      | 3      | 8      | 2      | 6      |
|                | 計 (C) | 18     | 12     | 15     | 11     | 13     |
| 受検者<br>数       | 男     | 13     | 9      | 7      | 9      | 7      |
|                | 女     | 5      | 3      | 8      | 2      | 6      |
|                | 計 (D) | 18     | 12     | 15     | 11     | 13     |
| 合格者<br>数       | 男     | 13     | 9      | 7      | 9      | 7      |
|                | 女     | 5      | 3      | 8      | 2      | 6      |
|                | 計 (E) | 18     | 12     | 15     | 11     | 13     |
| 志願倍率 (C) / (B) |       | 1.00   | 0.67   | 0.83   | 0.61   | 0.72   |
| 受検倍率 (D) / (B) |       | 1.00   | 0.67   | 0.83   | 0.61   | 0.72   |
| 入学者数           | 男     | 13     | 9      | 7      | 9      | 7      |
|                | 女     | 5      | 3      | 8      | 2      | 6      |
|                | 計 (F) | 18     | 12     | 15     | 11     | 13     |
| 充足率 (F) / (A)  |       | 1.00   | 0.67   | 0.83   | 0.61   | 0.72   |

(愛鷹分校)

| 区 分            |       | R 2 年度 | R 3 年度 | R 4 年度 | R 5 年度 | R 6 年度 |
|----------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 学 科 別          |       | 高等部    | 高等部    | 高等部    | 高等部    | 高等部    |
| 生徒定員 (A)       |       | 18     | 18     | 18     | 18     | 18     |
| 募集者数 (B)       |       | 18     | 18     | 18     | 18     | 18     |
| 志願者<br>数       | 男     | 16     | 12     | 12     | 12     | 5      |
|                | 女     | 9      | 8      | 6      | 5      | 6      |
|                | 計 (C) | 25     | 20     | 18     | 17     | 11     |
| 受検者<br>数       | 男     | 15     | 12     | 12     | 12     | 5      |
|                | 女     | 9      | 8      | 6      | 5      | 6      |
|                | 計 (D) | 24     | 20     | 18     | 17     | 11     |
| 合格者<br>数       | 男     | 13     | 11     | 12     | 12     | 5      |
|                | 女     | 5      | 7      | 6      | 5      | 6      |
|                | 計 (E) | 18     | 18     | 18     | 17     | 11     |
| 志願倍率 (C) / (B) |       | 1.39   | 1.11   | 1.00   | 0.94   | 0.61   |
| 受検倍率 (D) / (B) |       | 1.33   | 1.11   | 1.00   | 0.94   | 0.61   |
| 入学者数           | 男     | 13     | 11     | 12     | 12     | 5      |
|                | 女     | 5      | 7      | 6      | 5      | 6      |
|                | 計 (F) | 18     | 18     | 18     | 17     | 11     |
| 充足率 (F) / (A)  |       | 1.00   | 1.00   | 1.00   | 0.94   | 0.61   |

□□□□

## 卒業生の動向調

(本 校)

(令和7年3月31日現在)

| 区 分        |           | 中 学 部 | 高 等 部 科<br>高 本 部 科 | 合 計 |
|------------|-----------|-------|--------------------|-----|
| 進学者        | 普通高校      | 0     |                    | 0   |
|            | 特別支援学校高等部 | 18    |                    | 18  |
|            | 高等部専攻科    |       | 0                  | 0   |
|            | 四年制大学     |       | 0                  | 0   |
|            | 短期大学      |       | 0                  | 0   |
|            | 専修・各種学校   | 0     | 0                  | 0   |
|            | 公共職業訓練校   | 0     | 0                  | 0   |
| 小 計        |           | 18    | 0                  | 18  |
| 施設等<br>入所者 | 障害者支援施設等  | 0     | 19                 | 19  |
|            | 他の施設      | 0     | 0                  | 0   |
| 小 計        |           | 0     | 19                 | 19  |
| 就職者        |           | 0     | 4                  | 4   |
| 在宅療養等      |           | 0     | 0                  | 0   |
| その他        |           | 0     | 3                  | 3   |
| 計          |           | 18    | 26                 | 44  |

(伊豆田方分校)

| 区 分        |           | 高 等 部 |
|------------|-----------|-------|
|            |           | 本 科   |
| 進学者        | 普通高校      |       |
|            | 特別支援学校高等部 |       |
|            | 高等部専攻科    | 0     |
|            | 四年制大学     | 0     |
|            | 短期大学      | 0     |
|            | 専修・各種学校   | 0     |
|            | 公共職業訓練校   | 0     |
| 小 計        |           | 0     |
| 施設等<br>入所者 | 障害者支援施設等  | 5     |
|            | 他の施設      | 0     |
| 小 計        |           | 5     |
| 就職者        |           | 8     |
| 在宅療養等      |           | 0     |
| その他        |           | 0     |
| 計          |           | 13    |

(愛鷹分校)

| 区 分        |           | 高 等 部 |
|------------|-----------|-------|
|            |           | 本 科   |
| 進学者        | 普通高校      |       |
|            | 特別支援学校高等部 |       |
|            | 高等部専攻科    | 0     |
|            | 四年制大学     | 0     |
|            | 短期大学      | 0     |
|            | 専修・各種学校   | 0     |
|            | 公共職業訓練校   | 0     |
| 小 計        |           | 0     |
| 施設等<br>入所者 | 障害者支援施設等  | 7     |
|            | 他の施設      | 0     |
| 小 計        |           | 7     |
| 就職者        |           | 9     |
| 在宅療養等      |           | 1     |
| その他        |           | 0     |
| 計          |           | 17    |

□□□□

## 生徒の状況

### 1 生徒の出身地域及び通学方法

#### (1) 出身地

(本校) (令和7年3月31日現在) (単位：人)

| 市町名  | 沼津市 | 清水町 | 長泉町 | 合 計  |
|------|-----|-----|-----|------|
| 生徒数  | 159 | 26  | 28  | 213  |
| 構成比% | 75% | 12% | 13% | 100% |

(伊豆田方分校)

| 市町名  | 伊豆市 | 伊豆の国市 | 函南町 | その他 | 合 計  |
|------|-----|-------|-----|-----|------|
| 生徒数  | 6   | 14    | 13  | 4   | 37   |
| 構成比% | 16% | 38%   | 35% | 11% | 100% |

(愛鷹分校)

| 市町名  | 御殿場市 | 裾野市 | 沼津市 | 三島市 | 長泉町 | 清水町 | 合 計  |
|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 生徒数  | 2    | 5   | 19  | 6   | 7   | 5   | 44   |
| 構成比% | 5%   | 11% | 43% | 14% | 16% | 11% | 100% |

#### (2) 通学方法

(本校) (令和7年3月31日現在) (単位：人)

| 区 分  | スクールバス | 徒歩 | 自家用車 | 路線バス | JR・私鉄 | 自転車 | あしたか学園 | 合 計  |
|------|--------|----|------|------|-------|-----|--------|------|
| 生徒数  | 117    | 16 | 43   | 18   | 3     | 0   | 16     | 213  |
| 構成比% | 55%    | 8% | 20%  | 8%   | 1%    | 0%  | 8%     | 100% |

(伊豆田方分校)

| 区 分  | 徒歩  | 鉄道  | 鉄道・バス | 自転車 | 電車・自転車 | その他 | 合計   |
|------|-----|-----|-------|-----|--------|-----|------|
| 生徒数  | 11  | 11  | 4     | 1   | 5      | 5   | 37   |
| 構成比% | 30% | 30% | 11%   | 3%  | 13%    | 13% | 100% |

(愛鷹分校)

| 区 分  | 徒歩  | 路線バス | 鉄道・徒歩 | 鉄道・バス | 自転車・鉄道 | 自転車・バス | 自転車 | 合 計  |
|------|-----|------|-------|-------|--------|--------|-----|------|
| 生徒数  | 10  | 6    | 11    | 6     | 2      | 1      | 8   | 44   |
| 構成比% | 23% | 14%  | 25%   | 14%   | 4%     | 2%     | 18% | 100% |

## 2 部（クラブ）の加入状況

（本校 高等部）

（令和 7 年 3 月 31 日現在）（単位：人）

| 区 分      |         | 運動部 | 文化部 | 未加入者 | 計    |
|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 部(クラブ) 数 |         | 2   | 1   |      | 3    |
| 男子       | 1 年     | 2   | 3   | 8    | 13   |
|          | 2 年     | 6   | 0   | 7    | 13   |
|          | 3 年     | 2   | 1   | 17   | 20   |
|          | 計 (A)   | 10  | 4   | 32   | 46   |
|          | 構成比     | 22% | 8%  | 70%  | 100% |
| 女子       | 1 年     | 0   | 0   | 11   | 11   |
|          | 2 年     | 5   | 0   | 10   | 15   |
|          | 3 年     | 1   | 0   | 5    | 6    |
|          | 計 (B)   | 6   | 0   | 26   | 32   |
|          | 構成比     | 19% | 0%  | 81%  | 100% |
| 合計       | (A + B) | 16  | 4   | 58   | 78   |
|          | 構成比     | 21% | 5%  | 74%  | 100% |

（伊豆田方分校 高等部）

| 区 分      |         | 運動部 | 文化部 | 未加入者 | 計    |
|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 部(クラブ) 数 |         | 1   | 1   |      | 2    |
| 男子       | 1 年     | 3   | 0   | 4    | 7    |
|          | 2 年     | 4   | 4   | 1    | 9    |
|          | 3 年     | 3   | 4   | 0    | 7    |
|          | 計 (A)   | 10  | 8   | 5    | 23   |
|          | 構成比     | 43% | 35% | 22%  | 100% |
| 女子       | 1 年     | 0   | 5   | 1    | 6    |
|          | 2 年     | 1   | 0   | 1    | 2    |
|          | 3 年     | 5   | 1   | 0    | 6    |
|          | 計 (B)   | 6   | 6   | 2    | 14   |
|          | 構成比     | 43% | 43% | 14%  | 100% |
| 合計       | (A + B) | 16  | 14  | 7    | 37   |
|          | 構成比     | 43% | 38% | 19%  | 100% |

(愛鷹分校 高等部)

| 区 分      |         | 運動部 | 文化部 | 未加入者 | 計    |
|----------|---------|-----|-----|------|------|
| 部(クラブ) 数 |         | 1   | 1   |      | 2    |
| 男子       | 1 年     | 0   | 1   | 4    | 5    |
|          | 2 年     | 5   | 1   | 5    | 11   |
|          | 3 年     | 6   | 2   | 3    | 11   |
|          | 計 (A)   | 11  | 4   | 12   | 27   |
|          | 構成比     | 41% | 15% | 44%  | 100% |
| 女子       | 1 年     | 0   | 4   | 2    | 6    |
|          | 2 年     | 1   | 1   | 3    | 5    |
|          | 3 年     | 1   | 3   | 2    | 6    |
|          | 計 (B)   | 2   | 8   | 7    | 17   |
|          | 構成比     | 12% | 47% | 41%  | 100% |
| 合計       | (A + B) | 13  | 12  | 19   | 44   |
|          | 構成比     | 30% | 27% | 43%  | 100% |

### 3 障害別児童生徒数

(本校)

(令和 7 年 3 月 31 日現在) (単位：人)

| 区 分 |      | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 合計 | 学級数 |
|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 小学部 | 単一障害 | 12  | 5   | 7   | 7   | 8   | 11  | 50 | 11  |
|     | 重複障害 | 7   | 5   | 5   | 5   | 5   | 8   | 35 | 15  |
|     | 肢体重複 |     |     |     |     |     |     |    |     |
|     | 合計   | 19  | 10  | 12  | 12  | 13  | 19  | 85 | 26  |
| 中学部 | 単一障害 | 14  | 9   | 11  |     |     |     | 34 | 8   |
|     | 重複障害 | 4   | 5   | 7   |     |     |     | 16 | 6   |
|     | 肢体重複 |     |     |     |     |     |     |    |     |
|     | 合計   | 18  | 14  | 18  |     |     |     | 50 | 14  |
| 高等部 | 単一障害 | 21  | 26  | 24  |     |     |     | 71 | 9   |
|     | 重複障害 | 3   | 2   | 2   |     |     |     | 7  | 3   |
|     | 肢体重複 |     |     |     |     |     |     |    |     |
|     | 合計   | 24  | 28  | 26  |     |     |     | 78 | 12  |

(伊豆田方分校)

| 区 分         |      | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 合計 | 学級数 |
|-------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 高<br>等<br>部 | 単一障害 | 13  | 11  | 13  |     |     |     | 37 | 6   |
|             | 重複障害 |     |     |     |     |     |     |    |     |
|             | 肢体重複 |     |     |     |     |     |     |    |     |
|             | 合計   | 13  | 11  | 13  |     |     |     | 37 | 6   |

(愛鷹分校)

| 区 分         |      | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 合計 | 学級数 |
|-------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 高<br>等<br>部 | 単一障害 | 11  | 16  | 17  |     |     |     | 44 | 6   |
|             | 重複障害 |     |     |     |     |     |     |    |     |
|             | 肢体重複 |     |     |     |     |     |     |    |     |
|             | 合計   | 11  | 16  | 17  |     |     |     | 44 | 6   |

#### 4 起因疾患別児童生徒数

(本校)

(令和7年3月31日現在) (単位：人)

| 区 分 | 脳性疾患 | 染色体異常 | 広汎性発達障害 | 心臓疾患 | 聴覚障害 | 視覚障害 | その他の知的障害 | 計   |
|-----|------|-------|---------|------|------|------|----------|-----|
| 小学部 | 7    | 21    | 54      | 2    | 5    | 0    | 7        | 96  |
| 中学部 | 6    | 12    | 31      | 0    | 3    | 0    | 7        | 59  |
| 高等部 | 7    | 9     | 28      | 1    | 1    | 0    | 29       | 75  |
| 計   | 20   | 42    | 113     | 3    | 9    | 0    | 43       | 230 |

※複数の障害を併せもつ児童生徒がいるため全校児童生徒数と一致しない

(伊豆田方分校)

| 区 分 | 脳性疾患 | 染色体異常 | 広汎性発達障害 | 心臓疾患 | 聴覚障害 | 視覚障害 | その他の知的障害 | 計  |
|-----|------|-------|---------|------|------|------|----------|----|
| 高等部 | 8    | 1     | 12      | 1    | 0    | 0    | 15       | 37 |

(愛鷹分校)

| 区 分 | 脳性疾患 | 染色体異常 | 広汎性発達障害 | 心臓疾患 | 聴覚障害 | 視覚障害 | その他の知的障害 | 計  |
|-----|------|-------|---------|------|------|------|----------|----|
| 高等部 | 1    | 0     | 22      | 0    | 0    | 0    | 21       | 44 |

□□□□

## 職 員 調

本校

(令和7年4月1日現在)

| 整理<br>番号 | 職 名 | 氏 名    | 事 務 分 担 | 住 所  | 勤務年数 | 摘 要  |
|----------|-----|--------|---------|------|------|------|
| 1        | 校長  | 青木 暁乃  |         | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 2        | 副校長 | 佐藤 公平  |         | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 3        | 教頭  | 井上 みづほ |         | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 4        | 教諭  | 竹内 君江  | 小2      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 5        | 教諭  | 松本 順子  | 中学部     | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 6        | 教諭  | 神田 いずみ | 高等部     | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 7        | 教諭  | 坂上 朋美  | 小3      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 8        | 教諭  | 松下 智昭  | 中2      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 9        | 教諭  | 渡邊 英也  | 中1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 10       | 教諭  | 及川 出穂  | 高1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 11       | 教諭  | 渡井 浩司  | 高等部     | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 12       | 教諭  | 星谷 久実  | 高1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 13       | 教諭  | 遠藤 貴子  | 小学部     | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 14       | 教諭  | 寺田 准子  | 小6      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 15       | 教諭  | 佐藤 亜矢子 | 中2      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 16       | 教諭  | 高藤 禎博  | 高等部     | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 17       | 教諭  | 齋下 徹   | 高3      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 18       | 教諭  | 小割 めぐみ | 小3      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 19       | 教諭  | 高橋 美枝  | 小学部     | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 20       | 教諭  | 佐野 緑   | 中2      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 21       | 教諭  | 市原 智美  | 高3      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 22       | 教諭  | 渡邊 尚子  | 高1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 23       | 教諭  | 西郷 正晃  | 中学部     | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 24       | 教諭  | 伊藤 典子  | 高3      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 25       | 教諭  | 岩藤 博子  | 中1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 26       | 教諭  | 森 貴史   | 高1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 27       | 教諭  | 齊藤 文孝  | 中1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 28       | 教諭  | 唐木 栄治  | 小3      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 29       | 教諭  | 市川 悦子  | 小5      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 30       | 教諭  | 山本 愛花  | 中学部     | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 31       | 教諭  | 渡邊 里美  | 高1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 32       | 教諭  | 小林 能美  | 小学部     | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 33       | 教諭  | 太田 洋介  | 小1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 34       | 教諭  | 若林 恵理香 | 小4      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 35       | 教諭  | 深澤 理恵子 | 小2      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 36       | 教諭  | 山本 未来  | 高2      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 37       | 教諭  | 木下 哲宏  | 中3      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 38       | 教諭  | 上野 日奈子 | 高2      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 39       | 教諭  | 板橋 幸代  | 小4      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 40       | 教諭  | 六車 千晴  | 小学部     | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 41       | 教諭  | 佐野 里香  | 高2      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 42       | 教諭  | 古藤田 純一 | 高3      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 43       | 教諭  | 鈴木 健太郎 | 中2      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 44       | 教諭  | 大嶽 篤子  | 小6      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 45       | 教諭  | 渡邊 祐   | 高等部     | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 46       | 教諭  | 岡崎 太一  | 小6      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 47       | 教諭  | 下村 真理  | 小2      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 48       | 教諭  | 久保田 充俊 | 高1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 49       | 教諭  | 南畑 瑞恵  | 特休      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 50       | 教諭  | 池田 萌   | 中学部     | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 51       | 教諭  | 進士 祐太郎 | 育休      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |

| 整理<br>番号 | 職 名  | 氏 名    | 事 務 分 担 | 住 所  | 勤務年数  | 摘 要  |
|----------|------|--------|---------|------|-------|------|
| 52       | 教諭   | 平尾 麻衣子 | 小4      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 53       | 教諭   | 秋山 恭世  | 育休      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 54       | 教諭   | 仲野 知香  | 高3      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 55       | 教諭   | 廣瀬 祥子  | 産休      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 56       | 教諭   | 千葉 友香  | 育休      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 57       | 教諭   | 平山 麻衣  | 小3      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 58       | 教諭   | 岩沢 啓史  | 高2      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 59       | 教諭   | 岩佐 江里子 | 中3      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 60       | 教諭   | 鈴木 陽大  | 高2      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 61       | 教諭   | 富田 理美  | 小3      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 62       | 教諭   | 渡辺 実沙  | 育休      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 63       | 教諭   | 諸星 眞靖  | 小1      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 64       | 教諭   | 石田 彩美  | 育休      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 65       | 教諭   | 寺島 和代  | 小2      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 66       | 教諭   | 遠藤 みどり | 高2      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 67       | 教諭   | 福島 香織  | 育休      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 68       | 教諭   | 森口 京祐  | 中3      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 69       | 教諭   | 小林 将大  | 小4      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 70       | 教諭   | 村松 麗華  | 産休      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 71       | 教諭   | 上杉 尚輝  | 高3      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 72       | 教諭   | 勝又 龍佑  | 中1      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 73       | 教諭   | 横山 友美  | 小2      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 74       | 教諭   | 久保田 将利 | 小5      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 75       | 教諭   | 岩附 佐知  | 育休      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 76       | 教諭   | 白砂 美果子 | 産休      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 77       | 教諭   | 佐野 文美  | 小5      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 78       | 教諭   | 中村 真依  | 小1      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 79       | 教諭   | 勝又 奈月  | 産休      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 80       | 教諭   | 吉村 俊樹  | 中1      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 81       | 教諭   | 鍛冶 拓海  | 小6      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 82       | 教諭   | 三村 あかね | 育休      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 83       | 教諭   | 野月 優   | 高2      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 84       | 教諭   | 佐野 美咲  | 小6      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 85       | 教諭   | 池谷 萌乃  | 中1      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 86       | 教諭   | 原田 彩華  | 小1      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 87       | 教諭   | 吉田 里奈  | 小1      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 88       | 教諭   | 清水 莉子  | 高3      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 89       | 教諭   | 田邊 友結  | 小5      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 90       | 教諭   | 吉川 将人  | 高1      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 91       | 教諭   | 紅林 由芽  | 中1      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 92       | 教諭   | 野本 香穂  | 中2      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 93       | 教諭   | 渡邊 樹   | 小4      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 94       | 教諭   | 山本 文夏  | 小1      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 95       | 教諭   | 矢田 軍   | 中3      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 96       | 教諭   | 浅賀 康平  | 小5      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 97       | 教諭   | 平出 早紀  | 小4      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 98       | 養護教諭 | 島田 寿江  | 保健      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 99       | 養護教諭 | 小林 宏美  | 保健      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 100      | 事務長  | 相馬 博子  |         | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 101      | 主査   | 勝又 啓   | 会計・財産   | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 102      | 主任   | 御園生 温子 | 人事・服務   | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 103      | 主事   | 杉山 瑞貴  | 会計・庶務   | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 平 均 年 数  |      |        |         |      | 2年10月 |      |

臨時的任用職員・会計年度任用職員・学校医

| 整理<br>番号 | 職 名       | 氏 名    | 事 務 分 担   | 住 所  | 勤務年数 | 摘 要  |
|----------|-----------|--------|-----------|------|------|------|
| 1        | 教諭(任)     | 真瀬 友美  | 高2        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 2        | 教諭(任)     | 廣瀬 悦子  | 小2        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 3        | 教諭(任)     | 勝又 志織  | 中2        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 4        | 教諭(任)     | 植田 美鈴  | 小6        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 5        | 教諭(任)     | 竹内 理央  | 高3        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 6        | 教諭(任)     | 渡邊 このみ | 小1        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 7        | 教諭(任)     | 不破 篤子  | 高2        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 8        | 教諭(任)     | 内藤 美保  | 育休        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 9        | 教諭(任)     | 安藤 龍太郎 | 高1        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 10       | 教諭(臨)     | 長野 美穂  | 中1        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 11       | 教諭(臨)     | 川口 直子  | 高1        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 12       | 教諭(臨)     | 杉浦 文子  | 小1        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 13       | 教諭(臨)     | 檜山 美乃里 | 小1        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 14       | 教諭(臨)     | 土屋 光弘  | 高1        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 15       | 教諭(臨)     | 石井 基江  | 中1        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 16       | 教諭(臨)     | 鈴木 孝治  | 小2        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 17       | 教諭(臨)     | 太田 弥生  | 小5        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 18       | 教諭(臨)     | 川口 もみじ | 中3        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 19       | 教諭(臨)     | 加藤 風雅  | 中2        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 20       | 教諭(臨)     | 佐野 琢巳  | 高3        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 21       | 栄養士(臨)    | 齋藤 ひとみ | 給食        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 22       | 非常勤講師     | 吉田 梨恵  | 高1        | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 23       | 非常勤労務職員   | 金澤 聡美  | 事務補助      | □□□□ | □年□月 |      |
| 24       | 非常勤労務職員   | 殿岡 信貴  | 事務補助      | □□□□ | □年□月 |      |
| 25       | 非常勤嘱託員    | 川田 晃世  | 事務補助      | □□□□ | □年□月 |      |
| 26       | 実習支援指導員   | 渡邊 広和  | 実習支援員指導員  | □□□□ | □年□月 |      |
| 27       | 非常勤嘱託員    | 青木 龍志  | 実習支援員     | □□□□ | □年□月 |      |
| 28       | 非常勤嘱託員    | 加藤 萌花  | 実習支援員     | □□□□ | □年□月 |      |
| 29       | 非常勤嘱託員    | 斉藤 健太  | 実習支援員     | □□□□ | □年□月 |      |
| 30       | 非常勤講師(看護) | 上田 房代  | 非常勤講師(看護) | □□□□ | □年□月 |      |
| 31       | 非常勤講師(看護) | 三枝 法子  | 非常勤講師(看護) | □□□□ | □年□月 |      |
| 32       | 非常勤労務職員   | 鈴木 千鶴子 | 添乗介助      | □□□□ | □年□月 |      |
| 33       | 非常勤労務職員   | 相澤 芳美  | 添乗介助      | □□□□ | □年□月 |      |
| 34       | 非常勤労務職員   | 持田 弘子  | 添乗介助      | □□□□ | □年□月 |      |
| 35       | 非常勤労務職員   | 佐藤 愛子  | 添乗介助      | □□□□ | □年□月 |      |
| 36       | 非常勤労務職員   | 丸山 喜美子 | 添乗介助      | □□□□ | □年□月 |      |
| 37       | 非常勤労務職員   | 田中 利直  | 添乗介助      | □□□□ | □年□月 |      |
| 38       | 学校医       | 旭 暢照   | 内科        | □□□□ | □年□月 | 医師   |
| 39       | 学校医       | 名古 良輔  | 眼科        | □□□□ | □年□月 | 医師   |
| 40       | 学校医       | 森 聖哲   | 耳鼻咽喉科     | □□□□ | □年□月 | 医師   |
| 41       | 学校医       | 金元 洋人  | 整形外科      | □□□□ | □年□月 | 医師   |
| 42       | 学校医       | 河野 英生  | 歯科        | □□□□ | □年□月 | 歯科医師 |
| 43       | 薬剤師       | 松永 卓也  | 衛生        | □□□□ | □年□月 | 薬剤師  |

□□□□

## 職 員 調

伊豆田方分校

(令和7年4月1日現在)

| 整理<br>番号 | 職 名  | 氏 名    | 事 務 分 担 | 住 所  | 勤務年数  | 摘 要  |
|----------|------|--------|---------|------|-------|------|
| 1        | 副校長  | 高木 亮   |         | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 2        | 教諭   | 高橋 房一  | 高2      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 3        | 教諭   | 渡辺 明彦  | 高1      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 4        | 教諭   | 岡山 昌義  | 高等部     | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 5        | 教諭   | 佐藤 保寿  | 高2      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 6        | 教諭   | 鈴木 泰洋  | 高2      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 7        | 教諭   | 二見 希志恵 | 高3      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 8        | 教諭   | 鈴木 ゆうか | 高2      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 9        | 教諭   | 丸山 稔   | 高3      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 10       | 教諭   | 宮城 元気  | 高3      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 11       | 教諭   | 柚岡 由紀  | 高等部     | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 12       | 教諭   | 内野 愛   | 高3      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 13       | 教諭   | 勝村 えり香 | 高1      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 14       | 教諭   | 西村 智世  | 高1      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 15       | 教諭   | 高田 計規  | 高1      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 16       | 教諭   | 齊藤 麻美  | 育休      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 17       | 教諭   | 植田 なみほ | 高2      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 18       | 養護教諭 | 土屋 愛   | 保健      | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
| 19       | 主査   | 清水 美奈  | 会計・給与   | □□□□ | □年□月  | □□□□ |
|          |      |        |         | 平均年数 | 1年11月 |      |

臨時的任用職員・会計年度任用職員・学校医

| 整理<br>番号 | 職 名     | 氏 名    | 事 務 分 担 | 住 所  | 勤務年数 | 摘 要  |
|----------|---------|--------|---------|------|------|------|
| 1        | 教諭(任)   | 永田 恵   | 高1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 2        | 教諭(臨)   | 土屋 葵   | 高3      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 3        | 非常勤労務職員 | 深田 恵美子 | 事務補助    | □□□□ | □年□月 |      |
| 4        | 学校医     | 村田 純一  | 内科      | □□□□ | □年□月 | 医師   |
| 5        | 学校医     | 宇野 明彦  | 眼科      | □□□□ | □年□月 | 医師   |
| 6        | 学校医     | 佐藤 隆夫  | 耳鼻咽喉科   | □□□□ | □年□月 | 医師   |
| 7        | 学校医     | 向笠 寛   | 歯科      | □□□□ | □年□月 | 歯科医師 |
| 8        | 薬剤師     | 萩倉 健介  | 衛生      | □□□□ | □年□月 | 薬剤師  |

□□□□

## 職 員 調

愛鷹分校

(令和7年4月1日現在)

| 整理<br>番号 | 職 名  | 氏 名    | 事 務 分 担 | 住 所  | 勤務年数 | 摘 要  |
|----------|------|--------|---------|------|------|------|
| 1        | 副校長  | 植松 隆洋  |         | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 2        | 教諭   | 浅井 貴久  | 高1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 3        | 教諭   | 遠藤 昌治  | 高3      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 4        | 教諭   | 山地 康代  | 高等部     | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 5        | 教諭   | 杉澤 哲弥  | 高3      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 6        | 教諭   | 今川 美紀子 | 高1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 7        | 教諭   | 瀬戸 純代  | 高等部     | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 8        | 教諭   | 中澤 昇映  | 高2      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 9        | 教諭   | 川口 亘   | 育休      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 10       | 教諭   | 米山 朋子  | 高等部     | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 11       | 教諭   | 鈴木 祥夫  | 高2      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 12       | 教諭   | 島村 壮一郎 | 高1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 13       | 教諭   | 落合 暁子  | 高2      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 14       | 教諭   | 野中 悠生  | 高3      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 15       | 教諭   | 山本 英鈴  | 高1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 16       | 教諭   | 遠藤 美祐  | 高3      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 17       | 教諭   | 野田 次実  | 高1      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 18       | 教諭   | 下山 琴羽  | 高2      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 19       | 養護教諭 | 三森 明美  | 保健      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 20       | 主査   | 青木 喜子  | 会計      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
|          |      |        |         | 平均年数 | 2年1月 |      |

臨時的任用職員・会計年度任用職員・学校医

| 整理<br>番号 | 職 名     | 氏 名    | 事 務 分 担 | 住 所  | 勤務年数 | 摘 要  |
|----------|---------|--------|---------|------|------|------|
| 1        | 教諭(任)   | 的場 有希恵 | 高3      | □□□□ | □年□月 | □□□□ |
| 2        | 非常勤労務職員 | 山田 愛子  | 事務補助    | □□□□ | □年□月 |      |
| 3        | 学校医     | 岡田 隆   | 内科      | □□□□ | □年□月 | 医師   |
| 4        | 学校医     | 中ノ森 恒  | 眼科      | □□□□ | □年□月 | 医師   |
| 5        | 学校医     | 森 聖哲   | 耳鼻咽喉科   | □□□□ | □年□月 | 医師   |
| 6        | 学校医     | 菊田 泰生  | 歯科      | □□□□ | □年□月 | 歯科医師 |
| 7        | 薬剤師     | 松永 卓也  | 衛生      | □□□□ | □年□月 | 薬剤師  |

□□□□

## 職 員 の 年 齢 調

( 令和7年4月1日 現在 )

| 年 齢           | 人 員 | 摘 要         |
|---------------|-----|-------------|
| 20 歳未満        | 0 人 |             |
| 20 歳以上 30 歳未満 | 14  |             |
| 30 歳以上 40 歳未満 | 38  |             |
| 40 歳以上 50 歳未満 | 28  |             |
| 50 歳以上 56 歳未満 | 12  |             |
| 56 歳以上 61 歳未満 | 8   |             |
| 61 歳以上        | 3   | 再任用3人       |
| 計             | 103 | 平均年齢 40.8 歳 |

□□□□

## 職 員 の 年 齢 調

(伊豆田方分校 令和7年4月1日 現在)

| 年 齢           | 人 員 | 摘 要         |
|---------------|-----|-------------|
| 20 歳未満        | 0 人 |             |
| 20 歳以上 30 歳未満 | 0   |             |
| 30 歳以上 40 歳未満 | 7   |             |
| 40 歳以上 50 歳未満 | 8   |             |
| 50 歳以上 56 歳未満 | 0   |             |
| 56 歳以上 61 歳未満 | 4   |             |
| 61 歳以上        | 0   |             |
| 計             | 19  | 平均年齢 44.1 歳 |

□□□□

## 職 員 の 年 齢 調

(愛鷹分校 令和7年4月1日 現在)

| 年 齢           | 人 員 | 摘 要         |
|---------------|-----|-------------|
| 20 歳未満        | 0 人 |             |
| 20 歳以上 30 歳未満 | 3   |             |
| 30 歳以上 40 歳未満 | 8   |             |
| 40 歳以上 50 歳未満 | 5   |             |
| 50 歳以上 56 歳未満 | 1   |             |
| 56 歳以上 61 歳未満 | 3   |             |
| 61 歳以上        | 0   |             |
| 計             | 20  | 平均年齢 41.1 歳 |

## 健 康 管 理

## 1 令和6年度受診状況

| 区 分    | 内 容       |         |         |
|--------|-----------|---------|---------|
|        | 本 校       | 伊豆田方分校  | 愛鷹分校    |
| 受診状況   | 受診者数 103人 | 受診者数19人 | 受診者数21人 |
|        | 職員数 105人  | 職員数 19人 | 職員数 21人 |
| 受 診 率  | 100.0%    |         |         |
| 県平均受診率 | 100.0%    |         |         |

## (1) 未受診の理由

産休・育休、特休のため

産育休 1人

特 休 1人

## 2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

| 健康管理区分 |                                                                |       | 人 数       |            |         |
|--------|----------------------------------------------------------------|-------|-----------|------------|---------|
|        |                                                                |       | 本 校       | 伊豆田方<br>分校 | 愛鷹分校    |
| A      | 休養のため必要な期間、勤務を休止させる。                                           |       | 0人        | 0人         | 0人      |
| B 1    | 勤務時間を短縮し、時間外、休日宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。  | 要治療   | 0人        | 0人         | 0人      |
| B 2    |                                                                | 要経過観察 | 0人        | 0人         | 0人      |
| C 1    | 勤務をほぼ平常に行っているが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。 | 要治療   | 0人        | 0人         | 0人      |
| C 2    |                                                                | 要経過観察 | 0人        | 0人         | 0人      |
| D 1    | 平常の勤務でよい。                                                      | 要治療   | 10人(10)   | 7人(7)      | 3人(3)   |
| D 2    |                                                                | 要経過観察 | 26人(26)   | 2人(2)      | 7人(7)   |
| D 3    |                                                                | 医療不要  | 62人(62)   | 10人(10)    | 10人(10) |
| 区分者計   |                                                                |       | 98人(98)   | 19人(19)    | 20人(20) |
| 未区分者数  |                                                                |       | 5人        | 0人         | 0人      |
| 合 計    |                                                                |       | 103人(103) | 19人(19)    | 20人(20) |

## (1) 管理区分A～C 2 該当者に対する措置状況

## (2) 未区分の理由

ア 産休・育休 1 人

イ 新規採用 4 人

ウ 自己都合による未受診 0 人

エ その他（特休） 0 人

□□□□

## 保管現金有高調

(令和 6 年度)

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

| 現金保管者                     | 区 分          | 金 額 円  |
|---------------------------|--------------|--------|
| 静岡県立沼津特別支援学校<br>校長        | 駐車料金等継続の資金前渡 | 3,600円 |
| 静岡県立沼津特別支援学校<br>伊豆田方分校 校長 | 駐車料金等継続の資金前渡 | 4,580円 |
| 静岡県立沼津特別支援学校<br>愛鷹分校 校長   | 駐車料金等継続の資金前渡 | 6,300円 |

□□□□

## 預 金 調

(令和7年3月31日現在)

| 金融機関名           | 預金種類         | 口座番号    | 口座名義人                            | 残高<br>円 | 摘 要                 |
|-----------------|--------------|---------|----------------------------------|---------|---------------------|
| スルガ銀行<br>沼津原町支店 | 無利息型<br>普通預金 | 2530760 | 沼津特別支援学校<br>資金前渡者 青木 暁乃          | 0       | 給料及び資金前渡<br>金の受領    |
| スルガ銀行<br>沼津原町支店 | 無利息型<br>普通預金 | 2530759 | 自振口 沼津特別支援学校<br>資金前渡者 青木 暁乃      | 0       | 社会保険料、電話<br>料等の自動振替 |
| スルガ銀行<br>沼津原町支店 | 無利息型<br>普通預金 | 465604  | 沼津特別支援学校<br>就学奨励費<br>代理受領者 青木 暁乃 | 0       | 就学奨励費の代理<br>受領      |
| 残 高 合 計         |              |         |                                  | 0       |                     |

□□□□

# 郵 券 等 受 払 調

(令和7年3月31日現在)

(単位：枚、円)

| 区 分          | 種 類                   | 令和5年度 |     |     |     |       |     | 令和6年度 |     |     |     |     |     |       |     | 摘 要                |
|--------------|-----------------------|-------|-----|-----|-----|-------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|--------------------|
|              |                       | 繰 越   |     | 受 入 |     | 払 出   |     | 繰 越   |     | 受 入 |     | 払 出 |     | 差引現在高 |     |                    |
|              |                       | 枚数    | 金 額 | 枚数  | 金 額 | 枚数    | 金 額 | 枚数    | 金 額 | 枚数  | 金 額 | 枚数  | 金 額 | 枚数    | 金 額 |                    |
| 郵券           | はがき                   | 1     | 52  | 0   | 0   | 0     | 0   | 1     | 52  | 0   | 0   | 1   | 52  | 0     | 0   | 連絡用                |
|              | 往復はがき                 | 6     | 624 | 0   | 0   | 0     | 0   | 6     | 624 | 0   | 0   | 0   | 0   | 6     | 624 |                    |
|              | 120円券                 | 8     | 960 | 0   | 0   | 8     | 960 | 0     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     | 0   |                    |
|              | 84円券                  | 0     | 0   | 2   | 168 | 2     | 168 | 0     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     | 0   |                    |
|              | 20円券                  | 0     | 0   | 2   | 40  | 2     | 40  | 0     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     | 0   |                    |
|              | 10円券                  | 1     | 10  | 0   | 0   | 1     | 10  | 0     | 0   | 1   | 10  | 1   | 10  | 0     | 0   |                    |
|              | 5円券                   | 10    | 50  | 0   | 0   | 10    | 50  | 0     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     | 0   |                    |
|              | 2円券                   | 10    | 20  | 2   | 4   | 12    | 24  | 0     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     | 0   |                    |
|              | 1円券                   | 0     | 0   | 0   | 0   | 0     | 0   | 0     | 0   | 1   | 1   | 1   | 1   | 0     | 0   |                    |
| 計            |                       | 1,716 |     | 212 |     | 1,252 |     | 676   |     | 11  |     | 63  |     | 624   |     |                    |
| タクシー<br>チケット | 原町<br>タクシー            | 15    |     | 0   |     | 9     |     | 6     |     | 50  |     | 15  |     | 41    |     | 児童生徒<br>緊急時<br>輸送用 |
|              | 伊豆箱<br>根交通            | 23    |     | 0   |     | 1     |     | 22    |     | 0   |     | 2   |     | 20    |     |                    |
|              | 沼津市個人<br>タクシー協<br>同組合 | 18    |     | 0   |     | 0     |     | 18    |     | 0   |     | 0   |     | 18    |     |                    |
| 計            |                       | 56    |     | 0   |     | 10    |     | 46    |     | 50  |     | 17  |     | 79    |     |                    |

□□□□

材 料 品 受 払 調

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

| 区分<br>品名 | 令和 5 年度 |    |       |          |       |          | 令和 6 年度 |    |       |          |       |          |       |    | 摘要 |
|----------|---------|----|-------|----------|-------|----------|---------|----|-------|----------|-------|----------|-------|----|----|
|          | 繰越      |    | 受入    |          | 払出    |          | 繰越      |    | 受入    |          | 払出    |          | 差引現在高 |    |    |
|          | 数量      | 金額 | 数量    | 金額       | 数量    | 金額       | 数量      | 金額 | 数量    | 金額       | 数量    | 金額       | 数量    | 金額 |    |
| 布        | 0       | 0円 | 1,006 | 110,700円 | 1,006 | 110,700円 | 0       | 0円 | 1,352 | 136,488円 | 1,352 | 136,488円 | 0     | 0円 |    |
| 木材       | 0       | 0円 | 167   | 148,860円 | 167   | 148,860円 | 0       | 0円 | 160   | 121,615円 | 160   | 121,615円 | 0     | 0円 |    |
| 粘土       | 0       | 0円 | 21    | 71,093円  | 21    | 71,093円  | 0       | 0円 | 20    | 79,865円  | 20    | 79,865円  | 0     | 0円 |    |
| 計        | 0       | 0円 | 1,194 | 330,653円 | 1,194 | 330,653円 | 0       | 0円 | 1,532 | 337,968円 | 1,532 | 337,968円 | 0     | 0円 |    |

□□□□

## 委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和5年度)

| 節 名                         | 会 計 | 款   | 項       | 目         | 執 行 済 額 (円) |            |                 |
|-----------------------------|-----|-----|---------|-----------|-------------|------------|-----------------|
|                             |     |     |         |           | 令和4年度       | 令和5年度      | 左のうち、4年度からの繰越額分 |
| (12)<br>委託料                 | 一般  | 教育費 | 特別支援学校費 | 特別支援学校管理費 |             | 42,602,256 | 0               |
|                             | 一般  | 教育費 | 学校教育費   | 健康体育費     |             | 15,268,616 | 0               |
|                             |     |     |         |           |             |            |                 |
|                             |     |     |         |           |             |            |                 |
| 計                           |     |     |         |           | 70,847,786  | 57,870,872 | 0               |
| (14)<br>工 事<br>請負費          | 一般  | 教育費 | 教育委員会費  | 教育管理費     |             | 3,619,000  | 0               |
|                             |     |     |         |           |             |            |                 |
|                             |     |     |         |           |             |            |                 |
|                             |     |     |         |           |             |            |                 |
| 計                           |     |     |         |           | 6,116,000   | 3,619,000  | 0               |
| (17)<br>備 品<br>購入費          | 一般  | 教育費 | 特別支援学校費 | 特別支援学校管理費 |             | 3,650,680  | 0               |
|                             |     |     |         |           |             |            |                 |
|                             |     |     |         |           |             |            |                 |
|                             |     |     |         |           |             |            |                 |
| 計                           |     |     |         |           | 2,182,356   | 3,650,680  | 0               |
| (18)<br>負担金、補<br>助及び交付<br>金 | 一般  | 教育費 | 特別支援学校費 | 特別支援学校管理費 |             | 88,613     | 0               |
|                             |     |     |         |           |             |            |                 |
|                             |     |     |         |           |             |            |                 |
|                             |     |     |         |           |             |            |                 |
| 計                           |     |     |         |           | 114,778     | 88,613     | 0               |
| (21)<br>補償、補填<br>及び賠償金      |     |     |         |           |             |            |                 |
|                             |     |     |         |           |             |            |                 |
|                             |     |     |         |           |             |            |                 |
|                             |     |     |         |           |             |            |                 |
| 計                           |     |     |         |           | 0           | 0          | 0               |

□□□□

## 委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和6年度)

(令和7年3月31日現在)

| 節 名                         | 会 計 | 款   | 項       | 目         | 執 行 済 額 (円) |               |
|-----------------------------|-----|-----|---------|-----------|-------------|---------------|
|                             |     |     |         |           |             | うち、5年度からの繰越額分 |
| (12)<br>委託料                 | 一般  | 教育費 | 特別支援学校費 | 特別支援学校管理費 | 59,145,218  | 0             |
|                             | 一般  | 教育費 | 学校教育費   | 健康体育費     | 13,860,275  | 0             |
|                             |     |     |         |           |             |               |
|                             |     |     |         |           |             |               |
| 計                           |     |     |         |           | 73,005,493  | 0             |
| (14)<br>工 事<br>請負費          | 一般  | 教育費 | 教育委員会費  | 教育管理費     | 880,000     | 0             |
|                             |     |     |         |           |             |               |
|                             |     |     |         |           |             |               |
|                             |     |     |         |           |             |               |
| 計                           |     |     |         |           | 880,000     | 0             |
| (17)<br>備 品<br>購入費          | 一般  | 教育費 | 特別支援学校費 | 特別支援学校管理費 | 813,010     | 0             |
|                             |     |     |         |           |             |               |
|                             |     |     |         |           |             |               |
|                             |     |     |         |           |             |               |
| 計                           |     |     |         |           | 813,010     | 0             |
| (18)<br>負担金、補<br>助及び交付<br>金 | 一般  | 教育費 | 特別支援学校費 | 特別支援学校管理費 | 99,597      | 0             |
|                             |     |     |         |           |             |               |
|                             |     |     |         |           |             |               |
|                             |     |     |         |           |             |               |
| 計                           |     |     |         |           | 99,597      | 0             |
| (21)<br>補償、補填<br>及び賠償金      |     |     |         |           |             |               |
|                             |     |     |         |           |             |               |
|                             |     |     |         |           |             |               |
|                             |     |     |         |           |             |               |
| 計                           |     |     |         |           | 0           | 0             |

□□□□

## 委託料に関する調

(令和5年度)

| 整理<br>番号 | 委 託<br>業務名                              | 受託者                               | 当 初<br>設計金額     | 契 約 金 額         |        |                 | 契約締<br>結方法 | 契約<br>期間              | 支 出<br>年月日                                                                                                                    | 金額                                                                                                                                                                        | 委託業務の<br>内容                | 摘要               |
|----------|-----------------------------------------|-----------------------------------|-----------------|-----------------|--------|-----------------|------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|------------------|
|          |                                         |                                   |                 | 当初額             | 変更増減額  | 計               |            |                       |                                                                                                                               |                                                                                                                                                                           |                            |                  |
| 1        | (事務関係)<br>給食調理<br>業務                    | エコーラ<br>イフ株式<br>会社                | 円<br>45,740,205 | 円<br>45,100,000 | 円<br>0 | 円<br>45,100,000 | 一般         | 2.8.1<br>～<br>5.7.31  | 5.5.31<br>5.6.30<br>5.7.31<br>5.8.31<br>小計                                                                                    | 円<br>(40,088,884)<br>1,252,779<br>1,252,779<br>1,252,779<br>1,252,779<br>5,011,116                                                                                        | 学校給<br>食調理<br>業務           | R2<br>長期         |
| 2        | 給食調理<br>業務                              | エコーラ<br>イフ株式<br>会社                | 55,116,476      | 44,748,000      | 0      | 44,748,000      | 一般         | 5.8.1<br>～<br>8.7.31  | 5.9.29<br>5.10.31<br>5.11.30<br>5.12.27<br>6.1.30<br>6.2.29<br>6.3.28<br>6.4.30<br>小計                                         | (<br>0)<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>9,944,000                                              | 学校給<br>食調理<br>業務           | R5<br>長期         |
| 3        | スクール<br>バス輸送<br>業務                      | 富士急シ<br>ティバス<br>株式会<br>社本社<br>営業所 | 163,674,060     | 104,443,900     | 0      | 104,443,900     | 一般         | 3.4.1<br>～<br>6.3.31  | 5.5.31<br>5.6.30<br>5.7.31<br>5.8.31<br>5.9.29<br>5.10.31<br>5.11.30<br>5.12.26<br>6.1.19<br>6.2.29<br>6.3.28<br>6.4.30<br>小計 | (72,052,966)<br>2,699,244<br>2,699,244<br>2,699,244<br>2,699,244<br>2,699,244<br>2,699,244<br>2,699,244<br>2,699,244<br>2,699,244<br>2,699,244<br>2,699,250<br>32,390,934 | スクール<br>バスの運<br>行          | R3<br>長期         |
| 4        | 新型コロナウイルス<br>感染症対策に<br>伴うスクールバス<br>輸送業務 | 富士急シ<br>ティバス株<br>式会社本<br>社営業所     | 9,949,170       | 9,949,170       | 0      | 9,949,170       | 随契         | 5.4.10<br>～<br>5.7.25 | 5.5.31<br>5.6.30<br>5.7.31<br>5.8.31<br>小計                                                                                    | 2,487,290<br>2,487,290<br>2,487,290<br>2,487,300<br>9,949,170                                                                                                             | スクール<br>バスの運<br>行(増発)      | 随契<br>2号<br>(不適) |
| 5        | 自動ドア<br>保守管理<br>業務                      | 中日本<br>オート・ド<br>ア株式会<br>社         | 22,000          | 22,000          | 0      | 22,000          | 随契         | 5.4.1<br>～<br>6.3.31  | 5.9.7<br>6.3.11<br>小計                                                                                                         | 11,000<br>11,000<br>22,000                                                                                                                                                | 自動ドア<br>の保守<br>及び点<br>検    | 随契<br>1号<br>(少額) |
| 6        | 防鼠防虫<br>業務                              | 株式会社<br>三島美装                      | 99,000          | 99,000          | 0      | 99,000          | 随契         | 5.4.4<br>～<br>6.3.29  | 5.10.31<br>6.4.25<br>小計                                                                                                       | 42,900<br>56,100<br>99,000                                                                                                                                                | 給食室の<br>ゴミ、<br>鼠等の駆<br>除防除 | 随契<br>1号<br>(少額) |
| 7        | グリスラップ清<br>掃及び産業廃<br>棄物収集運搬<br>業務       | 伊豆総業<br>株式会社                      | 156,750         | 156,750         | 0      | 156,750         | 随契         | 5.5.22<br>～<br>6.3.29 | 5.8.14<br>6.1.26<br>6.4.15<br>小計                                                                                              | 52,250<br>52,250<br>52,250<br>156,750                                                                                                                                     | グリス<br>ラップ清<br>掃汚泥運<br>搬業務 | 随契<br>1号<br>(少額) |
| 8        | 産業廃棄<br>物(汚泥)<br>処分業務                   | クリーン<br>サービス<br>株式会社              | 57,750          | 57,750          | 0      | 57,750          | 随契         | 5.5.22<br>～<br>6.3.29 | 5.8.31<br>6.1.18<br>6.4.12<br>小計                                                                                              | 19,250<br>19,250<br>19,250<br>57,750                                                                                                                                      | グリス<br>ラップ汚<br>泥処分<br>業務   | 随契<br>1号<br>(少額) |

| 整理<br>番号 | 委 託<br>業務名      | 受託者              | 当 初<br>設計金額                         | 契 約 金 額                             |        |                                     | 契約締<br>結方法 | 契約<br>期間               | 支 出<br>年月日             | 金額                          | 委託業務の<br>内 容    | 摘要                       |
|----------|-----------------|------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------|-------------------------------------|------------|------------------------|------------------------|-----------------------------|-----------------|--------------------------|
|          |                 |                  |                                     | 当初額                                 | 変更増減額  | 計                                   |            |                        |                        |                             |                 |                          |
| 9        | 産業廃棄物収集運搬及び処分業務 | 株式会社イーシーセンター     | 運搬料(1回あたり)@11,000<br>処分料(1kgあたり)@44 | 運搬料(1回あたり)@10,450<br>処分料(1kgあたり)@44 | 0      | 運搬料(1回あたり)@10,450<br>処分料(1kgあたり)@44 | 随契         | 5.7.4<br>～<br>6.3.29   | 5.9.20<br>6.4.18<br>小計 | 65,010<br>66,770<br>131,780 | 産業廃棄物の収集運搬処分    | 随契<br>1号<br>(少額)<br>単価契約 |
| 10       | 産業廃棄物収集運搬及び処分業務 | セキトラシステム株式会社     | 33,440                              | 33,440                              | 0      | 33,440                              | 随契         | 5.8.9<br>～<br>5.10.31  | 5.10.19                | 33,440                      | 業務用冷凍冷蔵庫の収集運搬処分 | 随契<br>1号<br>(少額)         |
| 11       | 産業廃棄物収集運搬及び処分業務 | 株式会社ホクセイ         | 30,932                              | 30,932                              | 0      | 30,932                              | 随契         | 5.12.5<br>～<br>6.3.1   | 6.1.19                 | 30,932                      | 蛍光灯、乾電池の収集運搬処分  | 随契<br>1号<br>(少額)         |
| 12       | アスベスト含有調査業務     | 東海プラント分析センター株式会社 | 66,000                              | 49,500                              | △5,500 | 44,000                              | 随契         | 5.12.12<br>～<br>6.1.31 | 6.2.28                 | 44,000                      | 保温材アスベスト含有調査    | 随契<br>1号<br>(少額)         |
|          | 事務関係計           | 12件              |                                     |                                     |        |                                     |            |                        | 小計                     | 57,870,872                  |                 |                          |
|          | 合計              | 12件              |                                     |                                     |        |                                     |            |                        |                        | 57,870,872                  |                 |                          |

| 整理<br>番号 | 委 託<br>業務名   | 受託者       | 当 初<br>設計金額 | 契 約 金 額                                                                                  |           |                                                                                          | 契約締<br>結方法 | 契約<br>期間              | 支 出<br>年月日 | 金額 | 委託業務の<br>内 容          | 摘要       |
|----------|--------------|-----------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------------------|------------|----|-----------------------|----------|
|          |              |           |             | 当初額                                                                                      | 変更増減額     | 計                                                                                        |            |                       |            |    |                       |          |
| 参考<br>1  | 警備業務         | セコム株式会社   |             | 円<br>8,316,000                                                                           | 円<br>0    | 円<br>8,316,000                                                                           |            | 1.10.1<br>～<br>6.9.30 |            |    | 学校施設(本校・愛鷹分校)の機械警備    | 沼津東      |
| 参考<br>2  | 警備業務         | セコム株式会社   |             | 14,256,000                                                                               | 1,208,900 | 15,464,900                                                                               |            | 1.10.1<br>～<br>6.9.30 |            |    | 学校施設(伊豆田方分校)の機械警備     | 三島北      |
| 参考<br>3  | 消防用設備等保守点検業務 | 株式会社藤興産   |             | 3,960,000                                                                                | 0         | 3,960,000                                                                                |            | 5.4.1<br>～<br>6.3.31  |            |    | 消防用設備の保守点検            | 沼津工業     |
| 参考<br>4  | 自家用電気工作物保安業務 | 橋本電気管理事務所 |             | 715,660                                                                                  | 0         | 715,660                                                                                  |            | 5.4.1<br>～<br>6.3.31  |            |    | 校内電気工作物の保守点検          | 沼津聴覚特別支援 |
| 参考<br>5  | 可燃物収集運搬処理業務  | 有限会社大真商会  |             | 運搬料<br>(1回あたり)<br>燃やすごみ<br>@26,180<br>プラスチック製容器包装<br>@26,180<br>処分料<br>(1kgあたり)<br>@6.82 | 0         | 運搬料<br>(1回あたり)<br>燃やすごみ<br>@26,180<br>プラスチック製容器包装<br>@26,180<br>処分料<br>(1kgあたり)<br>@6.82 |            | 5.4.11<br>～<br>6.3.31 |            |    | 燃やすゴミ、プラスチックゴミの収集運搬処理 | 単価契約沼津城北 |

| 整理<br>番号    | 委 託<br>業務名                                          | 受託者                                | 当 初<br>設計金額 | 契 約 金 額   |       |           | 契約締<br>結方法 | 契約<br>期間               | 支 出<br>年月日 | 金額 | 委託業<br>務の内<br>容                 | 摘要  |
|-------------|-----------------------------------------------------|------------------------------------|-------------|-----------|-------|-----------|------------|------------------------|------------|----|---------------------------------|-----|
|             |                                                     |                                    |             | 当初額       | 変更増減額 | 計         |            |                        |            |    |                                 |     |
| 参<br>考<br>6 | プール浄<br>化装置保<br>守点検業<br>務                           | 三友水処<br>理株式会<br>社                  |             | 208,780   | 0     | 208,780   |            | 5.4.13<br>～<br>5.11.30 |            |    | プール<br>浄化装<br>置保守<br>点検         | 沼津西 |
| 参<br>考<br>7 | 沼津地区<br>県立学校<br>建築基準<br>法第12条<br>に基づく<br>定期点検<br>業務 | 有限会社<br>一級建築<br>士事務所<br>アドス設<br>計室 |             | 1,452,000 | 0     | 1,452,000 |            | 5.7.7<br>～<br>5.11.30  |            |    | 建築基<br>準法第<br>12条に<br>基づく<br>点検 | 沼津西 |
|             | 計                                                   | 7件                                 |             |           |       |           |            |                        |            |    |                                 |     |

□□□□

## 委託料に関する調

(令和6年度)  
(令和7年3月31日現在)

| 整理<br>番号 | 委 託<br>業務名                                 | 受託者                               | 当 初<br>設計金額                                 | 契 約 金 額                                     |        |                                             | 契約締<br>結方法 | 契約<br>期間              | 支 出<br>年月日                                                                                                                                                                                                                                                         | 金 額                                                                                                                                                                                                                  | 委託業<br>務の内<br>容                    | 摘要                           |
|----------|--------------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|--------|---------------------------------------------|------------|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|------------------------------|
|          |                                            |                                   |                                             | 当初額                                         | 変更増減額  | 計                                           |            |                       |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                      |                                    |                              |
| 1        | (事務関係)<br>給食調理<br>業務                       | エコラ<br>イフ株式<br>会社                 | 円<br>55,116,476                             | 円<br>44,748,000                             | 円<br>0 | 円<br>44,748,000                             | 一般         | 5.8.1<br>～<br>8.7.31  | 6.5.31<br>1,243,000<br>6.6.28<br>1,243,000<br>6.7.31<br>1,243,000<br>6.8.30<br>1,243,000<br>6.9.30<br>1,243,000<br>6.10.31<br>1,243,000<br>6.11.29<br>1,243,000<br>6.12.26<br>1,243,000<br>7.1.31<br>1,243,000<br>7.2.28<br>1,243,000<br>7.3.31<br>1,243,000<br>小計 | 円<br>(9,944,000)<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>1,243,000<br>13,673,000 | 学校給<br>食調理<br>業務                   | R5<br>長期                     |
| 2        | スクール<br>バス輸送<br>業務                         | 富士急シ<br>ティバス<br>株式会<br>社本社営<br>業所 | 193,228,530                                 | 193,228,530                                 | 0      | 193,228,530                                 | 一般         | 6.4.1<br>～<br>9.3.31  | 6.5.31<br>5,367,450<br>6.6.28<br>5,367,450<br>6.7.31<br>5,367,450<br>6.8.30<br>5,367,450<br>6.9.30<br>5,367,450<br>6.10.31<br>5,367,450<br>6.11.29<br>5,367,450<br>6.12.26<br>5,367,450<br>7.1.31<br>5,367,450<br>7.2.28<br>5,367,450<br>7.3.31<br>5,367,450<br>小計 | (0)<br>5,367,450<br>5,367,450<br>5,367,450<br>5,367,450<br>5,367,450<br>5,367,450<br>5,367,450<br>5,367,450<br>5,367,450<br>5,367,450<br>5,367,450<br>5,367,450<br>5,367,450<br>5,367,450<br>5,367,450<br>59,041,950 | スクール<br>バスの運<br>行                  | R6<br>長期                     |
| 3        | 自動ドア<br>保守管理<br>業務                         | 中日本<br>オート・ド<br>ア株式会<br>社         | 22,000                                      | 22,000                                      | 0      | 22,000                                      | 随契         | 6.4.1<br>～<br>7.3.31  | 6.9.6<br>11,000<br>7.3.7<br>11,000<br>小計                                                                                                                                                                                                                           | 11,000<br>11,000<br>22,000                                                                                                                                                                                           | 自動ドア<br>の保守<br>及び点<br>検            | 随契<br>1号<br>(少額)             |
| 4        | 防鼠防虫<br>業務                                 | 株式会<br>社三島美<br>装                  | 99,000                                      | 99,000                                      | 0      | 99,000                                      | 随契         | 6.4.8<br>～<br>7.3.31  | 6.10.25<br>42,900<br>小計                                                                                                                                                                                                                                            | 42,900<br>42,900                                                                                                                                                                                                     | 給食室の<br>ゴキブリ、<br>鼠等の駆<br>除防除       | 随契<br>1号<br>(少額)             |
| 5        | グリストラ<br>ップ清掃<br>及び産業<br>廃棄物収<br>集運搬業<br>務 | 伊豆総業<br>株式会<br>社                  | 156,750                                     | 156,750                                     | 0      | 156,750                                     | 随契         | 6.5.27<br>～<br>7.3.31 | 6.8.9<br>52,250<br>7.1.22<br>52,250<br>小計                                                                                                                                                                                                                          | 52,250<br>52,250<br>104,500                                                                                                                                                                                          | グリスト<br>ラップ清<br>掃汚泥運<br>搬業務        | 随契<br>1号<br>(少額)             |
| 6        | 産業廃棄<br>物(汚泥)<br>処分業務                      | クリーン<br>サービス<br>株式会<br>社          | 57,750                                      | 57,750                                      | 5,500  | 63,250                                      | 随契         | 6.5.27<br>～<br>7.3.31 | 6.8.19<br>18,975<br>7.1.20<br>20,900<br>小計                                                                                                                                                                                                                         | 18,975<br>20,900<br>39,875                                                                                                                                                                                           | グリスト<br>ラップ汚<br>泥処分<br>業務          | 随契<br>1号<br>(少額)             |
| 7        | 産業廃棄<br>物収集運<br>搬及び処<br>分業務                | 株式会<br>社イー<br>シーセ<br>ンター          | 運搬料(1回あた<br>り)@11,000<br>処分料(1kgあた<br>り)@44 | 運搬料(1回あた<br>り)@10,450<br>処分料(1kgあた<br>り)@44 | 0      | 運搬料(1回あた<br>り)@10,450<br>処分料(1kgあた<br>り)@44 | 随契         | 6.6.21<br>～<br>7.3.31 | 6.9.20<br>47,410<br>小計                                                                                                                                                                                                                                             | 47,410<br>47,410                                                                                                                                                                                                     | 産業廃<br>棄物の<br>収集運<br>搬処分           | 随契<br>1号<br>(少額)<br>単価契<br>約 |
| 8        | 産業廃棄<br>物収集運<br>搬及び処<br>分業務                | セキトラ<br>ンシステ<br>ム株式<br>会<br>社     | 33,858                                      | 33,858                                      | 0      | 33,858                                      | 随契         | 6.7.19<br>～<br>6.9.30 | 6.9.20<br>33,858                                                                                                                                                                                                                                                   | 33,858                                                                                                                                                                                                               | 業務用冷<br>蔵庫及び<br>蛍光灯の<br>収集運搬<br>処分 | 随契<br>1号<br>(少額)             |
|          | 事務関係計                                      | 8件                                |                                             |                                             |        |                                             |            |                       | 小計                                                                                                                                                                                                                                                                 | 73,005,493                                                                                                                                                                                                           |                                    |                              |
|          | 合計                                         | 8件                                |                                             |                                             |        |                                             |            |                       |                                                                                                                                                                                                                                                                    | 73,005,493                                                                                                                                                                                                           |                                    |                              |

| 整理<br>番号 | 委 託<br>業務名                                          | 受託者                                | 当 初<br>設計金額 | 契 約 金 額                                                                                      |           |                                                                                              | 契約締<br>結方法 | 契約<br>期間               | 支 出<br>年月日 | 金額 | 委託業務の<br>内 容                              | 摘要               |
|----------|-----------------------------------------------------|------------------------------------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------------------|------------|----|-------------------------------------------|------------------|
|          |                                                     |                                    |             | 当初額                                                                                          | 変更増減額     | 計                                                                                            |            |                        |            |    |                                           |                  |
| 参考<br>1  | 警備<br>業務                                            | セコム株<br>式会社                        |             | 円<br>8,316,000                                                                               | 円<br>0    | 円<br>8,316,000                                                                               |            | 1.10.1<br>～<br>6.9.30  |            |    | 学校施<br>設(本<br>校・愛鷹<br>分校)の<br>機械警<br>備    | 沼津東              |
| 参考<br>2  | 警備<br>業務                                            | セコム株<br>式会社                        |             | 17,820,000                                                                                   | 0         | 17,820,000                                                                                   |            | 6.10.1<br>～<br>11.9.30 |            |    | 学校施<br>設(本<br>校・愛鷹<br>分校)の<br>機械警<br>備    | 沼津東              |
| 参考<br>3  | 警備<br>業務                                            | セコム株<br>式会社                        |             | 14,256,000                                                                                   | 1,322,750 | 15,578,750                                                                                   |            | 1.10.1<br>～<br>6.9.30  |            |    | 学校施<br>設(伊豆<br>田方分<br>校)の機<br>械警備         | 三島北              |
| 参考<br>4  | 警備<br>業務                                            | セコム株<br>式会社                        |             | 19,965,000                                                                                   | 0         | 19,965,000                                                                                   |            | 6.10.1<br>～<br>11.9.30 |            |    | 学校施<br>設(伊豆<br>田方分<br>校)の機<br>械警備         | 三島北              |
| 参考<br>5  | 消防用設<br>備等保守<br>点検業務                                | 株式会社<br>藤興産                        |             | 4,180,000                                                                                    | 0         | 4,180,000                                                                                    |            | 6.4.1<br>～<br>7.3.31   |            |    | 消防用<br>設備の<br>保守点<br>検                    | 沼津工<br>業         |
| 参考<br>6  | 自家用電<br>気工作物<br>保安業務                                | 橋本電気<br>管理事務<br>所                  |             | 749,100                                                                                      | 0         | 749,100                                                                                      |            | 6.4.1<br>～<br>7.3.31   |            |    | 校内電<br>気工作<br>物の保<br>守点検                  | 沼津聴<br>覚特別<br>支援 |
| 参考<br>7  | 可燃物収<br>集運搬処<br>理業務                                 | 有限会社<br>大真商会                       |             | 運搬料<br>(1回あたり)<br>燃やすごみ<br>@25,410<br>プラスチック<br>製容器包装<br>@25,410<br>処分料<br>(1kgあたり)<br>@6.82 | 0         | 運搬料<br>(1回あたり)<br>燃やすごみ<br>@25,410<br>プラスチック<br>製容器包装<br>@25,410<br>処分料<br>(1kgあたり)<br>@6.82 |            | 6.4.12<br>～<br>7.3.31  |            |    | 燃やす<br>ゴミ、プ<br>ラスチッ<br>クゴミの<br>収集運<br>搬処理 | 単価契<br>約沼津<br>城北 |
| 参考<br>8  | プール浄<br>化装置保<br>守点検業<br>務                           | 三友水処<br>理株式会<br>社                  |             | 196,680                                                                                      | 0         | 196,680                                                                                      |            | 6.4.11<br>～<br>6.11.30 |            |    | プール<br>浄化装<br>置保守<br>点検                   | 沼津西              |
| 参考<br>9  | 沼津地区<br>県立学校<br>建築基準<br>法第12条<br>に基づく<br>定期点検<br>業務 | 有限会社<br>一級建築<br>士事務所<br>アドス設<br>計室 |             | 1,694,000                                                                                    | 0         | 1,694,000                                                                                    |            | 6.8.13<br>～<br>7.2.28  |            |    | 建築基<br>準法第<br>12条に<br>基づく<br>点検           | 沼津西              |
|          | 計                                                   | 9件                                 |             |                                                                                              |           |                                                                                              |            |                        |            |    |                                           |                  |

□□□□

# 負 担 金 支 出 調

(令和 5 年度)

| 整理<br>番号 | 負 担 金 名                     | 交 付 先                         | 負担根拠                 | 事 業 内 容           | 負担金額   | 支出年月日     |
|----------|-----------------------------|-------------------------------|----------------------|-------------------|--------|-----------|
| 1        | 令和 5 年度全国特別支援学校知的障害教育校長会費   | 全国特別支援学校知的障害教育校長会会長           | 会則による                | 学校の管理運営に関する調査及び研究 | 15,000 | 5. 6. 30  |
| 2        | 令和 5 年度東海地区特別支援学校知的障害教育校長会費 | 東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長         | 規約による                | 学校の管理運営に関する調査及び研究 | 5,000  | 5. 7. 28  |
| 3        | 第46回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会参加費 | 第46回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会実行委員長 | 開催要項による              | 学校の管理運営に関する調査及び研究 | 3,000  | 5. 7. 31  |
| 4        | 第47回東海地区知的障害教育研究大会参加費       | 東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長         | 開催要項による              | 学校の管理運営に関する調査及び研究 | 4,000  | 5. 9. 14  |
| 5        | 愛鷹分校土地使用貸借にかかる必要経費          | □□□□                          | 土地使用<br>貸借契約<br>書による | 生徒実習用地貸借          | 61,613 | 5. 10. 11 |
|          | 計                           | 5 件                           |                      |                   | 88,613 |           |

□□□□

# 負 担 金 支 出 調

(令和 6 年度)

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

| 整理<br>番号 | 負 担 金 名                      | 交 付 先                         | 負担根拠         | 事 業 内 容                 | 負担金額        | 支出年月日     |
|----------|------------------------------|-------------------------------|--------------|-------------------------|-------------|-----------|
| 1        | 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会受講料     | 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター理事長      | 開催要項による      | 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会受講 | 円<br>13,750 | 6. 5. 22  |
| 2        | 令和 6 年度全国特別支援学校知的障害教育校長会会費   | 全国特別支援学校知的障害教育校長会会長           | 会則による        | 学校の管理運営に関する調査及び研究       | 15,000      | 6. 7. 11  |
| 3        | 第47回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会参加費  | 第47回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会実行委員長 | 開催要項による      | 学校の管理運営に関する調査及び研究       | 3,000       | 6. 7. 18  |
| 4        | 令和 6 年度東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費 | 東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長         | 規約による        | 学校の管理運営に関する調査及び研究       | 5,000       | 6. 7. 25  |
| 5        | 第48回東海地区知的障害教育研究大会参加費        | 東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長         | 開催要項による      | 学校の管理運営に関する調査及び研究       | 2,000       | 6. 8. 13  |
| 6        | 愛鷹分校土地使用貸借にかかる必要経費           | □□□□                          | 土地使用貸借契約書による | 生徒実習用地貸借                | 60,847      | 6. 10. 10 |
|          | 計                            | 6 件                           |              |                         | 99,597      |           |

□□□□

建 築 工 事 調

(令和5年度)

| 整理<br>番号 | 予算科目  | 工事名                     | 工事箇所        | 当初<br>設計金額     | 契約金額           |            |                | 契約締結<br>方法 | 受注者                | 着手完成<br>(予定)<br>年月日 | 支出済額       | 工事概要                                        | 公有<br>財産<br>台帳 | 摘要                                      |
|----------|-------|-------------------------|-------------|----------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------------|---------------------|------------|---------------------------------------------|----------------|-----------------------------------------|
|          |       |                         |             |                | 当初額            | 変更増減額      | 計              |            |                    |                     |            |                                             |                |                                         |
| 1        | 教育管理費 | プール付属棟プール循環<br>浄化装置更新工事 | 沼津市<br>大塚地内 | 円<br>2,915,000 | 円<br>2,739,000 | 円<br>0     | 円<br>2,739,000 | 指名         | 三友水处理株式会社          | R5.11.10<br>R6.2.28 | 2,739,000  | プールの循環<br>浄化装置更新                            | －              | 令達年月日R5.10.6<br>最終支払日R6.4.10<br>入札第2号   |
| 2        | 教育管理費 | 高等部棟給水管更新工事             | 沼津市<br>大塚地内 | 891,000        | 880,000        | 0          | 880,000        | 随契         | 株式会社井戸松            | R6.1.22<br>R6.3.21  | 880,000    | 高等部棟の給<br>水管更新                              | －              | 令達年月日R6.1.4<br>最終支払日R6.4.11<br>随契1号(少額) |
|          |       | 合計                      | 2件          |                | 3,619,000      | 0          | 3,619,000      |            |                    |                     | 3,619,000  |                                             |                |                                         |
| 参考       | 教育管理費 | 受変電設備改修工事               | 沼津市<br>大塚地内 | 56,100,000     | 54,890,000     | △7,843,000 | 47,047,000     | 一般         | 富士電設株式会社           | R5.7.27<br>R6.3.18  | 47,047,000 | 受変電設備改<br>修                                 | 済              | 本庁経理<br>最終支払日R6.4.11<br>設備課             |
| 参考       | 教育管理費 | 埋設管改修工事                 | 沼津市<br>大塚地内 | 5,632,000      | 5,150,200      | 814,000    | 5,964,200      | 指名         | 永光エンジニアリング<br>株式会社 | R6.1.18<br>R6.3.25  | 5,964,200  | 給水管取出し<br>工事・公共枡<br>設置工事・既<br>存給排水管切<br>替工事 | －              | 本庁経理<br>最終支払日R6.4.26<br>沼津土木事務所         |

建 築 工 事 調

(令和6年度)

(令和7年3月31日現在)

| 整理<br>番号 | 予算科目  | 工事名                   | 工事箇所        | 当初<br>設計金額     | 契約金額         |        |              | 契約締結<br>方法 | 受注者       | 着手完成<br>(予定)<br>年月日 | 支出済額    | 工事概要                                      | 公有<br>財産<br>台帳 | 摘要                                        |
|----------|-------|-----------------------|-------------|----------------|--------------|--------|--------------|------------|-----------|---------------------|---------|-------------------------------------------|----------------|-------------------------------------------|
|          |       |                       |             |                | 当初額          | 変更増減額  | 計            |            |           |                     |         |                                           |                |                                           |
| 1        | 教育管理費 | 体育館排煙窓オペレー<br>ター更新他工事 | 沼津市<br>大塚地内 | 円<br>1,562,000 | 円<br>880,000 | 円<br>0 | 円<br>880,000 | 随契         | 富士峰建設株式会社 | R6.7.30<br>R6.9.27  | 880,000 | 体育館の排煙<br>窓オペレー<br>ター及びカー<br>テンレールの<br>更新 | －              | 令達年月日R6.7.10<br>最終支払日R6.10.24<br>随契1号(少額) |
|          |       | 合計                    | 1件          |                | 880,000      | 0      | 880,000      |            |           |                     | 880,000 |                                           |                |                                           |

□□□□

## 公 有 財 産 調

(令和5年度)

| 区分                 | 令和5年3月31日<br>現 在                                |                 | 増          |              | 減          |             | 令和6年3月31日<br>現 在                                |                 | 摘<br>要 |
|--------------------|-------------------------------------------------|-----------------|------------|--------------|------------|-------------|-------------------------------------------------|-----------------|--------|
|                    | 数 量 又<br>は 面 積                                  | 台 帳<br>価 格      | 数量又<br>は面積 | 台 帳<br>価 格   | 数量又<br>は面積 | 台 帳<br>価 格  | 数 量 又<br>は 面 積                                  | 台 帳<br>価 格      |        |
| 行政財産               |                                                 | 千円<br>1,493,748 |            | 千円<br>88,549 |            | 千円<br>7,598 |                                                 | 千円<br>1,574,699 |        |
| 土 地                | 18,011.40m <sup>2</sup>                         | 1,294,247       |            |              |            |             | 18,011.40m <sup>2</sup>                         | 1,294,247       |        |
| 立木竹                |                                                 |                 |            |              |            |             |                                                 |                 |        |
| 樹 木                | 20本                                             | 130             |            |              |            |             | 20本                                             | 130             |        |
| 建 物                | $\frac{3,439.84\text{m}^2}{6,745.47\text{m}^2}$ | 116,659         |            |              |            |             | $\frac{3,439.84\text{m}^2}{6,745.47\text{m}^2}$ | 116,659         |        |
| 工作物                | 89個                                             | 82,712          | 30         | 88,549       | 7          | 7,598       | 112個                                            | 163,663         |        |
| 普通財産               |                                                 | 0               |            |              |            |             |                                                 | 0               |        |
| 土 地                | 0m <sup>2</sup>                                 | 0               |            |              |            |             | 0m <sup>2</sup>                                 | 0               |        |
| 建 物                | 0m <sup>2</sup>                                 | 0               |            |              |            |             | 0m <sup>2</sup>                                 | 0               |        |
| 工作物                | 0個                                              | 0               |            |              |            |             | 0個                                              | 0               |        |
| 公有財産<br>に準ずる<br>もの |                                                 | 504             |            |              |            |             |                                                 | 504             |        |
| 電 話<br>加入権         | 9件                                              | 504             |            |              |            |             | 9件                                              | 504             |        |

□□□□

## 公 有 財 産 調

(令和6年度)

| 区分                 | 令和6年3月31日<br>現 在                                |                 | 増                   |            | 減          |              | 令和7年3月31日<br>現 在                                |                 | 摘<br>要 |
|--------------------|-------------------------------------------------|-----------------|---------------------|------------|------------|--------------|-------------------------------------------------|-----------------|--------|
|                    | 数 量 又<br>は 面 積                                  | 台 帳<br>価 格      | 数量又<br>は面積          | 台 帳<br>価 格 | 数量又<br>は面積 | 台 帳<br>価 格   | 数 量 又<br>は 面 積                                  | 台 帳<br>価 格      |        |
| 行政財産               |                                                 | 千円<br>1,574,699 |                     | 千円<br>51   |            | 千円<br>36,360 |                                                 | 千円<br>1,538,390 |        |
| 土 地                | 18,011.40m <sup>2</sup>                         | 1,294,247       | 0.02                |            |            |              | 18,011.42m <sup>2</sup>                         | 1,294,247       |        |
| 立木竹                |                                                 |                 |                     |            |            |              |                                                 |                 |        |
| 樹 木                | 20本                                             | 130             | 320                 | 51         | 2          | 13           | 338                                             | 168             |        |
| 建 物                | $\frac{3,439.84\text{m}^2}{6,745.47\text{m}^2}$ | 116,659         | $\frac{0.02}{0.02}$ |            |            | 23,935       | $\frac{3,439.86\text{m}^2}{6,745.49\text{m}^2}$ | 92,724          |        |
| 工作物                | 112個                                            | 163,663         | 6                   |            |            | 12,412       | 118個                                            | 151,251         |        |
| 普通財産               |                                                 | 0               |                     |            |            |              |                                                 | 0               |        |
| 土 地                | 0m <sup>2</sup>                                 | 0               |                     |            |            |              | 0m <sup>2</sup>                                 | 0               |        |
| 建 物                | 0m <sup>2</sup>                                 | 0               |                     |            |            |              | 0m <sup>2</sup>                                 | 0               |        |
| 工作物                | 0個                                              | 0               |                     |            |            |              | 0個                                              | 0               |        |
| 公有財産<br>に準ずる<br>もの |                                                 | 504             |                     |            |            |              |                                                 | 504             |        |
| 電 話<br>加入権         | 9件                                              | 504             |                     |            |            |              | 9件                                              | 504             |        |

□□□□

## 借地借家等調

(令和7年3月31日現在)

| 整理<br>番号 | 区分  | 種別   | 所在地                       | 地 目 |    | 数量又は面積                                         | 借 料 |    | 契 約<br>期 間       | 所有者又は<br>契約者氏名       | 用 途                    |
|----------|-----|------|---------------------------|-----|----|------------------------------------------------|-----|----|------------------|----------------------|------------------------|
|          |     |      |                           | 台帳  | 現況 |                                                | 単価  | 年額 |                  |                      |                        |
| 1        | 土地  | 実習地  | 沼津市岡宮字<br>七ツ枝440番2        | 田   | 畑  | m <sup>2</sup><br>809.00                       |     | 無償 | 6.4.1<br>～7.3.31 | 個人                   | 愛鷹分校<br>農耕作<br>業学習     |
| 2        | 土地  | 実習地  | 沼津市大塚字<br>雁作831番1         | 田   | 畑  | 905.44                                         |     | 無償 | 6.4.1<br>～9.3.31 | 個人                   | 本校<br>農耕作<br>業学習       |
| 3        | 土地  | 学校敷地 | 田方郡函南町<br>塚本字七反田<br>961   |     |    | 2.00                                           |     | 無償 | 6.4.1<br>～9.3.31 | 静岡県立<br>田方農業<br>高等学校 | 伊豆田<br>方分校<br>指標<br>敷地 |
| 4        | 土地  | 畑    | 田方郡函南町<br>間宮字上正方          |     |    | 302.00                                         |     | 無償 | 6.4.1<br>～9.3.31 |                      | 伊豆田<br>方分校<br>実習地      |
| 5        | 工作物 | 温室装置 | 745                       |     |    | 1 個                                            |     | 無償 | 6.4.1<br>～9.3.31 |                      |                        |
| 6        | 建物  | 事務所建 | 田方郡函南町<br>塚本字七反田<br>961   |     |    | 361.44                                         |     | 無償 | 6.4.1<br>～9.3.31 |                      | 伊豆田<br>方分校<br>校舎       |
| 7        | 建物  | 雑屋建  | 田方郡函南町<br>塚本字元作り<br>954-3 |     |    | 162.00                                         |     | 無償 | 6.4.1<br>～9.3.31 |                      | 伊豆田<br>方分校<br>実習棟      |
| 8        | 建物  | 事務所建 | 沼津市岡一色<br>875             |     |    | 876.10                                         |     | 無償 | 6.4.1<br>～9.3.31 | 静岡県立<br>沼津城北<br>高等学校 | 愛鷹<br>分校<br>校舎         |
| 9        | 建物  | 雑屋建  |                           |     |    | 249.39                                         |     | 無償 |                  |                      | 愛鷹分<br>校自転<br>車置場      |
|          | 計   |      |                           |     |    | 土地<br>2,018.44<br>建物<br>1,648.93<br>工作物<br>1 個 |     | 0  |                  |                      |                        |

□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和5年度)

| 区分     | 事業名又は契約名      | 内容                                  | 契約額           | 元年度     | 2年度          | 3年度          | 4年度          | 5年度          | 6年度          | 7年度          | 8年度         | 9年度      |
|--------|---------------|-------------------------------------|---------------|---------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|----------|
|        |               |                                     |               |         |              |              |              |              |              |              |             |          |
| 長期継続契約 | 電子複写機賃貸借・使用契約 | モノクロ機<br>1台の使用料<br>(契約日) 31. 4. 1   | 386, 781      | 76, 793 | 77, 497      | 77, 497      | 77, 497      | 77, 497      |              |              |             |          |
|        | 電子複写機賃貸借・使用契約 | モノクロ機<br>1台の使用料<br>(契約日) 2. 4. 1    | 392, 370      |         | 78, 474      | 78, 474      | 78, 474      | 78, 474      | 78, 474      |              |             |          |
|        | 電子複写機賃貸借・使用契約 | モノクロ機<br>2台の使用料<br>(契約日) 5. 4. 1    | 1, 164, 240   |         |              |              |              | 232, 848     | 232, 848     | 232, 848     | 232, 848    | 232, 848 |
|        | 印刷機賃貸借・使用契約   | カラー機<br>1台の使用料<br>(契約日) 4. 7. 1     | 3, 300, 000   |         |              |              | 440, 000     | 660, 000     | 660, 000     | 660, 000     | 660, 000    | 220, 000 |
|        | 給食調理（配膳）業務    | 給食の調理及び<br>配膳業務<br>(契約日) 2. 8. 1    | 45, 100, 000  |         | 10, 022, 188 | 15, 033, 348 | 15, 033, 348 | 5, 011, 116  |              |              |             |          |
|        | 給食調理（配膳）業務    | 給食の調理及び<br>配膳業務<br>(契約日) 5. 7. 28   | 44, 748, 000  |         |              |              |              | 9, 944, 000  | 14, 916, 000 | 14, 916, 000 | 4, 972, 000 |          |
|        | スクールバス輸送業務    | 通学の送迎及び<br>校外活動の送迎<br>(契約日) 3. 4. 1 | 104, 443, 900 |         |              | 39, 662, 038 | 32, 390, 928 | 32, 390, 934 |              |              |             |          |

(令和6年度)

(令和7年3月31日現在)

| 区分     | 事業名又は契約名      | 内容                                  | 契約額           | 2年度     | 3年度     | 4年度      | 5年度         | 6年度          | 7年度          | 8年度          | 9年度      | 10年度    |
|--------|---------------|-------------------------------------|---------------|---------|---------|----------|-------------|--------------|--------------|--------------|----------|---------|
|        |               |                                     |               |         |         |          |             |              |              |              |          |         |
| 長期継続契約 | 電子複写機賃貸借・使用契約 | モノクロ機<br>1台の使用料<br>(契約日) 2. 4. 1    | 392, 370      | 78, 474 | 78, 474 | 78, 474  | 78, 474     | 78, 474      |              |              |          |         |
|        | 電子複写機賃貸借・使用契約 | モノクロ機<br>2台の使用料<br>(契約日) 5. 4. 1    | 1, 164, 240   |         |         |          | 232, 848    | 232, 848     | 232, 848     | 232, 848     | 232, 848 |         |
|        | 電子複写機賃貸借・使用契約 | モノクロ機<br>1台の使用料<br>(契約日) 6. 4. 1    | 271, 920      |         |         |          |             | 54, 384      | 54, 384      | 54, 384      | 54, 384  | 54, 384 |
|        | 印刷機賃貸借・使用契約   | カラー機<br>1台の使用料<br>(契約日) 4. 7. 1     | 3, 300, 000   |         |         | 440, 000 | 660, 000    | 660, 000     | 660, 000     | 660, 000     | 220, 000 |         |
|        | 給食調理（配膳）業務    | 給食の調理及び<br>配膳業務<br>(契約日) 5. 7. 28   | 44, 748, 000  |         |         |          | 9, 944, 000 | 14, 916, 000 | 14, 916, 000 | 4, 972, 000  |          |         |
|        | スクールバス輸送業務    | 通学の送迎及び<br>校外活動の送迎<br>(契約日) 6. 4. 1 | 193, 228, 530 |         |         |          |             | 64, 409, 400 | 64, 409, 400 | 64, 409, 730 |          |         |
|        |               |                                     |               |         |         |          |             |              |              |              |          |         |

□□□□

## 行政財産貸付・使用許可調

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

| 整理<br>番号 | 区分 | 種別       | 所在地                | 地 目        |    | 数量又<br>は面積             | 貸付料又<br>は使用料 |    | 貸付又は<br>使用許可<br>期 間    | 貸付又は<br>使用許可<br>を受けた<br>者の氏名 | 貸付・<br>使用許<br>可目的   |
|----------|----|----------|--------------------|------------|----|------------------------|--------------|----|------------------------|------------------------------|---------------------|
|          |    |          |                    | 台帳         | 現況 |                        | 単価           | 年額 |                        |                              |                     |
| 1        | 建物 | 事務<br>所建 | 沼津市<br>大塚<br>823-1 | R C<br>3 階 |    | 1.00<br>m <sup>2</sup> |              | 免除 | 3.10.31<br>～<br>7.3.31 | 沼津市長                         | 同報無線<br>個別受信<br>機設置 |
| 合計       |    |          |                    |            |    |                        |              | 0  |                        |                              |                     |

□□□□

## 主 要 備 品 調

(令和7年3月31日現在)

| 整理<br>番号 | 区 分   |           | 品名・規格                            | 利用状況                  | 購入<br>年月 | 購入金額(円)   | 摘要        |
|----------|-------|-----------|----------------------------------|-----------------------|----------|-----------|-----------|
|          | 大・中   | 小         |                                  |                       |          |           |           |
| 1        | 01-13 | 調理器具      | 真空冷却機<br>外形820×965×1580          | 毎日(年間185日)<br>給食食材冷却用 | H31. 3   | 3,024,000 | 18-005004 |
| 2        | 06-06 | 加熱装置      | コンベクションスチームオーブン<br>1100×800×1500 | 毎日(年間185日)<br>給食調理用   | H23. 3   | 2,992,500 | 10-007637 |
| 3        | 01-13 | 食品食器洗浄機   | 食品食器洗浄機<br>SD340GSH              | 毎日(年間185日)<br>給食食器洗浄  | R 2. 3   | 2,629,000 | 19-009380 |
| 4        | 10-08 | その他の芸術用器具 | 引出式電気窯<br>20000DLP L型            | 月8日(年間88日)<br>作業学習用   | H21. 3   | 1,785,000 | 08-009821 |
| 5        | 06-09 | 木工用機械     | パネルソー<br>SZ3-6000                | 月8日(年間88日)<br>作業学習用   | H24. 3   | 1,690,500 | 11-020304 |
| 6        | 01-13 | その他の厨房機器  | 食器消毒保管庫<br>MCW-40e               | 毎日(年間185日)<br>食器消毒・保管 | R 3. 12  | 1,573,000 | 21-007091 |
| 7        | 10-08 | その他の芸術用器具 | 電気式陶芸窯<br>酸化型 横扉開閉引出             | 月2日(年間16日)<br>作業学習用   | H30. 3   | 1,479,600 | 17-004916 |
| 8        | 01-04 | 移動書庫      | 移動書庫<br>オカムラ6連×4連                | 毎日(年間243日)<br>教務用書類保管 | H 9. 9   | 1,300,000 | 97-006093 |
| 9        | 01-99 | その他の庁用器具  | 校旗<br>西陣日本製 K24本金                | 年間30日<br>学校行事用        | H25. 3   | 963,165   | 12-004337 |
| 10       | 01-04 | 移動書庫      | 手動式スライド書架                        | 毎日(年間243日)<br>教務書類保管  | H26. 3   | 864,570   | 13-006578 |
| 11       | 10-08 | その他の芸術用器具 | 真空土練機<br>ステンレス羽根                 | 月12日(年間132日)<br>作業学習用 | H25. 10  | 804,300   | 13-001920 |
| 12       | 12-01 | 雑機器       | 組立倉庫                             | 毎日(年間365日)<br>防災用     | H 6. 3   | 782,800   | 93-018935 |
| 13       | 01-07 | 製本機       | 製本機                              | 月4日(年間44日)<br>作業学習用   | H25. 3   | 735,000   | 12-005662 |
| 14       | 10-08 | その他の芸術用器具 | 真空式循環粘土再生機<br>MHS-20SW           | 月8日(年間88日)<br>作業学習用   | H21. 3   | 724,500   | 08-009825 |
| 15       | 10-07 | 鍵盤楽器      | グランドピアノ<br>ヤマハC3B                | 毎日(年間243日)<br>音楽授業用   | H 9. 4   | 711,000   | 97-000005 |
| 16       | 10-08 | その他の芸術用器具 | レーザー加工機<br>HSG HS-Z4030          | 月4日(年間44日)<br>作業学習用   | H30. 3   | 685,800   | 17-004163 |
| 17       | 01-13 | 調理器具      | ガス回転釜<br>GHS-32                  | 毎日(年間185日)<br>給食調理用   | R 6. 3   | 682,000   | 23-003721 |
| 18       | 06-09 | 木工用機械     | 自動カンナ<br>マキタ2035                 | 月10日(年間104日)<br>作業学習用 | H15. 10  | 609,735   | 03-003829 |
| 19       | 01-13 | 冷蔵(凍)庫    | 冷蔵(凍)庫                           | 毎日(年間185日)            | H20. 3   | 601,650   | 07-007295 |
| 20       | 01-13 | 食品食器洗浄機   | 食器消毒保管機                          | 毎日(年間185日)<br>食器消毒・保管 | H10. 3   | 598,500   | 97-024705 |

## 特別支援学校における生産物売払調

令和6年度

(令和7年3月31日現在)

|       | 主な生産品目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和6年度 | <p>&lt;手芸品・工作物&gt;</p> <p>(本校)</p> <p>ポチ袋 ミニバスケット ハニーバスケット 商品短冊 ウッドボックス ティッシュボックス ミニベンチ 長ベンチ 富士山マグネット(大) A4バッグ プチトートバッグ ビッグバッグ くるみボタンヘアゴム 大小くるみボタンヘアゴム ポーチ ティッシュケース ハンカチ ガーゼハンカチ</p> <p>(愛鷹分校)</p> <p>巾着袋(大、中、小) 布製小物(大、中、小) 布製ケース(中) 布製バッグ(中) ティッシュケース(大、小) おはし入れ(小) トートバッグ チラシ・フライヤー(A4片面モノクロ、A4片面カラー、A4両面モノクロ/カラー) 輪転機印刷(A4片面)</p> <p>(伊豆田方分校)</p> <p>カッティングボード 木製マグネット 木製マグネット(2個セット) 木製キーホルダー 木製キーホルダー(2個セット) ひのきチップ ペンスタンド(小) コースター</p> |
|       | <p>&lt;農作物・園芸品&gt;</p> <p>(本校)</p> <p>ブロッコリー プチヴェール 生落花生 なす ミニトマト ピーマン 玉ねぎ ダイコン</p> <p>(愛鷹分校)</p> <p>ほうれん草 小松菜 にんじん 水菜 なす ピーマン かぶ ミニトマト スナップエンドウ レタス 玉ねぎ にんにく ダイコン ブロッコリー カリフラワー 白菜</p> <p>(伊豆田方分校)</p> <p>サトイモ ズッキーニ じゃがいも オクラ インゲン ダイコン さつまいも 小松菜 にんじん ほうれん草 なす かぶ ブロッコリー</p>                                                                                                                                                               |
|       | <p>&lt;陶芸品&gt;</p> <p>(本校)</p> <p>皿(大、中、小) 深皿 さんま皿 そばちょこ フリーカップ(大、小) 箸置き マグカップ ボウル皿</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |             |           |           |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----------|-----------|
| 令和5年度 | (伊豆田方分校)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |             |           |           |
|       | 小皿 (12 cm、15 cm) 大皿                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |             |           |           |
|       | ① 売払金額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1,096,650 円 | ② 前年度との差額 | 123,900 円 |
|       | <p>&lt;手芸品・工作物&gt;</p> <p>(本校)</p> <p>ポチ袋 クラフトカード (シンプル、ゴージャス) 祝儀袋 花型コースター ミニバスケット ハニーバスケット 商品短冊 ウッドボックス ティッシュボックス ミニベンチ 長ベンチ 富士山マグネット (大、小) A4 バッグ プチトートバッグ ビッグバッグ くるみボタンヘアゴム 大小くるみボタンヘアゴム 巾着袋 ポーチ ポケットティッシュケース</p> <p>(愛鷹分校)</p> <p>巾着袋 (大、中、小) 布製小物 (大、中、小) 布製ケース (中) 布製バッグ (大、中) チラシ・フライヤー (A4 片面モノクロ、A4 片面カラー) 輪転機印刷 (A4 片面)</p> <p>(伊豆田方分校)</p> <p>カッティングボード 木製マグネット 木製キーホルダー ひのきチップ 富士山箸置き カップスリーブ ペンスタンド (大、小) マルチスタンド</p> <p>&lt;農作物・園芸品&gt;</p> <p>(本校)</p> <p>ブロッコリー プチヴェール 落花生 なす ミニトマト ピーマン 玉ねぎ ダイコン</p> <p>(愛鷹分校)</p> <p>ほうれん草 小松菜 にんじん 水菜 なす ピーマン かぶ ミニトマト スナップエンドウ じゃがいも レタス たまねぎ にんにく</p> <p>(伊豆田方分校)</p> <p>サトイモ チンゲン菜 ピーマン ブッキーニ じゃがいも キュウリ オクラ ミニトマト インゲン ダイコン さつまいも 小松菜 にんじん ミニ白菜 ほうれん草</p> <p>&lt;陶芸品&gt;</p> <p>(本校)</p> <p>皿 (大、中、小) 深皿 さんま皿 豆皿 そばちょこ 湯のみ コーヒーカップ フリーカップ (大、小) 箸置きセット</p> <p>(伊豆田方分校)</p> <p>小皿 (12 cm、15 cm)</p> |             |           |           |
|       | ① 売払金額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 972,750 円   | ②前年度との差額  | △28,850 円 |

令和4年度

<手芸品・工作物>

(本校)

ストラップ (100 円、200 円、300 円)    ネックストラップ (ガラスブローチ無)    指輪セット    ガラスブローチ    メガネチェーン    ポチ袋    クラフトカード (シンプル、ゴージャス)    祝儀袋    花型コースター    ミニバスケット    ハニーバスケット    マスクケース    メモ帳セット    商品短冊    封筒    ベンチ (オイル仕上げ)    ウッドボックス    ティッシュボックス    ミニベンチ (オイル仕上げ)    カッティングボード    A4 バッグ (絞り染め付き)    プチトートバッグ (絞り染め付き)    ビッグバッグ (絞り染め付き)    くるみボタンヘアゴム    巾着袋

(愛鷹分校)

巾着袋 (大、中、小)    布製小物 (大、中、小)    ヘアゴム (布)    布製ケース (中)    布製バッグ (大、中)    トートバッグ    チラシ・フライヤー (A4 片面モノクロ、A4 片面カラー)    輪転機印刷 (A4 片面)

(伊豆田方分校)

カッティングボード    木製マグネット    木製キーホルダー    ひのきチップ

<農作物・園芸品>

(本校)

ブロッコリー    プチヴェール    落花生    なす    ミニトマト    ピーマン    玉ねぎ

(愛鷹分校)

ほうれん草    カリフラワー    小松菜    ブロッコリー    大根    白菜    にんじん    水菜    オクラ    なす    ピーマン    かぶ    キャベツ    ミニトマト    インゲン    トウモロコシ    ズッキーニ    スナップエンドウ    じゃがいも    レタス    たまねぎ

(伊豆田方分校)

サトイモ    茎ブロッコリー    チンゲン菜    かぶ    ピーマン    ナス

<陶芸品>

(本校)

皿 (大、中、小)    深皿    さんま皿    豆皿    そばちょこ    湯のみ    マグ    カップ    コーヒーカップ    B級品    フリーカップ (大、小)

(伊豆田方分校)

小皿 (12 cm、15 cm)    小鉢    大皿

|        |             |           |          |
|--------|-------------|-----------|----------|
| ① 売払金額 | 1,001,600 円 | ② 前年度との差額 | 75,300 円 |
|--------|-------------|-----------|----------|